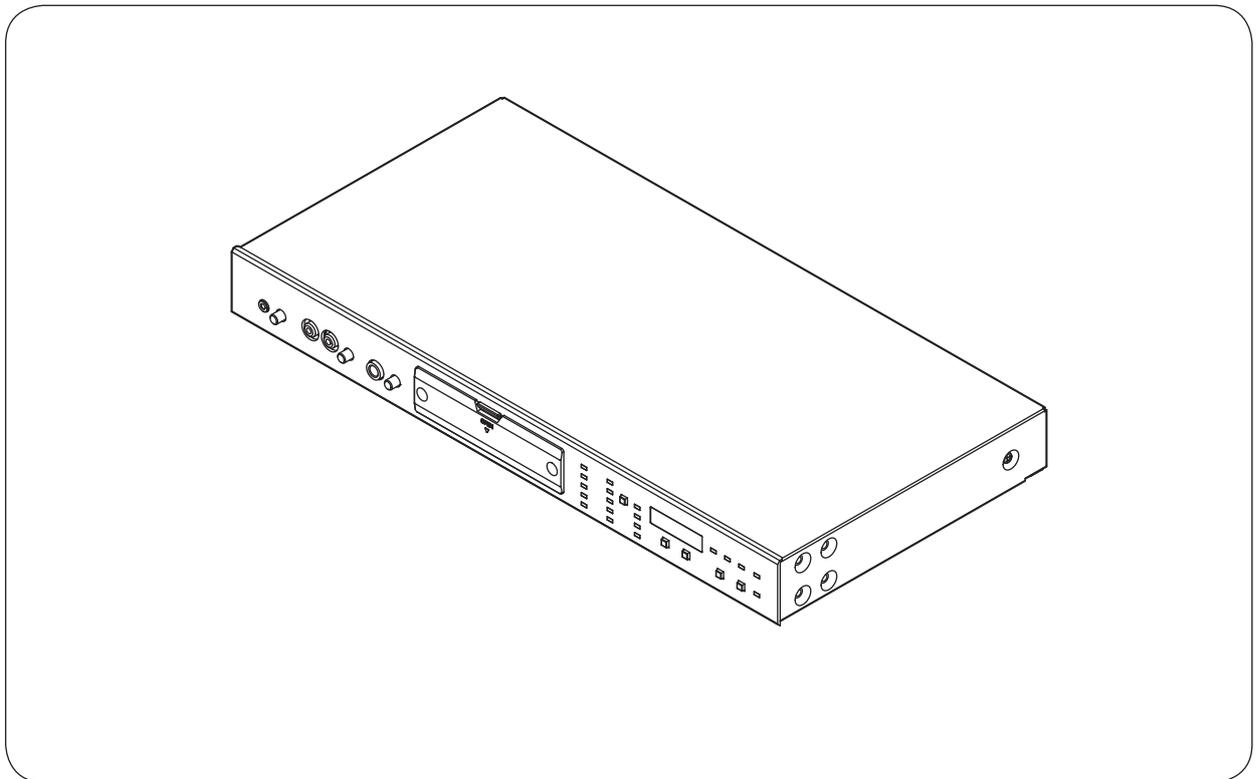




取扱説明書

デジタルアナウンスマシン

EV-700



このたびは、TOA デジタルアナウンスマシンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	5
概要	8
特長	8
使用上のご注意	8
メモリーカードの取り扱い	9
使用できるメモリーカード	9
メモリーカード取扱上のご注意	9
メモリーカードの取り付け・取り外し	9
各部の名称とはたらき	10
前面	10
後面	12
作業の流れ	13
まず使ってみましょう	14
接続する	14
放送（再生）する	15
文節とプログラム	16
文節とは	16
プログラムとは	16
プログラムの再生	17
工場出荷時のプログラム	18
操作のしかた	19
プログラムを再生する	19
プログラム再生を停止する	21
文節に録音する	22
文節を消去する	25
メモリーカードの録音内容を確認したいとき	27
前面パネルの各キーを操作無効にする（ロックモード）	27
外部制御による各動作の起動	28
制御のしかたを設定する	28
制御信号を入力する	29
設定項目の詳細	30
起動信号と動作の詳細	38
緊急放送の種類	51

緊急再生（前面パネルでの操作）	52
音源を録音する	52
緊急再生をする	55
緊急再生を停止する	57
音源の内容を確認する	58
録音音源を消去する	59
緊急再生（制御入力端子を使用）	61
緊急再生をする	61
緊急再生を停止する	62
R.E.M. 再生	63
R.E.M. 再生のリピート動作	63
緊急放送時の動作・設定	65
再生方式について	66
メンテナンス機能	71
全プログラム再生をする（スイッチ 1 を使用）	72
全体の音量の調節をする（スイッチ 1 を使用）	73
緊急再生用音源を再生・録音・消去する（スイッチ 2 を使用）	73
機器設定ファイルをダウンロード／アップロードする （スイッチ 3 を使用）	74
ネットワーク設定を一時的に初期値に戻す（スイッチ 3 を使用）	75
メモリーカードをコピーする（スイッチ 4 を使用）	75
ファームウェアを更新する（スイッチ 5、8 を使用）	76
機器設定を初期化する（スイッチ 6、8 を使用）	77
セルフチェックを行う（スイッチ 7、8 を使用）	78
ファームウェアバージョンを確認する	79
動作履歴を取得する	80
優先度の設定	81
外部入力の放送	82
概要	82
放送の優先度	82
外部入力の放送のしかた	83
放送の音量	85
通常放送・緊急放送の音量	85
マイク放送、ライン入力放送の音量	86
遅延時間	86

応用的な使いかた	制御出力（ビジー信号）.....	86
	ビジー信号とは.....	86
	ビジー信号を設定する.....	87
	異常出力.....	88
	クイックストップ機能.....	88
	バックアップ機能.....	89
	バックアップ機能を ON にする.....	89
バックアップ機能が ON のときの機器動作.....	90	
メモリーカード B での運用からメモリーカード A での運用へ戻す.....	91	
設置・接続	設置のしかた.....	92
	ラックマウントのしかた.....	92
	卓上設置のしかた.....	92
	接続のしかた.....	93
	前面パネルの接続.....	93
	後面パネルの接続.....	94
	着脱式ターミナルプラグの接続のしかた.....	96
	当社の放送設備との接続例.....	97
	ラック型非常業務兼用放送設備 FS-2000 との接続.....	97
	ラック型業務用放送設備（ジャンクションパネル JP-034）との接続.....	98
	卓上型アンプ（TA-2000 シリーズ）との接続.....	99
資料	故障かな？と思ったら.....	100
	トラブルシューティング.....	100
	エラー表示一覧.....	103
	本機の状態と入出力について.....	107
	プリセット音源一覧表.....	108
	仕 様.....	112
	付属品.....	113
別売品.....	113	

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

屋外で使用しない

本機は、屋内専用品です。
屋外で使用して雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止

組み合わせは指定のものを使用する

ラックマウント金具は指定のものを使用してください。
指定以外の組み合わせで使用すると、落下して、けがの原因となります。



強制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を止めて販売店にご連絡ください。

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



強制

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機のメモリーカードスロットなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない（ACアダプター使用時）

雷が鳴り出したら、ACアダプターの電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグをさわらない

（ACアダプター使用時）

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない（ACアダプター使用時）

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは AC アダプターの電源プラグを抜く

（ACアダプター使用時）

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- ラックマウント金具に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強制

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

ACアダプターは指定のものを使用する (ACアダプター使用時)

指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

ACアダプターの電源プラグやコンセント部の掃除をする (ACアダプター使用時)

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源ケーブルを本機から抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



強制

概要

本機は、マイクや演奏機器などを接続して録音した内容や、別途用意した音源データを再生放送する録音・再生用デジタルアナウンスマシンです。

商業施設、公共施設での定時放送・注意喚起・案内放送に適しています。

専用の EV-700 設定ソフトウェア*¹ を用いて設定や音源データの転送を行うことができます。

*¹ TOA 商品データダウンロードサイト (<http://www.toa-products.com/>) で公開しています。

特長

- パソコンとのネットワーク接続により本機の設定・制御、音源の書き換えができます。
- 緊急時に簡単な操作で録音・繰り返し再生ができます。
- 付属のメモリーカードに収録しているプリセット音源*²により、チャイムなどをすぐに放送できます。
- メモリーカードが故障した場合でも自動で別のメモリーカードに切り換えて放送できます。
- 録音した文節を組み合わせてプログラムとして再生できます。
- プログラムに優先度を設定できます。

*² 出荷時のメモリーカードに書き込まれている音源です。

使用上のご注意

- メモリーカード内のプリセット音源はコピーをとってから使用してください。コピーは、本機のコピー機能 (P. 75) を使用するか、パソコンを使用して行ってください。プリセット音源は 1 度消去すると復元できず、再配布は有償です。
- 本機は、使用可能なメモリーカード (P. 9) を挿入してから使用してください。メモリーカードが挿入されていないと、本機は使用できません。
- 本機および AC アダプター (別売品) は、ラジオやワイヤレスチューナーなどの機器からできるだけ離して使用してください。受信障害を引き起こすことがあります。
- 市販の音楽や音源データは、著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することが禁じられています。
使用時には、著作権の専門家に相談するなどの配慮をお願いします。
- 付属品のメモリーカード内のプリセット音源は、本機でのみ利用できます。
その他の製品には使用しないでください。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。

メモリーカードの取り扱い

■ 使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、付属のメモリーカード（1GB）または別売のEV-CF1G（1GB）のみです。

これ以外のカードを使用した場合、動作の保証はできません。

- 録音可能時間は、44.1 kHz サンプリングで約3時間、32 kHz サンプリングで約4時間です。
- デジタルアナウンスマシン再生用 EV-350P、デジタルアナウンスマシン録再用 EV-350R、メロディスク ML-1000 のメモリーカードは使用できません。
- メモリーカードのフォーマットは FAT16 です。

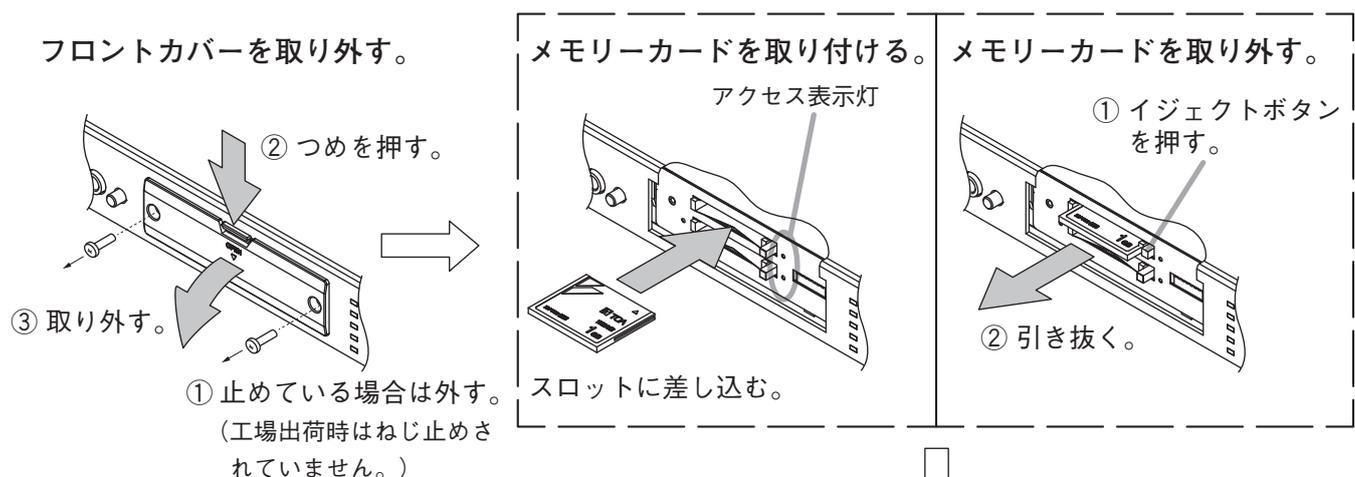
※ 別売の EV-CF1G にはプリセット音源は収録されていません。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- 付属のメモリーカードは、本機以外の機器には使用しないでください。
データ破損や消失の原因となることがあります。
- メモリーカードの端子部を手で触れないでください。
静電気により、データ破損や消失の原因となることがあります。
- コネクタ部にちり、ほこりなど異物が入らないようにしてください。
接触不良の原因となります。
- 以下の場所では保管しないでください。
 - ・ 高温多湿の場所
 - ・ ちりやほこりの多い場所
 - ・ 温度差の激しい場所
 - ・ 振動や衝撃の加わる場所
- データの書き込みまたは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、カードスロットから取り出したりしないでください。
データの破損や消失の原因となることがあります。

■ メモリーカードの取り付け・取り外し

メモリーカードの抜き差しは、フロントカバーを取り外してから行います。



ご注意

メモリーカードのスロットは2つありますが、アクセス表示灯が点灯、点滅しているときは、どちらのスロットのカードも抜き差しはしないでください。

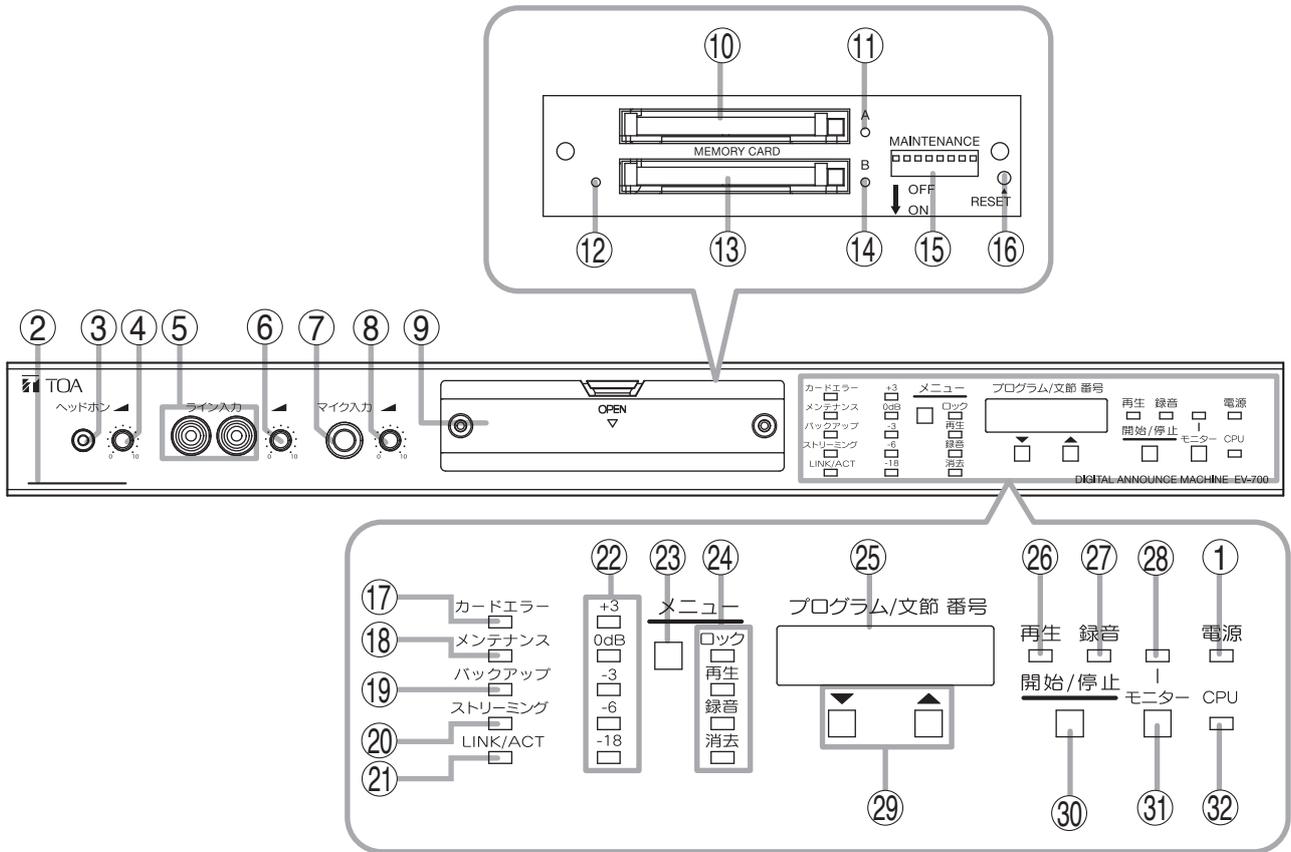
カードのデータが失われることがあります。

フロントカバーを取り付ける。
(必要に応じて、付属の小ねじM3×12で止める。)

各部の名称とはたらき

[前面]

[フロントカバー⑨内部]



1. 電源表示灯（緑）

電源を供給すると点灯します。

2. MAC アドレス

本機の MAC アドレス*1 です。

*1 ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12 桁の 16 進法で表現されます。

3. ヘッドホン出力端子

0 dB *2、100 Ω、モノラル、φ 3.5 ミニジャック（3 P）
ヘッドホンを接続します。

4. ヘッドホン出力音量つまみ

ヘッドホン出力端子（3）の音量を調節します。

5. ライン入力端子

-29 dB *2、10 k Ω、RCA ピンジャック
録音用や放送用の外部演奏機器を接続します。

ご注意

ステレオで入力すると、機器内部で L ch と R ch をミックスしてモノラルに変換されます。
この端子と後面の入出力端子（40）のライン入力端子の信号は機器内部でミックスされます。

6. ライン入力音量つまみ

ライン入力端子（5）と後面の入出力端子（40）のライン入力端子の音量を調節します。

7. マイク入力端子

-55 dB *2、600 Ω、不平衡、φ 6.3 ホーンジャック（2 P）

録音用や放送用のマイクを接続します。

ご注意

ファンタム電源は供給されません。

8. マイク入力音量つまみ

マイク入力端子（7）の音量を調節します。

9. フロントカバー

誤操作防止のカバーです。

メモ

工場出荷時はねじ止めされていません。

必要に応じてカバー両側を付属の小ねじ M3 × 12 で固定します。

10. メモリーカードスロット A

メモリーカード（以下、メモリーカード A）を挿入します。

（ P. 108 「プリセット音源一覧表」）

11. メモリーカードスロット A アクセス表示灯（緑）

メモリーカード A に対してファイル書き込み中、読み込み中に点灯または点滅します。

*2 0 dB = 1 V

12. メモリーカード B 使用中表示灯 (緑)
メモリーカードスロット B 内のメモリーカード (以下、メモリーカード B) で運用しているときに点滅します。

13. メモリーカードスロット B
メモリーカード B を挿入します。

14. メモリーカードスロット B アクセス表示灯 (緑)
メモリーカード B に対してファイル書き込み中、読み込み中に点灯または点滅します。

15. メンテナンス用 DIP スイッチ
メンテナンスを行うときに使用する DIP スイッチです。

設定できる機能  P. 71 「メンテナンス機能」

ご注意

いずれかのスイッチが ON になっているとメンテナンスモードになり、接点制御や EV-700 設定ソフトウェアによる放送ができないことがあります。

メンテナンス終了後は必ずスイッチをすべて OFF にしてください。

16. リセットスイッチ
2 秒以上押すと、機器が再起動します。

ご注意

メモリーカードスロット A アクセス表示灯 (11) またはメモリーカードスロット B アクセス表示灯 (14) が点灯または点滅しているときはリセットしないでください。

17. カードエラー表示灯 (赤)
カードエラーが発生しているときに点灯します。

18. メンテナンス表示灯 (橙)
メンテナンスモードになっているときに点滅します。
( P. 71 「メンテナンス機能」)

19. バックアップ表示灯 (緑)
バックアップ機能が OFF のときは消灯します。
バックアップ機能が ON のときは、点灯または点滅します。
( P. 89 「バックアップ機能」)

20. ストリーミング表示灯
使用しません。

21. LINK/ACT 表示灯 (緑)
本機がネットワークに接続されると点灯し、データ送受信中は点滅します。



後面の LAN 端子 (34) の LINK/ACT 表示灯と同期して点灯・点滅します。

22. レベルメーター
放送中の音声出力レベル、または録音中の音声入力レベルを表示します。



23. メニューキー
モードを選択します。

24. モード表示灯
現在のモード (ロックモード、再生モード、録音モード、または消去モード) を表示します。



25. 状態表示器
プログラム番号、文節番号、設定内容、エラーなどを表示します。

26. 再生表示灯 (緑)
再生中に点灯します。

27. 録音表示灯 (赤)
録音待機中に点滅し、録音中に点灯します。

28. モニター表示灯 (橙)
モニター中に点灯します。

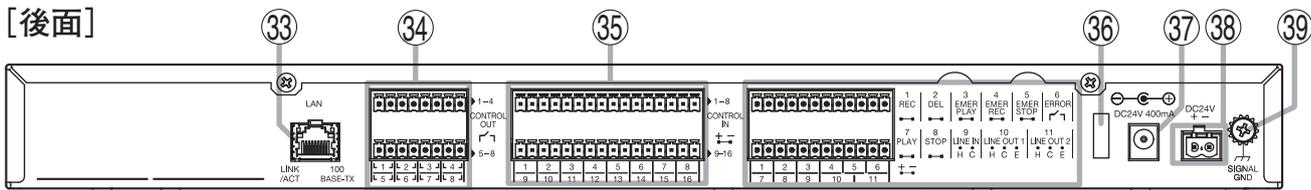
29. 上下キー
プログラム番号、文節番号、設定値の選択をします。

30. 開始/停止キー
各モードに応じた機能を開始または停止します。

31. モニターキー
再生、録音、消去中でないときにこのキーを押すと、モニター中になります。モニター中はモニター表示灯が点灯し、ヘッドホン出力端子 (3) からモニター音が出力されます。モニター音は入出力端子 (40) のライン出力 1、2 端子からは出力されませんので、外部に放送せずにヘッドホンのみで音声を聞くことができます。

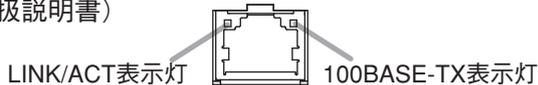
32. CPU RUN 表示灯 (緑)
本機が正常に動作しているときに点滅します。異常時は点灯または消灯します。

[後面]



33. LAN 端子

100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。(イーサネット RJ-45 ジャック)
(接続のしかた ■ EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)



LINK/ACT 表示灯 (緑)
本機がネットワークに接続されると点灯し、データ送受信中は点滅します。

メ モ

前面の LINK/ACT 表示灯 (21) と同期して点灯・点滅します。

100BASE-TX 表示灯 (橙)
接続時は点灯します。

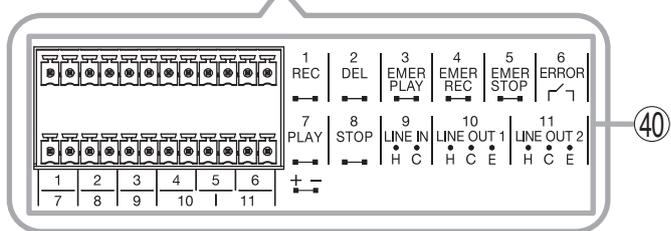
34. 接点制御出力端子 1 ~ 8 [CONTROL OUT 1-8]

プログラムの再生中などの機器動作中にメイク接点を出力します。
EV-700 設定ソフトウェアにより設定した制御出力 1 ~ 8 を、接点制御出力端子 1 ~ 8 からそれぞれ出力します。

40. 入出力端子

* 0 dB = 1 V

番号	名称	機能
1	録音制御入力端子 [REC]	文節を録音するときにメイクします。
2	消去/クリア制御入力端子 [DEL]	録音された文節を消去するときにメイクします。再生中にメイクすると、記憶していた再生順が解除(クリア)されます。(順次記憶再生 ■ P. 36)
3	緊急再生制御入力端子 [EMER. PLAY]	緊急再生をするときにメイクします。
4	緊急録音制御入力端子 [EMER. REC.]	R.E.M. 再生 (■ P. 63) をするときにメイクします。 ※ この端子からは、緊急再生用音源の録音はできません。
5	緊急停止制御入力端子 [EMER. STOP]	緊急再生・R.E.M. 再生を停止するときにメイクします。
6	異常出力端子 [ERROR]	通常はブレイクしています。機器またはカードに異常があるときにメイクします。
7	再生制御入力端子 [PLAY]	バイナリー制御 (■ P. 30) で再生するときにメイクします。
8	停止制御入力端子 [STOP]	再生や録音を停止するときにメイクします。
9	ライン入力端子 [LINE IN H、C]	-20 dB *、10 kΩ 録音用や放送用の外部演奏機器の音声出力を入力します。
10	ライン出力 1 端子 [LINE OUT 1 H、C、E]	0 dB *、600 Ω 本機の再生信号やマイク入力、ライン入力の信号を出力します。
11	ライン出力 2 端子 [LINE OUT 2 H、C、E]	※ これらの 2 つの端子は、同じ音声信号を出力します。 EV-700 設定ソフトウェアを使用して、ライン出力 1・ライン出力 2 のそれぞれを ON/OFF できます。



35. 接点起動入力端子 1 ~ 16 [CONTROL IN 1-16]

プログラムを再生するときや文節を録音・消去するときにメイクします。
(■ P. 28 「外部制御による各動作の起動」)

36. コードクランプ

AC アダプターのプラグが抜け落ちないように、固定します。(■ P. 95 「⑧ AC アダプター入力端子」)

37. AC アダプター入力端子

別売の AC アダプター AD-246 を接続します。

メ モ

本端子と DC 電源入力端子 (39) の両方に電源供給すると、電圧の高い方から電源が供給されます。

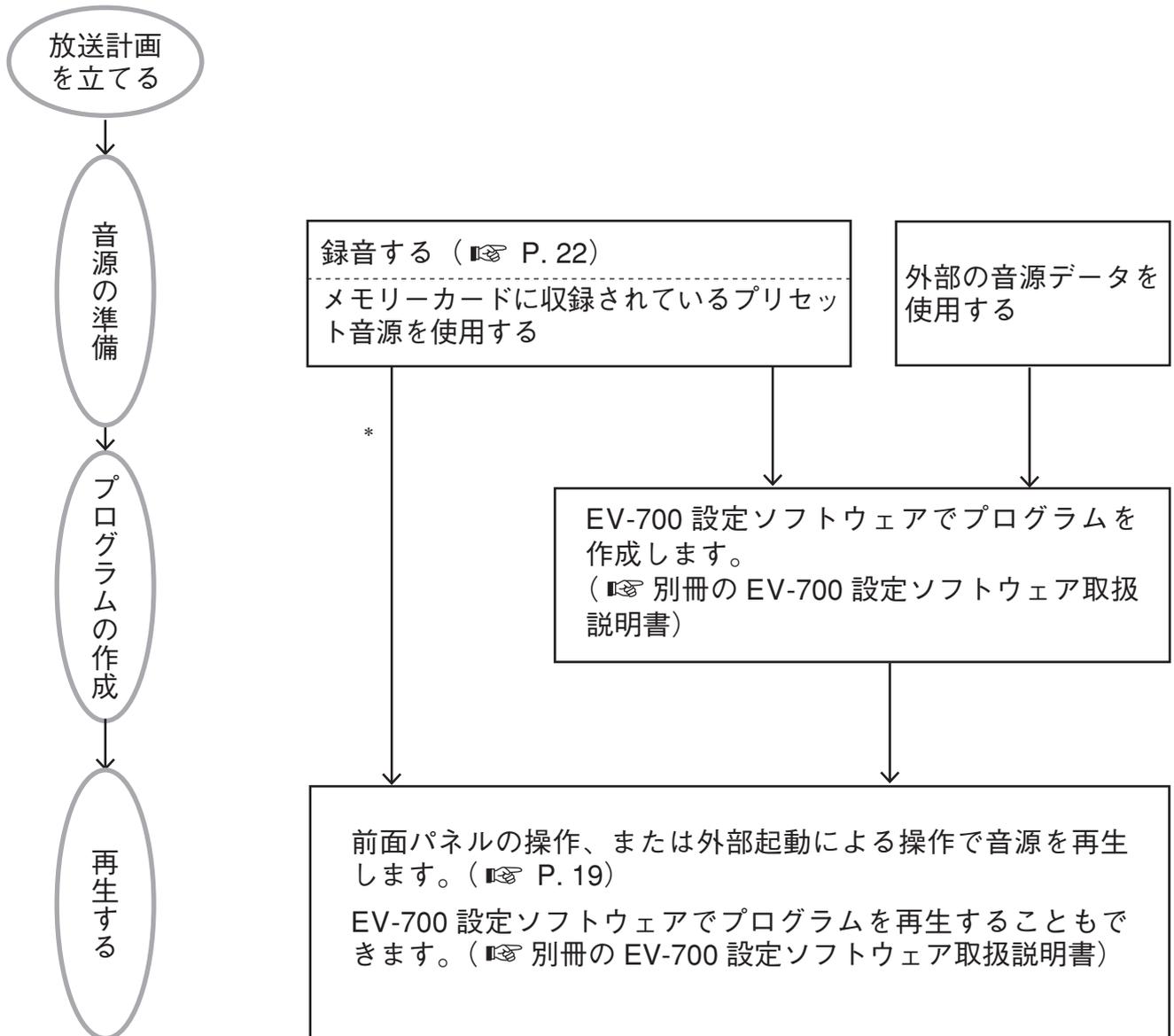
38. DC 電源入力端子

DC24 V 電源を接続します。

39. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

必ず接地してください。

作業の流れ



* プログラムの作成をしない場合は、本機とプリセット音源の工場出荷時設定通りに再生されます。この方法で再生できるのは、プリセット音源の 8 音源 (P. 18) のみです。

※ プログラムの作成には EV-700 設定ソフトウェアが必要です。
EV-700 設定ソフトウェアおよび EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書の最新版は TOA 商品データダウンロードサイト (<http://www.toa-products.com/>) で公開しています。

まず使ってみましょう

本機のメモリーカードには各種音源データが収録されており、その音源を「プリセット音源」と呼びます。プリセット音源の内容は、P. 108「プリセット音源一覧表」をお読みください。

プリセット音源の中の8種類には、あらかじめプログラム番号が割り当てられています。この8種類の音源は、工場出荷状態ですぐに再生することができます。

プログラム番号が割り当てられたプリセット音源は下表のとおりです。

プログラム番号	文節番号	音源内容
P001	00001	ウエストミンスターの鐘（通常）
P002	00002	ラジオ体操第一（掛声入り）
P003	00003	オリジナル環境音
P004	00004	家路
P005	00005	野ばら
P006	00006	夕焼け小焼け
P007	00007	蛍の光
P008	00008	上り4音チャイム

ここでは、この中の「ウエストミンスターの鐘（通常）」を、前面パネルのキー操作で再生する場合の手順を説明します。

ご注意

上記8種類以外のプリセット音源を再生するには、EV-700 設定ソフトウェアでプログラムを組む必要があります。（別冊の EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書）

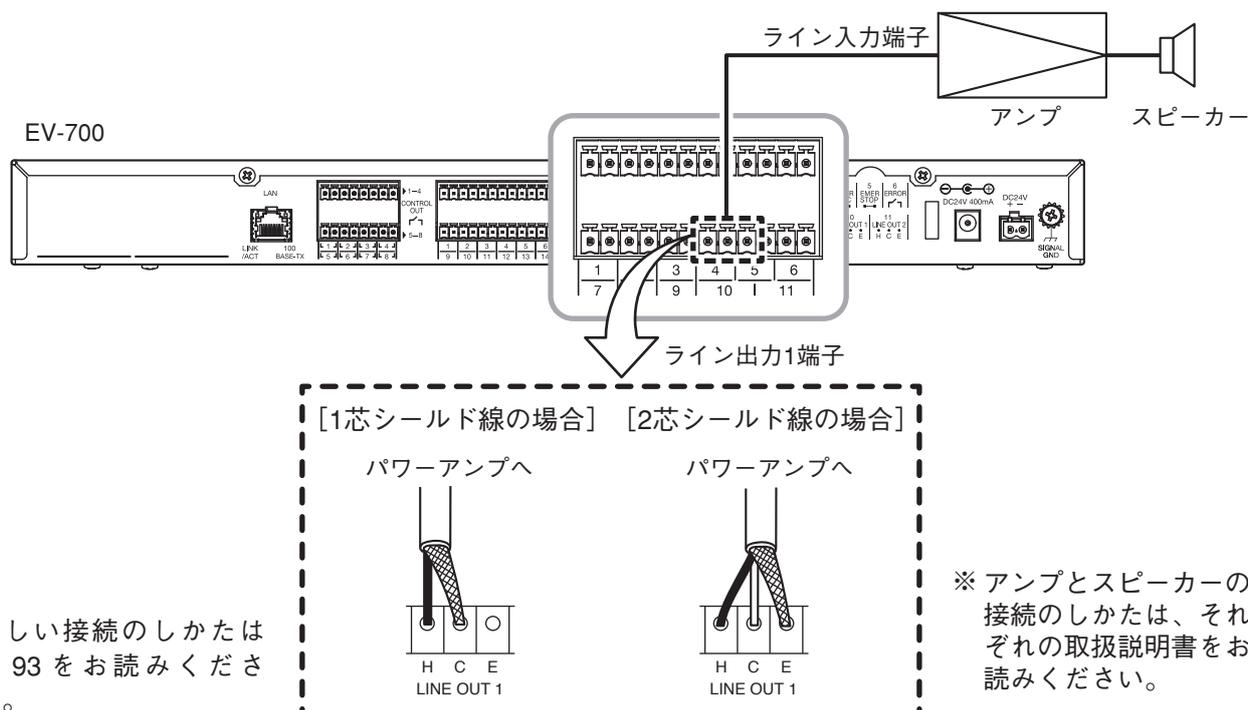
メモ

プログラム番号のうち、P009～P016には文節00009～00016が工場出荷時に割り当てられています。文節00009～00016に音源を録音すると、EV-700 設定ソフトウェアでプログラムを組まなくても再生することができます。

■ 接続する

次のように各機器を接続し、付属のメモリーカードをメモリーカードスロット A に挿入してから、本機に電源を接続しアンプの電源を入にします。

本機とアンプ間の接続には、1 芯シールド線または 2 芯シールド線を使用してください。



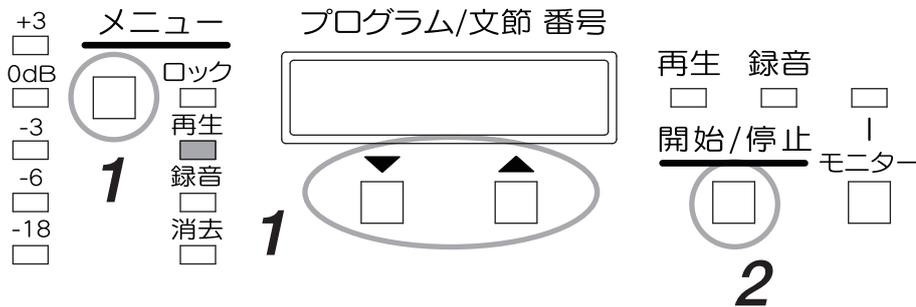
詳しい接続のしかたは P. 93 をお読みください。

※ アンプとスピーカーの接続のしかたは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

■ 放送（再生）する

前面パネルを操作して再生します。

以下の手順は、プログラム番号 001（P001）に登録されている「ウエストミンスターの鐘（通常）」を再生する例を示しています。



1 メニューキーを押して再生モードを選択する。

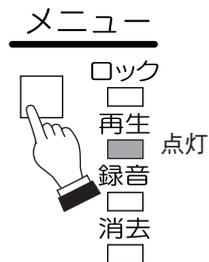
再生モード表示灯が点灯します。

状態表示器に約 3 秒間「PLAY」と表示された後、プログラム番号が表示されます。

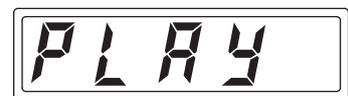
メモ

工場出荷状態では、プログラム番号は「P.P.001」（プログラム番号 P001 の意味）と表示されます。

「P.P.001」と表示されないときは、上下キーを押して「P.P.001」を表示させます。



3秒間表示



(PLAY)

プログラム番号表示



2 開始/停止キーを押す。

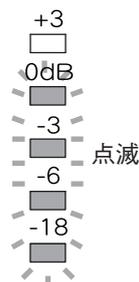
再生が始まります。

メモ

工場出荷状態では、遅延時間が 2 秒に設定されているため、開始/停止キーを押してから 2 秒後に再生が始まります。



再生中は、再生表示灯が点灯し、レベルメーターに信号のレベルが表示されます。



再生が終了すると自動的に停止します。

文節とプログラム

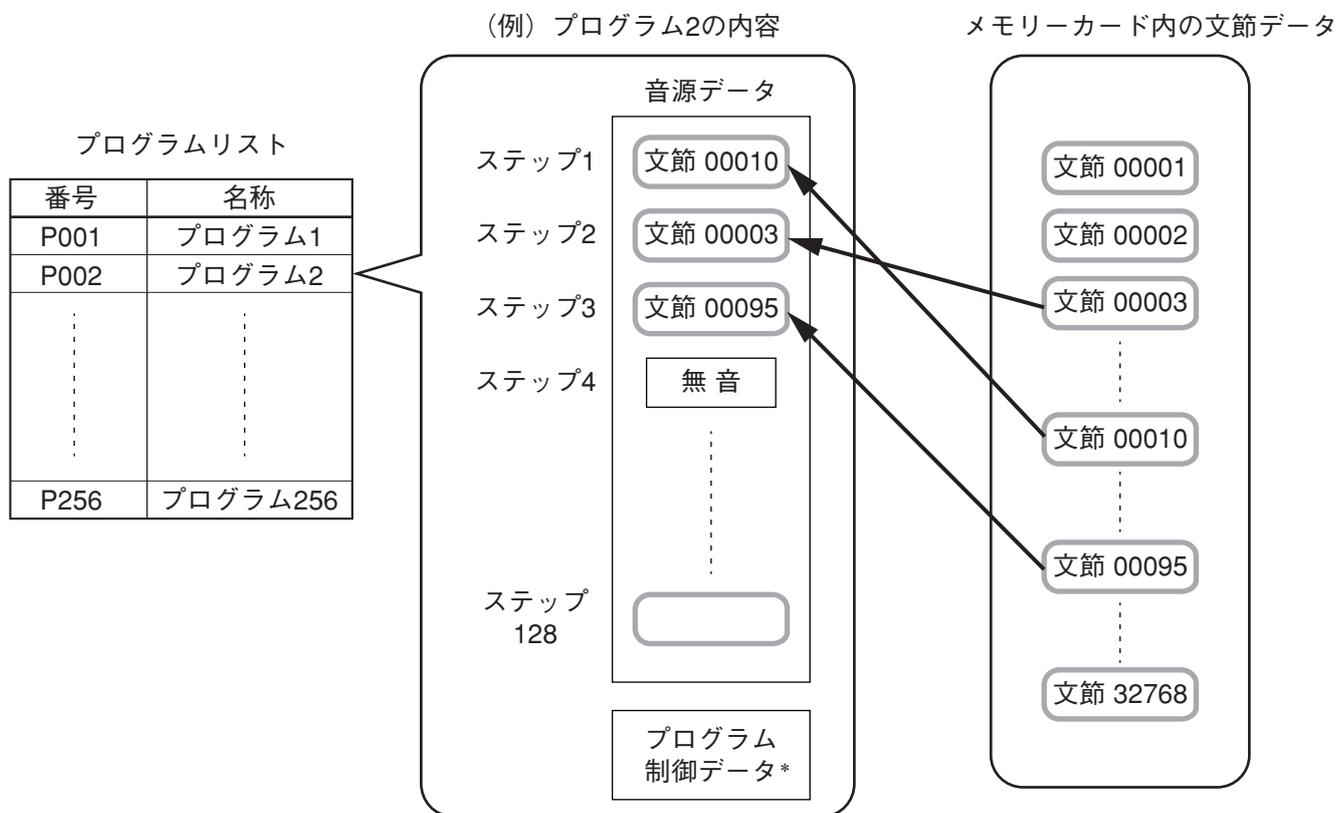
本機では、音源の取り扱いに「文節」と「プログラム」という2つの名称を使用します。

■ 文節とは

文節とは、メモリーカードに記録された音源データ（WAV ファイル）のことで、1度の録音で1つの文節が作成されます。最大 32768 の文節データをメモリーカードに書き込むことができます。
EV-700 において「文節」は WAV ファイルのことを指し、一般的な意味での文節とは異なります。「文節」という名称であっても、音楽や文章の音源データを記録することもできます。

■ プログラムとは

プログラムとは、文節を組み合わせて作成する放送の音源データ、およびプログラム音量、再生方式などのプログラム制御データで構成されます。最大 256 のプログラムを登録することができます。



* 詳細は次ページを参照してください。

プログラム内の文節を再生する順序を「ステップ」といいます。1つのステップで、または複数のステップを組み合わせ、プログラムを作ります。1つのプログラムには「文節」と「無音文節」*を最大128ステップまで組み合わせることができます。

また、放送のしかたの情報をプログラムごとに設定できます。この情報を「プログラム制御データ」といいます。

プログラム制御データには、以下の種類があります。詳しくは、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

プログラム制御データの種類	参照先
プログラム名	—
出力先 (ライン出力1、ライン出力2)	P. 12
再生方式 (プログラム再生、ステップ再生、全文節再生、チャイム再生)	P. 66
プログラム音量 (0～10)	P. 85
プログラム再生ビジーの出力先 (1～8)	P. 87
AGC (ON/OFF)	P. 85
優先度 (2～8)	P. 81
リピート回数	P. 66
リピート時間	P. 63
リピート間隔	P. 66
リピート間隔中ビジー出力	P. 66
インターバル (文節間隔)	P. 68
インターバル中ビジー出力	P. 69

* 無音の文節で、文節間の秒数を調節できます。EV-700 設定ソフトウェアで作成できます。

■ プログラムの再生

再生はプログラムごとに行います。

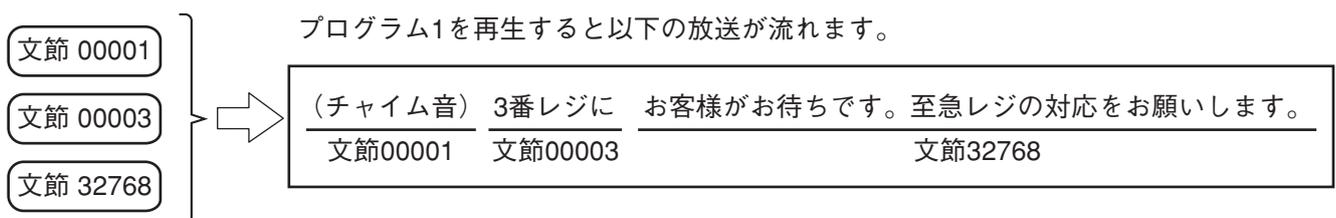
EV-700 本体の前面操作や EV-700 設定ソフトウェアでは、再生したいプログラムを選択して再生できます。制御接点による操作では、再生したいプログラムに対応した制御接点入力端子をメイクすると、そのプログラムが再生されます。

● プログラム例

[メモリーカード内の文節データ]

文節番号	内容
00001	(チャイム音)
00003	3番レジに
32768	お客様がお待ちです。至急レジの対応をお願いします。

[プログラム1]



メモ

工場出荷時は、プログラム番号の P001～P016 に文節の 00001～00016 が登録されています。そのうち文節の 00001～00008 にはプリセット音源が登録されているので、プログラム 001 (P001) を再生すると文節の 00001 に登録されているプリセット音源が再生されます。(P. 18)

■ 工場出荷時のプログラム

- 工場出荷時は、プリセット音源（ P. 108 「プリセット音源一覧表」）のうち、次の8音源が文節番号の00001～00008に登録されており、文節番号00001～00008は、それぞれプログラム番号P001～P008に割り当てられています。
この8音源については、EV-700設定ソフトウェアでプログラムを作成しなくても再生できます。
たとえば、P001を再生すれば、文節番号00001に登録された「ウエストミンスターの鐘（通常）」が再生されます。
- 文節番号の00009～00016は、音源データは登録されていませんが、それぞれプログラム番号P009～P016に割り当てられています。
文節番号の00009～00016に音源データを録音すれば、上記のプリセット音源と同じように、EV-700設定ソフトウェアでプログラムを作成しなくても再生できます。
たとえば、文節番号00009に録音したデータは、P009を再生すれば再生されます。
- 再生方式は、「P008 上り4音チャイム」がチャイム再生方式に設定されている以外はプログラム再生方式に設定されています。（再生方式について  P. 66）
- 文節番号00001～00008に登録されているプリセット音源を前面パネルのキー操作で消去した後に、その文節番号に音源を録音することもできます。その場合、上記同様に、EV-700設定ソフトウェアでプログラムを作成しなくても再生できます。この方法で消去したプリセット音源は、EV-700設定ソフトウェアを使用してメモリーカードから再度登録できます。

プログラム番号	文節番号	音源内容
P001	00001	ウエストミンスターの鐘（通常）
P002	00002	ラジオ体操第一（掛声入り）
P003	00003	オリジナル環境音
P004	00004	家路
P005	00005	野ばら
P006	00006	夕焼け小焼け
P007	00007	蛍の光
P008	00008	上り4音チャイム
P009	00009	未登録
P010	00010	
P011	00011	
P012	00012	
P013	00013	
P014	00014	
P015	00015	
P016	00016	

操作のしかた

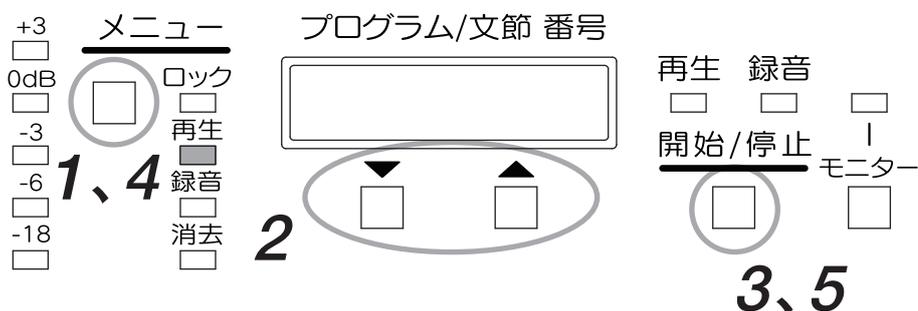
前面パネルのキー操作で再生、録音、消去が行えます。
接点制御でも同様のことが行えます。(参照 P. 28 「外部制御による各動作の起動」)

ご注意

前面パネルの操作では、プログラムを作成することはできません。プログラムの作成はEV-700設定ソフトウェアで行います。(参照 EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)

■ プログラムを再生する

プログラム番号を指定して、再生します。



1 メニューキーを押して再生モードを選択する。

再生モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。
状態表示器に約3秒間「PLAY」と表示された後、プログラム番号が表示されます。

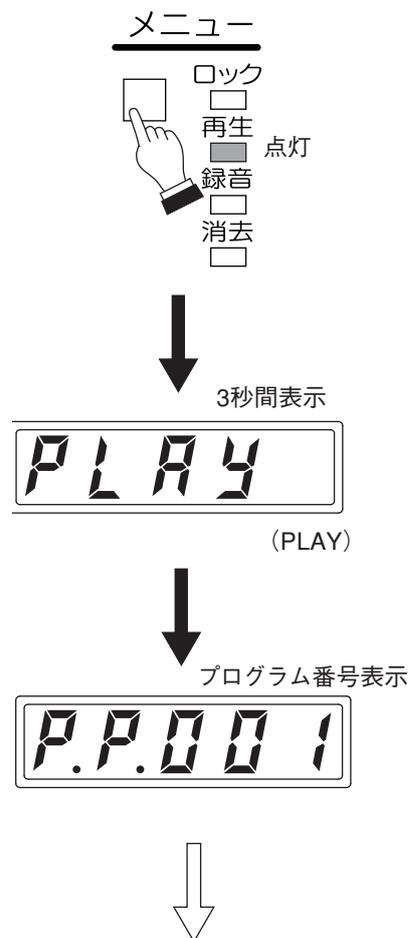
メ モ

プログラム番号は、アルファベット2桁+数字3桁で表示されます。1桁目の「P.」はプログラムを、2桁目は再生方式を表しています。

例) P. P. 001

再生方式は次のとおりです。再生方式の詳細については、「再生方式について」(参照 P. 66)をお読みください。

記号	再生方式
P. (P.)	プログラム再生
S. (S.)	ステップ再生
A. (A.)	全文節再生
C. (C.)	チャイム再生

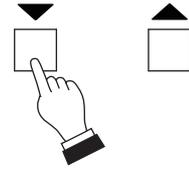


2 上下キーのどちらかを押して、再生したいプログラム番号を選択する。

メモ

- 再生前に、ヘッドホンだけで、再生しようとしている内容を聞くことができます。
(参照 P. 27 「メモリーカードの録音内容を確認したいとき」)
- 上キーまたは下キーを長押しすると、プログラムを素早く選択できます。

P.P.003



3 開始/停止キーを押す。

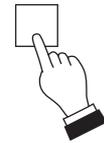
プログラム制御データに応じて、再生が始まります。

メモ

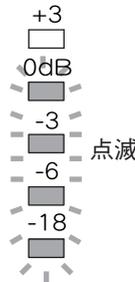
工場出荷状態では、遅延時間が2秒に設定されているため、開始/停止キーを押してから2秒後に再生が始まります。

再生 録音
点灯 ■ □

開始/停止



再生中は、再生表示灯が点灯し、レベルメーターに信号のレベルが表示されます。



[各キーを操作無効にしたいとき]

メニューキーを押してロックモードにする。

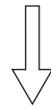
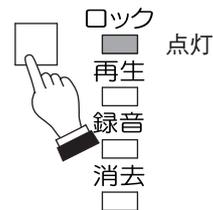
ロックモード表示灯が点灯します。
メニューキー以外のキー操作を受け付けなくなるので、誤操作防止になります。*
ロックモードを解除するときは、もう一度メニューキーを押します。

* ただし、クイックストップ機能を「有効」に設定している場合は、再生中の開始/停止キーによる停止操作を受け付けません。(参照 P. 88 「クイックストップ機能」)

メモ

再生開始から5分を超えると自動的にロックモードになります。

メニュー



4 再生を途中で停止させたいときは、もう1度開始/停止キーを押す。

再生表示灯が消灯します。

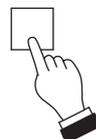
メモ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。(参照 P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする (ロックモード)」)

再生 録音

□ □

開始/停止



■ プログラム再生を停止する

プログラム再生は、ワンショット起動（ P. 33）に設定している場合、事前に設定した回数の繰り返し放送をした後、自動的に停止しますが、手動で停止することもできます。EV-700 設定ソフトウェア、制御入力、前面操作のどの方法を使って再生した場合でも、以下の方法で停止することができます。

メ モ

クイックストップ機能を「有効」に設定している場合は、ロックモード中であっても、開始/停止キーを押すだけで再生を停止できます。（ P. 88 「クイックストップ機能」）

1 メニューキーを押して再生モードを選択する。

再生モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。



2 開始/停止キーを押す。

再生が停止し、再生表示灯が消灯します。

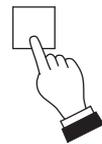
再生 録音

開始/停止

メ モ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。

（ P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする（ロックモード）」）

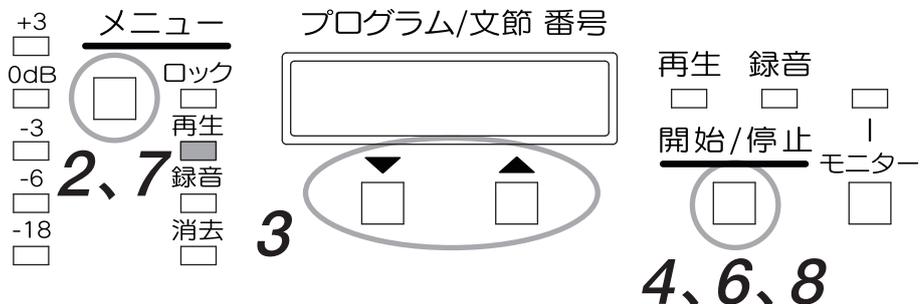


■ 文節に録音する

文節番号を指定して、音源を録音します。

メモ

EV-700 設定ソフトウェアで設定したサンプリング周波数で録音されます。
工場出荷時の設定は、サンプリング周波数 44.1 kHz です。



1 マイク、演奏機器などの音源機器を本機に接続する。
(P. 93 「接続のしかた」)

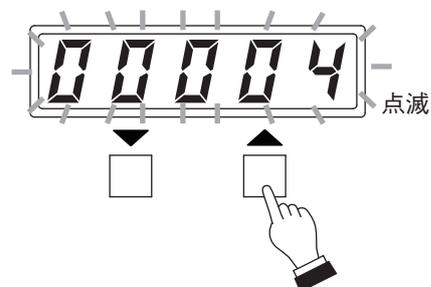
2 メニューキーを押して録音モードを選択する。
録音モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。
状態表示器に約 3 秒間「rEC」(REC) と表示された後、「00001」
のように文節番号が表示されます。



3秒間表示



文節番号表示



3 上下キーのどちらかを押して、録音したい文節番号を選択する。
録音可能な文節番号は点滅表示します。

ご注意

文節番号が点滅しない場合はすでに文節が登録されています。
このとき、次の手順 4 で開始/停止キーを押すと、状態表示器に
約 3 秒間、以下の表示が現れ、その後文節番号の表示に戻ります。



メモ

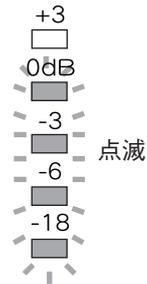
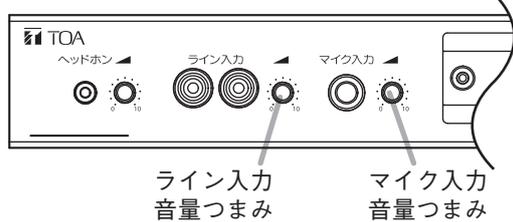
- 工場出荷時は、文節番号 00009 ~ 00016 はそれぞれプログラム番号 P009 ~ P016 に割り当てられており、プリセット音源は登録されていません。そのため、この文節番号に録音した音源は、該当するプログラム番号を指定すれば、すぐに再生することができます。
- ヘッドホンだけで、登録されている録音内容を聞くことができます。
(P. 27 「メモリーカードの録音内容を確認したいとき」)
- 上キーまたは下キーを長押しすると、文節を素早く選択できます。

4 録音する音源の音量を調節する。

レベルメーターを見ながらマイク入力音量つまみまたはライン入力音量つまみで、録音する音源の音量を調節します。

レベルメーターの「+3」のLEDが常時点灯した状態にならないようにしてください。

前面パネル



メモ

録音する音源の内容は、ヘッドホンを接続するとモニターできます。

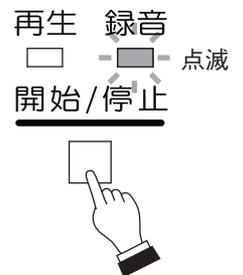
5 開始/停止キーを押す。

状態表示器に「rEAdY」(READY)と表示され、録音待機状態になります。

録音待機中は、録音表示灯と状態表示器右隅のドットが点滅します。

メモ

何も操作せずに5分が経過すると手順3の状態に戻ります。

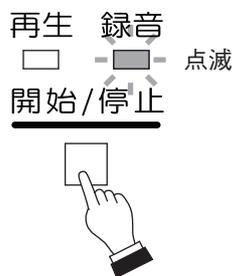
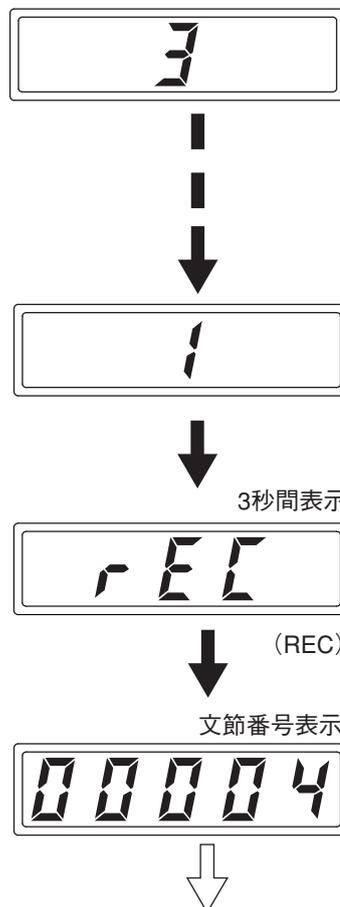


6 もう一度、開始/停止キーを押す。

3秒後に録音が始まります。

状態表示器には、「3」から「1」まで残り秒数がカウントダウンで表示されます。

録音が始まると、録音表示灯が点灯し、状態表示器に約3秒間「rEC」(REC)と表示された後、録音中の文節番号を表示します。



7 マイクに向かって話すか、演奏機器で音源を再生する。

メモ

- メモリーカードの容量が一杯になると録音を停止します。
- マイク入力、ライン入力のうち、入力がある方を録音します。
- マイク入力とライン入力が両方入力された場合は、放送の優先度が高い方が録音されます。放送の優先度が高い方の入力がなくなっても、優先度の低い方の録音には切り換わりません。

8 録音を停止させたいときは、開始/停止キーを押す。

録音表示灯が消灯します。

メモ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。
(P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする (ロックモード)」)

再生 録音

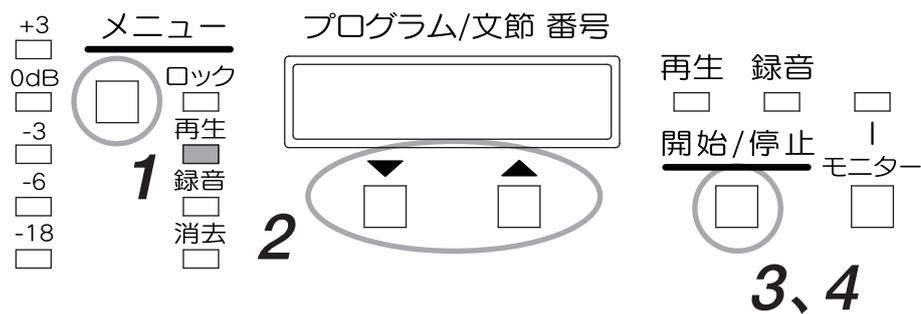


開始/停止

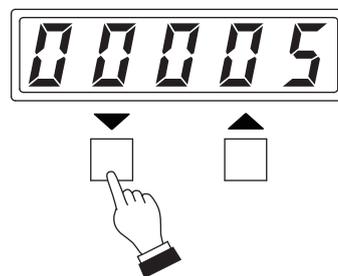


■ 文節を消去する

文節番号を指定して、音源を消去します。



- 1** メニューキーを押して消去モードを選択する。
消去モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。
状態表示器に約3秒間「dEL」(DEL)と表示された後、「00001」のように文節番号が表示されます。



- 2** 上下キーのどちらかを押して、消去したい文節番号を選択する。

メモ

消去前に、ヘッドホンだけで選択された文節の内容を聞くことができます。
(P. 27 「メモリーカードの録音内容を確認したいとき」)

3 開始/停止キーを押す。

状態表示器に「rEAdY」(READY)と表示され、消去待機状態になります。

消去待機中は、状態表示器右隅のドットが点滅します。

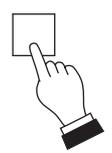
メモ

何も操作せずに5分が経過すると手順2の状態に戻ります。



再生 録音

開始/停止



4 もう一度、開始/停止キーを押す。

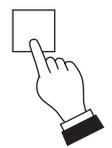
文節が消去されます。

状態表示器に「dEL」(DEL)と表示され、続けて消去中の文節番号が点滅表示されます。

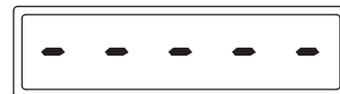


再生 録音

開始/停止



消去完了表示



文節番号表示



消去が完了すると、ハイフンが表示された後、他の文節番号の表示に変わります。

メモ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。

(P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする(ロックモード)」)

■メモリーカードの録音内容を確認したいとき

再生、録音、消去するときにメモリーカードの録音内容を確認するには次のとおりにします。ライン出力1、2からは音声が出力されず、ヘッドホン出力端子のみで内容を確認することができます。

1 再生、録音、消去の各動作で、文節番号またはプログラム番号を選択する。

再生の場合、プログラム番号を選択します。

( P. 20、手順2参照)

録音の場合、文節番号を選択します。

( P. 22、手順3参照)

消去の場合、文節番号を選択します。

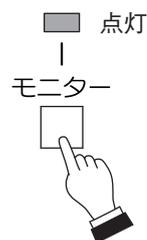
( P. 25、手順2参照)

2 モニターキーを押す。

モニター表示灯が点灯し、ヘッドホン出力端子のみから、選択した音源のモニター再生が開始されます。

メ モ

ライン出力1端子、ライン出力2端子からは出力されません。

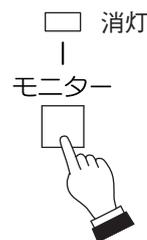


3 途中で確認を終了するときには、もう一度モニターキーを押します。

モニター表示灯が消灯し、モニター再生が停止します。

メ モ

選択した音源の再生が終了すると、自動的にモニター表示灯が消灯し、モニター再生が終了します。



■前面パネルの各キーを操作無効にする（ロックモード）

前面パネルの操作がすべて終了したら、ロックモードにしておきます。

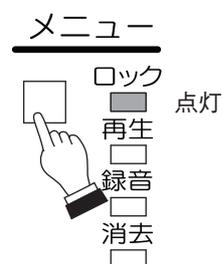
メニューキー以外のキー操作を受け付けなくなるので、誤操作防止になります。*

*ただし、クイックストップ機能を「有効」に設定している場合は、再生中の開始/停止キーによる停止操作を受け付けます。( P. 88 「クイックストップ機能」)

●ロックモードにする

メニューキーを何度か押してロックモードを選択する、またはメニューキーを2秒以上押し続ける。

ロックモード表示灯が点灯し、ロックモードになります。



●ロックモードを解除する

ロックモードになっているとき（ロックモード表示灯が点灯しているとき）にメニューキーを押す。

ロックモード表示灯が消灯し、ロックモードが解除になります。



外部制御による各動作の起動

本機は、タイマーなど外部制御機器を後面の接点起動入力端子や各種の制御入力端子に接続し、メイク信号を入力することで、再生、録音、消去／クリア、停止、緊急放送の各動作を起動させることができます。

メモ

外部制御による各動作中は、放送中のプログラム番号などの動作内容が状態表示器に表示され、ロックモードになります。

停止する場合は、メニューキーを押して再生モードに切り換えてから、開始／停止キーを押してください。*

* クイックストップ機能を「有効」に設定している場合は、ロックモード中であっても、開始／停止キーを押すだけで再生を停止できます。(P.88 「クイックストップ機能」)

■ 制御のしかたを設定する

制御方法や制御信号のタイプなど外部起動に関する設定は、EV-700 設定ソフトウェアで行います。

[設定例 (初期設定)]

起動モード

制御機能 ダイレクト バイナリー

起動対象	タイプ	動作
再生起動	<input checked="" type="radio"/> ワンショット <input type="radio"/> レベル	<input checked="" type="radio"/> 優先度設定(先入力優先) <input type="radio"/> 優先度設定(後入力優先) <input type="radio"/> 順次記憶
録音起動	<input checked="" type="radio"/> ワンショット <input type="radio"/> レベル	
停止起動	ワンショット	<input checked="" type="radio"/> 強制停止 <input type="radio"/> 文節自然停止
緊急再生起動	<input checked="" type="radio"/> ワンショット <input type="radio"/> レベル	
緊急停止起動	ワンショット	<input checked="" type="radio"/> 強制停止 <input type="radio"/> 文節自然停止

※ 詳しくは、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

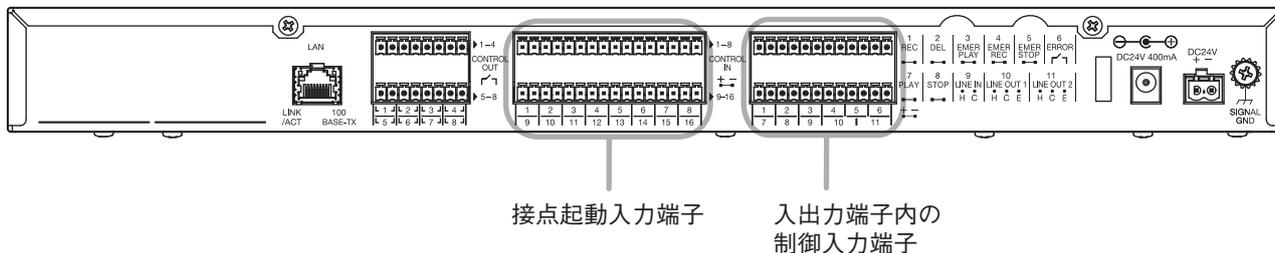
[設定・動作の概要]

- 最初に、制御機能を「ダイレクト」または「バイナリー」のどちらかに設定します。設定された制御機能は、再生起動、録音起動、消去／クリア起動、停止起動に適用されます。
- 緊急再生起動と緊急停止起動は、ダイレクト、バイナリーのどちらに設定しても動作は同じです。
- 起動対象ごとに制御の詳細（タイプと動作）が設定できます。
- 「録音起動」に関する設定・動作について
 - ・ 文節の上書き録音はできません。文節を録音し直すときは、必ず消去してから録音してください。
 - ・ 外部起動で録音できるのは次の文節数です。
 - ダイレクトのとき：16 文節 (00001 ~ 00016)
 - バイナリーのとき：256 文節 (00001 ~ 00256)
 - ・ 録音された文節はすべてメモリーカード A に記録されます。

■ 制御信号を入力する

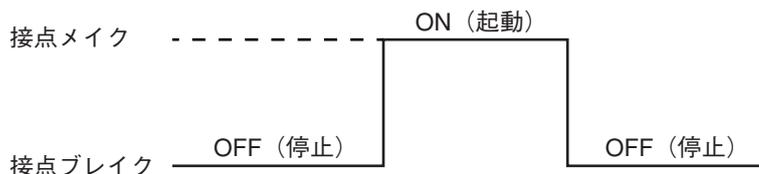
● 外部起動に使用する入力端子

本機後面の接点起動入力端子と各動作を起動する制御入力端子にそれぞれメイク信号を入力します。接点起動入力端子では、再生するプログラム番号または録音／消去する文節番号を選択します。制御入力端子では、再生、録音、消去／クリア、停止、または緊急放送の各動作を選択します。



● メイク信号による起動

接点起動／制御入力端子にメイク信号を入力することにより、外部起動を行います。端子の接点は通常時ブレイク（開）で、メイク（閉）すると起動がかかります。



ご注意

- メイク信号を入力するときは、必ず 50 ms 以上メイクしてください。本機にメイク信号が入力されてから機器が信号を認識するまでに 30 ~ 50 ms かかるため、メイクしている時間が 50 ms 未満の場合、機器が動作しないことがあります。
また、メイク信号に順番がある場合、1つ目の信号を入力してから2つ目の信号を入力するまでに 50 ms 以上の間隔をあけてください。
間隔をあけないと、入力された順番が正しく反映されない場合があります。
- 本書内の図では、30 ~ 50 ms の時間差を省略しています。

■ 設定項目の詳細

● ダイレクト制御機能とバイナリー制御機能

ダイレクト制御機能：接点起動入力端子 1～16 のいずれか 1 つの端子にメイク信号を入力することで、その端子に該当するプログラム番号の再生または文節番号の録音・消去などの動作を行います。

バイナリー制御機能：接点起動入力端子 1～8 のメイク・ブレイク状態を、8 桁の 2 進数（バイナリー）として認識することで 1～256 のプログラムを選択できる機能です。

[ダイレクト制御機能による起動]

再生起動では、接点起動入力端子 1～16 のそれぞれの端子はプログラム番号に対応しています。

録音起動または消去起動では、接点起動入力端子 1～16 のそれぞれの端子は文節番号に対応しています。

( 下表)

接点起動入力 端子番号	再生起動
	プログラム番号
1	P001
2	P002
3	P003
4	P004
5	P005
6	P006
7	P007
8	P008
9	P009
10	P010
11	P011
12	P012
13	P013
14	P014
15	P015
16	P016

接点起動入力 端子番号	録音／消去起動
	文節番号
1	00001
2	00002
3	00003
4	00004
5	00005
6	00006
7	00007
8	00008
9	00009
10	00010
11	00011
12	00012
13	00013
14	00014
15	00015
16	00016

※ ダイレクト制御機能による起動の詳細は、P. 39 をご覧ください。

[バイナリー制御機能による起動]

接点起動入力端子1～8について、メイク状態を「1」、ブレイク状態を「0」とした場合、0と1から成る8桁2進数（バイナリー）として考えます。再生起動では、対象のプログラム番号を指定してから再生制御入力端子をメイクすると、指定した番号のプログラムを再生します。同様に、録音起動または消去起動では、対象の文節番号を指定してから録音または消去制御入力端子をメイクすると、指定した番号の文節を録音または消去します。

例えば、接点起動入力端子1～8を以下の状態にします。

接点起動入力端子	1	2	3	4	5	6	7	8
端子の状態（0：ブレイク、1：メイク）	1	0	1	0	0	0	0	0

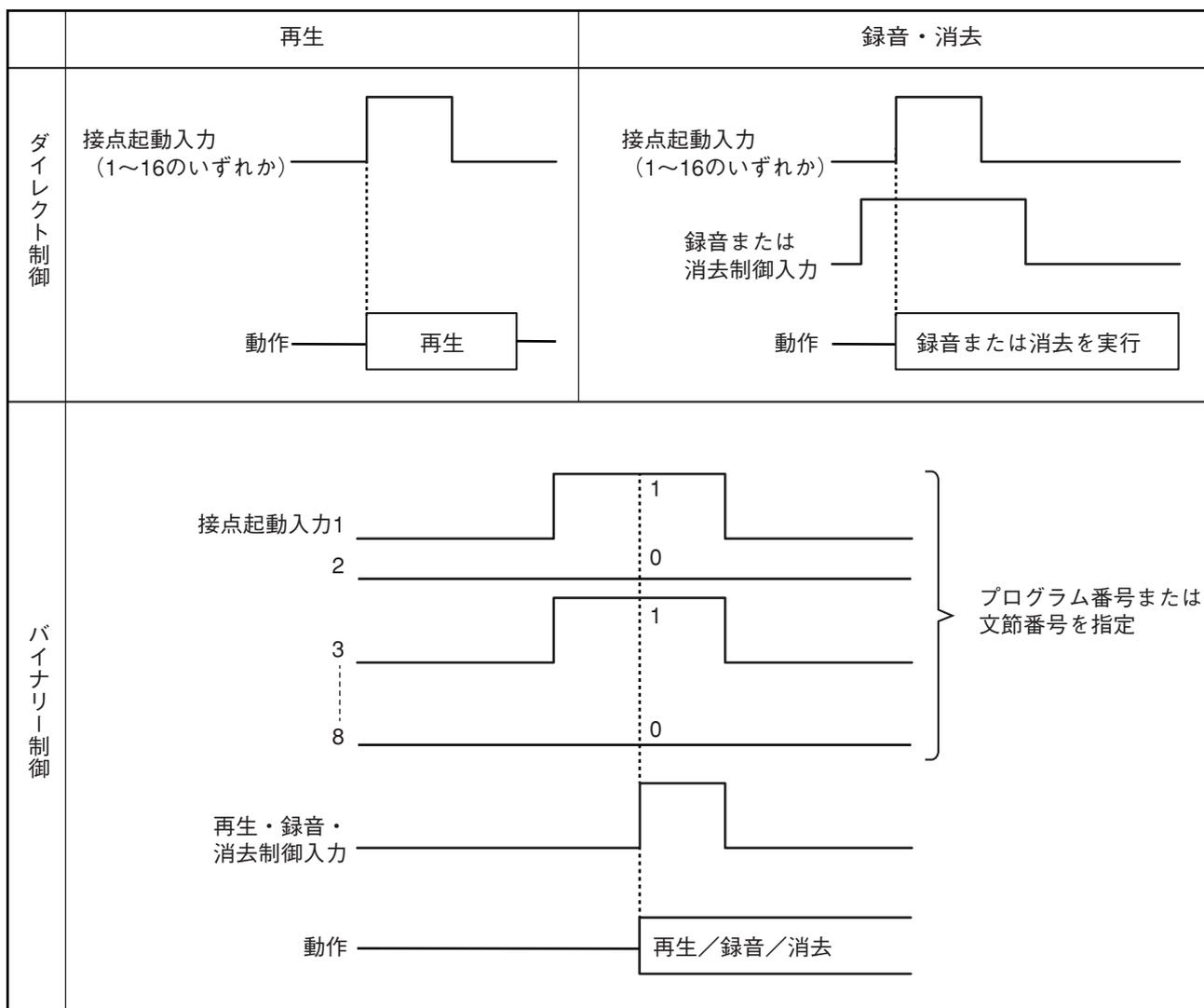
次ページの表より、この端子状態は P006 を指定していることになります。

この状態で再生制御入力端子をメイクすると、P006 が再生されます。

※ バイナリー制御機能による起動の詳細は、P. 45 をご覧ください。

ご注意

本機のバイナリー制御機能で指定される数字は、2進数表記とは異なります。例えば、端子状態が「00000000」では P001 が指定され、「10000000」では P002 が指定されます。



※ 本表はワンショット起動の場合です。

※ 起動信号と動作の詳細については、P. 38 をお読みください。

[バイナリー制御機能での接点起動入力端子 1 ~ 8]

接点起動入力端子								録音/ 消去	再生	接点起動入力端子								録音/ 消去	再生	接点起動入力端子								録音/ 消去	再生	接点起動入力端子								録音/ 消去	再生										
1	2	3	4	5	6	7	8	文 番 号	プログラム 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 番 号	プログラム 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 番 号	プログラム 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 番 号	プログラム 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	文 番 号	プログラム 番号
0	0	0	0	0	0	0	0	00001	P001	0	0	0	0	0	0	1	0	00065	P065	0	0	0	0	0	0	0	1	00129	P129	0	0	0	0	0	0	1	1	00193	P193										
1	0	0	0	0	0	0	0	00002	P002	1	0	0	0	0	0	1	0	00066	P066	1	0	0	0	0	0	0	1	00130	P130	1	0	0	0	0	0	1	1	00194	P194										
0	1	0	0	0	0	0	0	00003	P003	0	1	0	0	0	0	1	0	00067	P067	0	1	0	0	0	0	0	1	00131	P131	0	1	0	0	0	0	1	1	00195	P195										
1	1	0	0	0	0	0	0	00004	P004	1	1	0	0	0	0	1	0	00068	P068	1	1	0	0	0	0	0	1	00132	P132	1	1	0	0	0	0	1	1	00196	P196										
0	0	1	0	0	0	0	0	00005	P005	0	0	1	0	0	0	1	0	00069	P069	0	0	1	0	0	0	0	1	00133	P133	0	0	1	0	0	0	1	1	00197	P197										
1	0	1	0	0	0	0	0	00006	P006	1	0	1	0	0	0	1	0	00070	P070	1	0	1	0	0	0	0	1	00134	P134	1	0	1	0	0	0	1	1	00198	P198										
0	1	1	0	0	0	0	0	00007	P007	0	1	1	0	0	0	1	0	00071	P071	0	1	1	0	0	0	0	1	00135	P135	0	1	1	0	0	0	1	1	00199	P199										
1	1	1	0	0	0	0	0	00008	P008	1	1	1	0	0	0	1	0	00072	P072	1	1	1	0	0	0	0	1	00136	P136	1	1	1	0	0	0	1	1	00200	P200										
0	0	0	1	0	0	0	0	00009	P009	0	0	0	1	0	0	1	0	00073	P073	0	0	0	1	0	0	0	1	00137	P137	0	0	0	1	0	0	1	1	00201	P201										
1	0	0	1	0	0	0	0	00010	P010	1	0	0	1	0	0	1	0	00074	P074	1	0	0	1	0	0	0	1	00138	P138	1	0	0	1	0	0	1	1	00202	P202										
0	1	0	1	0	0	0	0	00011	P011	0	1	0	1	0	0	1	0	00075	P075	0	1	0	1	0	0	0	1	00139	P139	0	1	0	1	0	0	1	1	00203	P203										
1	1	0	1	0	0	0	0	00012	P012	1	1	0	1	0	0	1	0	00076	P076	1	1	0	1	0	0	0	1	00140	P140	1	1	0	1	0	0	1	1	00204	P204										
0	0	1	1	0	0	0	0	00013	P013	0	0	1	1	0	0	1	0	00077	P077	0	0	1	1	0	0	0	1	00141	P141	0	0	1	1	0	0	1	1	00205	P205										
1	0	1	1	0	0	0	0	00014	P014	1	0	1	1	0	0	1	0	00078	P078	1	0	1	1	0	0	0	1	00142	P142	1	0	1	1	0	0	1	1	00206	P206										
0	1	1	1	0	0	0	0	00015	P015	0	1	1	1	0	0	1	0	00079	P079	0	1	1	1	0	0	0	1	00143	P143	0	1	1	1	0	0	1	1	00207	P207										
1	1	1	1	0	0	0	0	00016	P016	1	1	1	1	0	0	1	0	00080	P080	1	1	1	1	0	0	0	1	00144	P144	1	1	1	1	0	0	1	1	00208	P208										
0	0	0	0	1	0	0	0	00017	P017	0	0	0	0	1	0	1	0	00081	P081	0	0	0	0	1	0	1	0	00145	P145	0	0	0	0	1	0	1	1	00209	P209										
1	0	0	0	1	0	0	0	00018	P018	1	0	0	0	1	0	1	0	00082	P082	1	0	0	0	1	0	1	0	00146	P146	1	0	0	0	1	0	1	1	00210	P210										
0	1	0	0	1	0	0	0	00019	P019	0	1	0	0	1	0	1	0	00083	P083	0	1	0	0	1	0	1	0	00147	P147	0	1	0	0	1	0	1	1	00211	P211										
1	1	0	0	1	0	0	0	00020	P020	1	1	0	0	1	0	1	0	00084	P084	1	1	0	0	1	0	1	0	00148	P148	1	1	0	0	1	0	1	1	00212	P212										
0	0	1	0	1	0	0	0	00021	P021	0	0	1	0	1	0	1	0	00085	P085	0	0	1	0	1	0	1	0	00149	P149	0	0	1	0	1	0	1	1	00213	P213										
1	0	1	0	1	0	0	0	00022	P022	1	0	1	0	1	0	1	0	00086	P086	1	0	1	0	1	0	1	0	00150	P150	1	0	1	0	1	0	1	1	00214	P214										
0	1	1	0	1	0	0	0	00023	P023	0	1	1	0	1	0	1	0	00087	P087	0	1	1	0	1	0	1	0	00151	P151	0	1	1	0	1	0	1	1	00215	P215										
1	1	1	0	1	0	0	0	00024	P024	1	1	1	0	1	0	1	0	00088	P088	1	1	1	0	1	0	1	0	00152	P152	1	1	1	0	1	0	1	1	00216	P216										
0	0	0	1	1	0	0	0	00025	P025	0	0	0	1	1	0	1	0	00089	P089	0	0	0	1	1	0	1	0	00153	P153	0	0	0	1	1	0	1	1	00217	P217										
1	0	0	1	1	0	0	0	00026	P026	1	0	0	1	1	0	1	0	00090	P090	1	0	0	1	1	0	1	0	00154	P154	1	0	0	1	1	0	1	1	00218	P218										
0	1	0	1	1	0	0	0	00027	P027	0	1	0	1	1	0	1	0	00091	P091	0	1	0	1	1	0	1	0	00155	P155	0	1	0	1	1	0	1	1	00219	P219										
1	1	0	1	1	0	0	0	00028	P028	1	1	0	1	1	0	1	0	00092	P092	1	1	0	1	1	0	1	0	00156	P156	1	1	0	1	1	0	1	1	00220	P220										
0	0	1	1	1	0	0	0	00029	P029	0	0	1	1	1	0	1	0	00093	P093	0	0	1	1	1	0	1	0	00157	P157	0	0	1	1	1	0	1	1	00221	P221										
1	0	1	1	1	0	0	0	00030	P030	1	0	1	1	1	0	1	0	00094	P094	1	0	1	1	1	0	1	0	00158	P158	1	0	1	1	1	0	1	1	00222	P222										
0	1	1	1	1	0	0	0	00031	P031	0	1	1	1	1	0	1	0	00095	P095	0	1	1	1	1	0	1	0	00159	P159	0	1	1	1	1	0	1	1	00223	P223										
1	1	1	1	1	0	0	0	00032	P032	1	1	1	1	1	0	1	0	00096	P096	1	1	1	1	1	0	1	0	00160	P160	1	1	1	1	1	0	1	1	00224	P224										
0	0	0	0	0	1	0	0	00033	P033	0	0	0	0	0	1	1	0	00097	P097	0	0	0	0	0	1	1	0	00161	P161	0	0	0	0	0	1	1	0	00225	P225										
1	0	0	0	0	1	0	0	00034	P034	1	0	0	0	0	1	1	0	00098	P098	1	0	0	0	0	1	1	0	00162	P162	1	0	0	0	0	1	1	0	00226	P226										
0	1	0	0	0	1	0	0	00035	P035	0	1	0	0	0	1	1	0	00099	P099	0	1	0	0	0	1	1	0	00163	P163	0	1	0	0	0	1	1	0	00227	P227										
1	1	0	0	0	1	0	0	00036	P036	1	1	0	0	0	1	1	0	00100	P100	1	1	0	0	0	1	1	0	00164	P164	1	1	0	0	0	1	1	0	00228	P228										
0	0	1	0	0	1	0	0	00037	P037	0	0	1	0	0	1	1	0	00101	P101	0	0	1	0	0	1	1	0	00165	P165	0	0	1	0	0	1	1	0	00229	P229										
1	0	1	0	0	1	0	0	00038	P038	1	0	1	0	0	1	1	0	00102	P102	1	0	1	0	0	1	1	0	00166	P166	1	0	1	0	0	1	1	0	00230	P230										
0	1	1	0	0	1	0	0	00039	P039	0	1	1	0	0	1	1	0	00103	P103	0	1	1	0	0	1	1	0	00167	P167	0	1	1	0	0	1	1	0	00231	P231										
1	1	1	0	0	1	0	0	00040	P040	1	1	1	0	0	1	1	0	00104	P104	1	1	1	0	0	1	1	0	00168	P168	1	1	1	0	0	1	1	0	00232	P232										
0	0	0	1	0	1	0	0	00041	P041	0	0	0	1	0	1	1	0	00105	P105	0	0	0	1	0	1	1	0	00169	P169	0	0	0	1	0	1	1	0	00233	P233										
1	0	0	1	0	1	0	0	00042	P042	1	0	0	1	0	1	1	0	00106	P106	1	0	0	1	0	1	1	0	00170	P170	1	0	0	1	0	1	1	0	00234	P234										
0	1	0	1	0	1	0	0	00043	P043	0	1	0	1	0	1	1	0	00107	P107	0	1	0	1	0	1	1	0	00171	P171	0	1	0	1	0	1	1	0	00235	P235										
1	1	0	1	0	1	0	0	00044	P044	1	1	0	1	0	1	1	0	00108	P108	1	1	0	1	0	1	1	0	00172	P172	1	1</																		

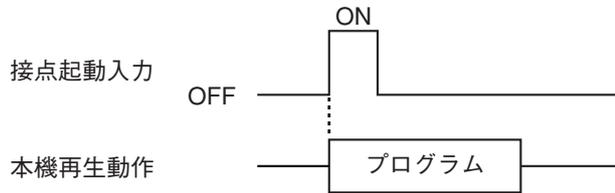
● ワンショット起動とレベル起動

ワンショット起動：端子にパルスのメイク信号（端子のメイク時間：50 ms 以上）を入力すると動作を起動します。動作が終わったとき、または停止制御入力のメイク信号によって停止します。

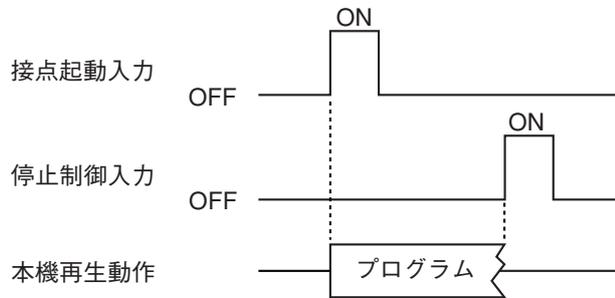
レベル起動：端子にメイク信号を入力すると動作を起動し、端子がメイクしている間、動作を継続します。プログラムの再生が終わってもメイク状態が継続している場合は、再生を繰り返します。

[ワンショット起動による動作]（ダイレクトモードのとき）

・ワンショット起動で再生起動したときの動作

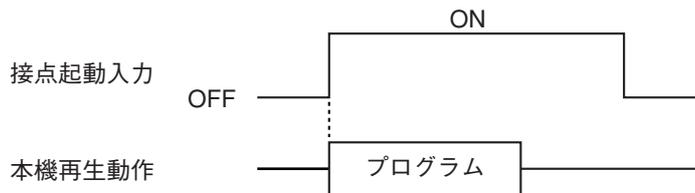


・ワンショット起動で再生起動し、再生途中で停止起動したときの動作



ご注意

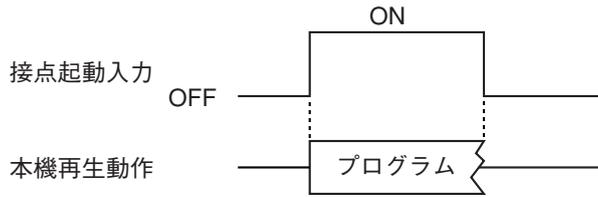
ワンショット起動に設定している場合は、プログラム再生終了時にメイク状態が継続していたとしても、繰り返し再生はしません。



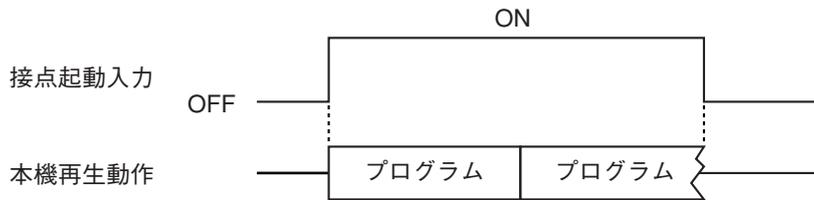
ワンショット起動に設定している場合は、メイク信号のメイク時間は最長でも 1 秒程度のパルスにしてください。

[レベル起動による動作] (ダイレクトモードのとき)

- ・レベル起動で再生起動したときの動作

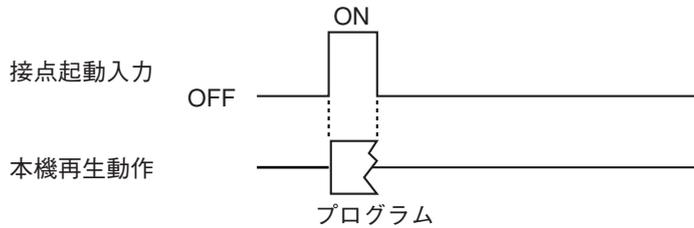


- ・レベル起動で再生起動し、プログラム終了後もメイクし続けたときの動作



ご注意

レベル起動に設定している場合は、短い時間メイクすると、メイクしている間だけ再生します。



● 再生起動の動作の設定

動作の設定には、優先度設定（先入力優先）、優先度設定（後入力優先）、順次記憶再生の3通りがあります。

[優先度設定（先入力優先）と優先度設定（後入力優先）による再生]

この2通りの設定による再生のときは、プログラムの優先度によって、次のように動作します。

優先度が異なる場合：優先度の高いプログラムが優先して再生されます。

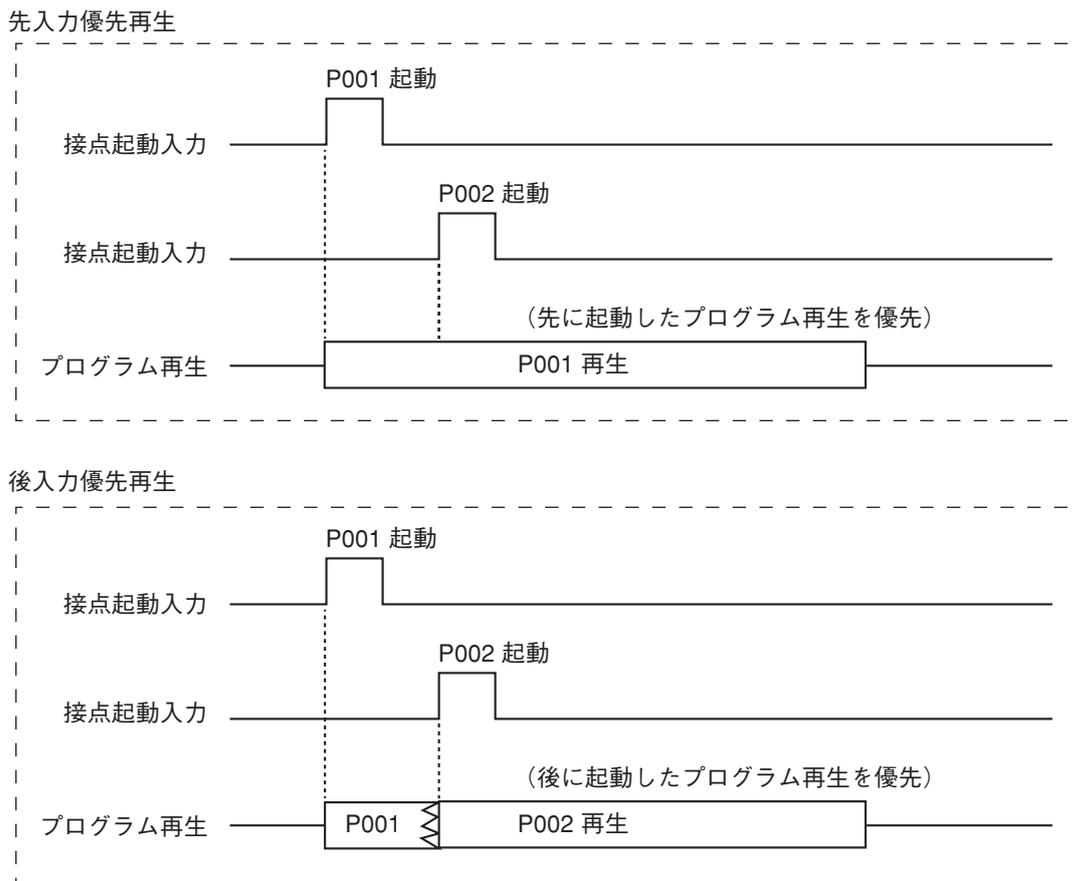
優先度が同じ場合：先入力優先と後入力優先のどちらに設定されているかで、次表のように異なる動作をします。

プログラム再生中に、同じ優先度のプログラムの再生が起動されたとき	先入力優先	後からのプログラム再生起動は受け付けません。
	後入力優先	後からのプログラムを再生します。
同じ優先度の2つのプログラムが同時に再生起動されたとき	先入力優先	小さいプログラム番号の方を再生します。
	後入力優先	大きいプログラム番号の方を再生します。

※ プログラムの優先度については、P. 81 をお読みください。

先入力優先再生と後入力優先再生の動作は以下の図のとおりです。

- ・プログラム（P001）再生中に、同じ優先度のプログラム（P002）の再生が起動されたとき



ご注意

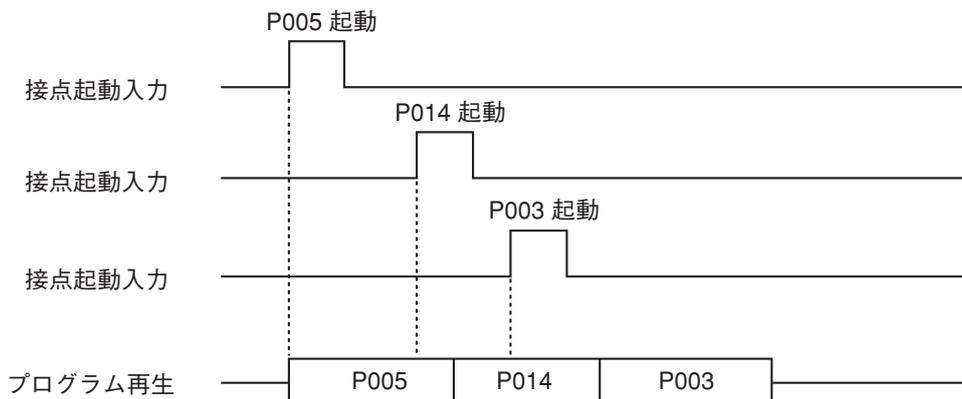
同じ優先度の2つのプログラムが同時に再生起動されたときは、以下の動作となります。

- ・先入力優先再生：プログラム番号の小さい方を再生します。
- ・後入力優先再生：プログラム番号の大きい方を再生します。

[順次記憶再生]

順次記憶再生のときは、接点起動入力を 16 入力まで記憶し、入力順に再生します。
 プログラム再生の順番は、プログラムの優先度には関係しません。起動信号が入力された順に再生されます。

順次記憶再生の動作は以下の図のとおりです。

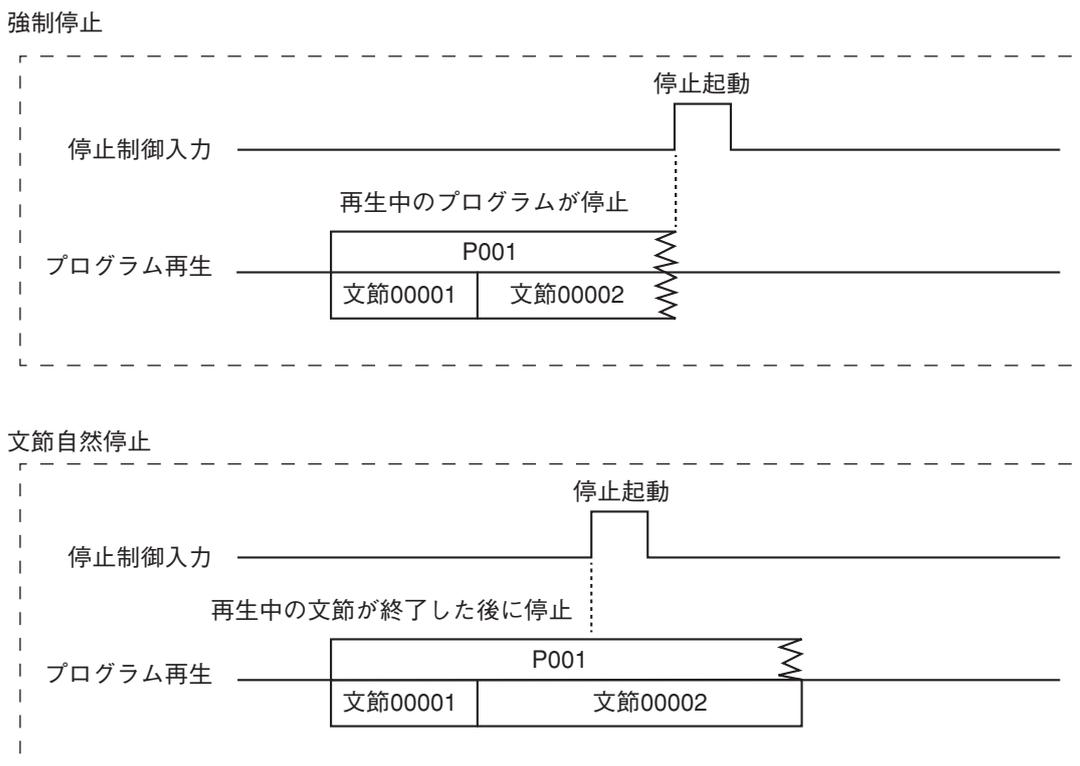


※ 複数の起動信号が同時に入力されたときは、プログラム番号の小さいものから順番に再生されます。

● 強制停止と文節自然停止

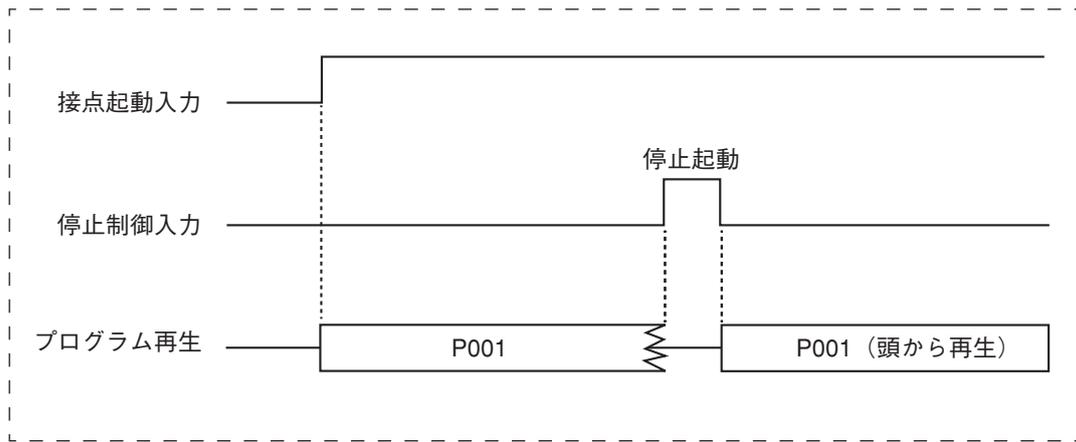
- 強制停止 : 停止制御入力端子がメイクされると再生しているプログラムをすぐに停止します。
- 文節自然停止 : 停止制御入力端子がメイクされると、メイク時に再生しているプログラム内の再生中の文節が終了した後に停止します。

[強制停止と文節自然停止の動作]

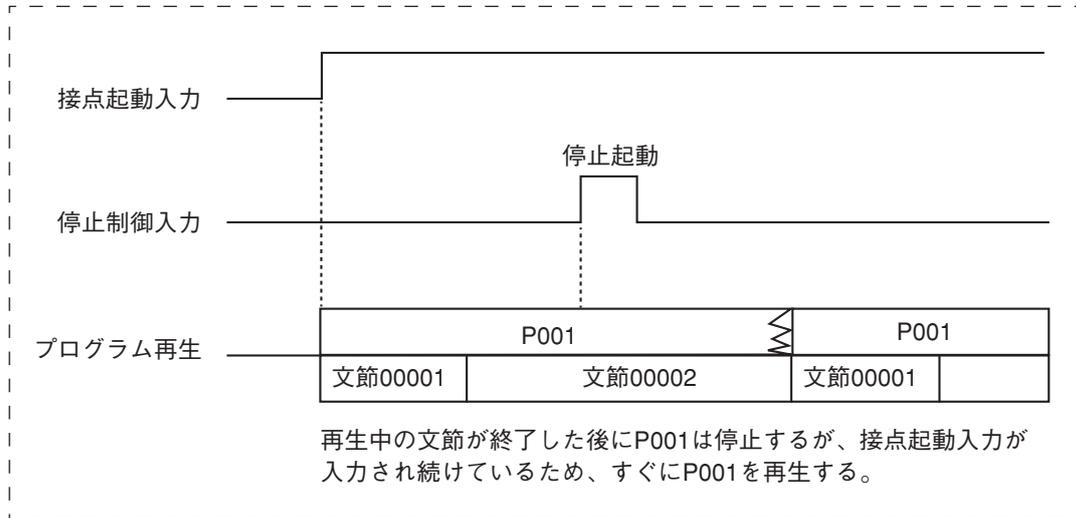


[レベル起動中の強制停止と文節自然停止の動作]

レベル起動、強制停止



レベル起動、文節自然停止



■ 起動信号と動作の詳細

● 起動モード一覧

制御機能	起動対象	起動のタイプ	動作のしかた	参照ページ
ダイレクト	再生	ワンショット	優先度設定（先入力優先）	P. 39 ①
			優先度設定（後入力優先）	P. 39 ②
			順次記憶	P. 40 ③
		レベル	優先度設定（先入力優先）	P. 41 ④
			優先度設定（後入力優先）	P. 42 ⑤
			—	—
	録音	ワンショット	—	P. 42 ⑥
		レベル	—	P. 43 ⑦
	消去／クリア	ワンショット	—	P. 43 ⑧
	停止	ワンショット	強制停止	P. 43 ⑨
文節自然停止			P. 44 ⑩	
バイナリー	再生	ワンショット	優先度設定（先入力優先）	P. 45 ⑪
			優先度設定（後入力優先）	P. 46 ⑫
			順次記憶	P. 47 ⑬
		レベル	—	P. 48 ⑭
	録音	ワンショット	—	P. 48 ⑮
		レベル	—	P. 49 ⑯
	消去／クリア	ワンショット	—	P. 49 ⑰
	停止	ワンショット	強制停止	P. 50 ⑱
			文節自然停止	P. 50 ⑲
	ダイレクト・バイナリー共通*2	緊急再生	ワンショット	—
レベル			—	P. 62
R.E.M. 再生		レベル	—	P. 63
緊急停止		ワンショット	強制停止	P. 62
			文節自然停止	P. 62

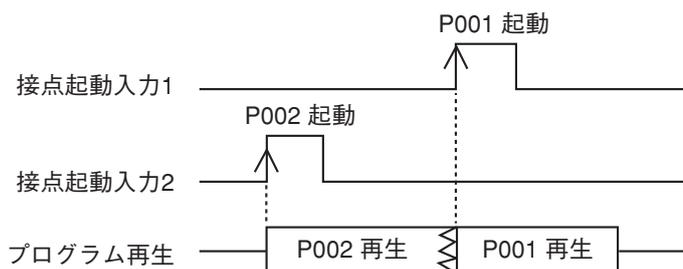
メモ

外部制御による各動作中は、放送中のプログラム番号などの動作内容が状態表示器に表示されます。

● **ダイレクト制御機能**

[① ワンショット起動、優先度設定（先入力優先）再生]

- 優先度の設定：P001 > P002 のとき



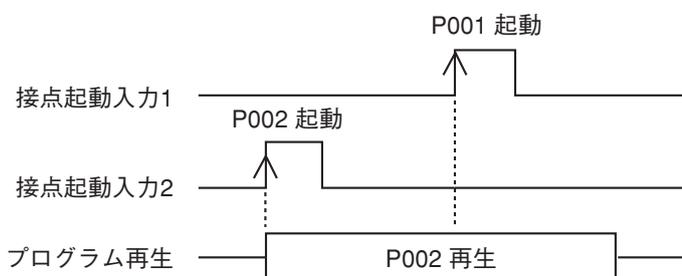
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されたときは、P001 が優先して再生される。

- 優先度の設定：P001 = P002 または P001 < P002 のとき



(起動の方法)

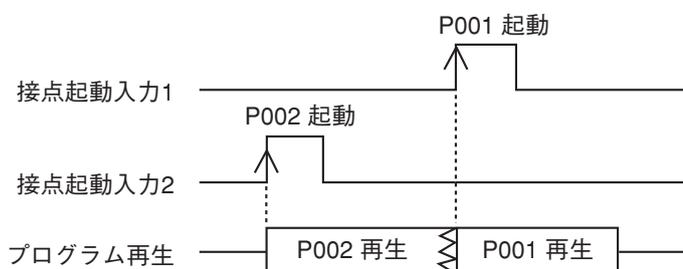
再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されても、後からの起動は無視され、先に起動した P002 の再生が継続する。

[② ワンショット起動、優先度設定（後入力優先）再生]

- 優先度の設定：P001 = P002 または P001 > P002 のとき



(起動の方法)

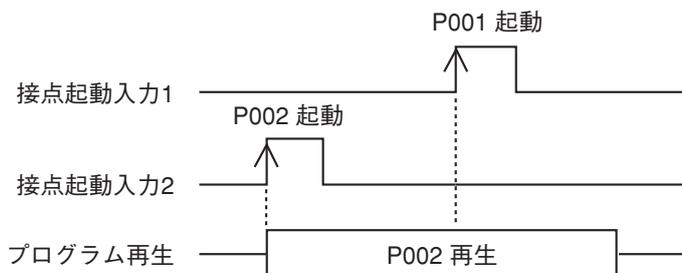
再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されたときは、P001 が優先して再生される。

ダイレクト制御

- 優先度の設定：P001<P002 のとき



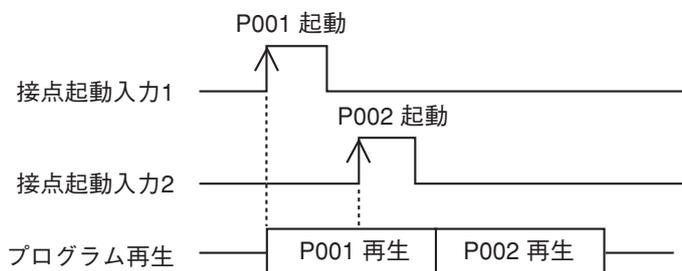
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されても、後からの起動は無視され、先に起動した P002 の再生が継続する。

[③ ワンショット起動、順次記憶再生]



(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子を順次メイクする。

(動作の説明)

これら接点起動入力最大 16 入力まで記憶され、それぞれに対応したプログラムが入力順に再生される。

上記の例では、P001 再生、P002 再生が順に起動する。

同じプログラムの接点起動入力端子を複数回メイクすると、その回数だけ記憶される。

ご注意

この順次記憶再生では、プログラムの優先度に関係なく順次再生が行われます。

- ・再生中のプログラムを停止し、自動的に次のプログラムを再生するには停止制御入力端子をメイクする。

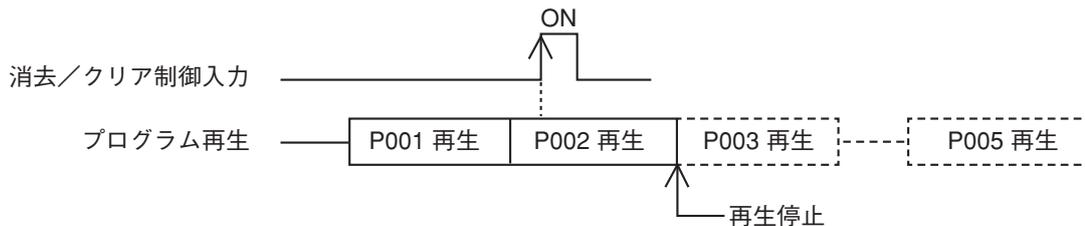


P002 の再生が中断し、次のプログラム P003 の再生が開始します。

ご注意

文節自然停止に設定している場合は、再生中の文節が最後まで再生された後に次のプログラムが再生されます。

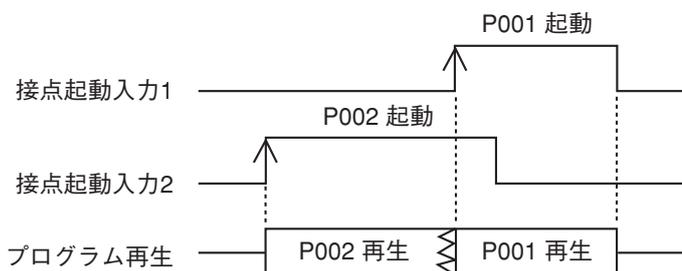
- ・記憶した接点起動入力をすべてクリアするには
消去／クリア制御入力端子をメイクする。



P002 の再生が終了すると再生停止となり、以降のプログラムは再生されません。

[④ レベル起動、優先度設定（先入力優先）再生]

- 優先度の設定：P001 > P002 のとき



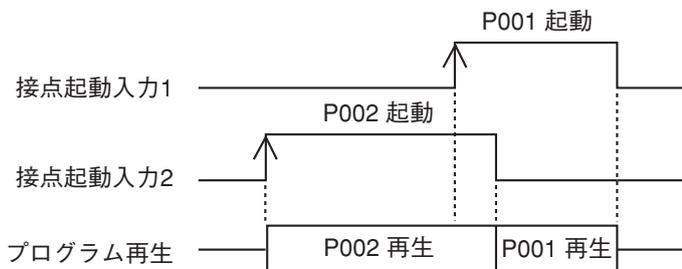
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されたときは、P001 が優先して再生される。

- 優先度の設定：P001 = P002 または P001 < P002 のとき



(起動の方法)

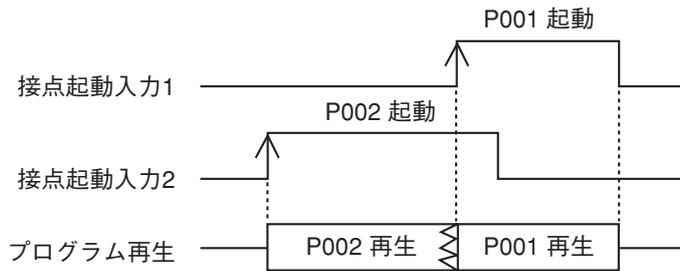
再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されても、P002 の再生が継続する。

[⑤ レベル起動、優先度設定（後入力優先）再生]

- 優先度の設定：P001 = P002 または P001 > P002 のとき



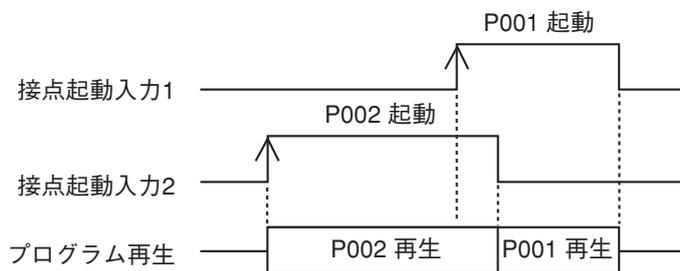
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されたときは、P001 が優先して再生される。

- 優先度の設定：P001 < P002 のとき



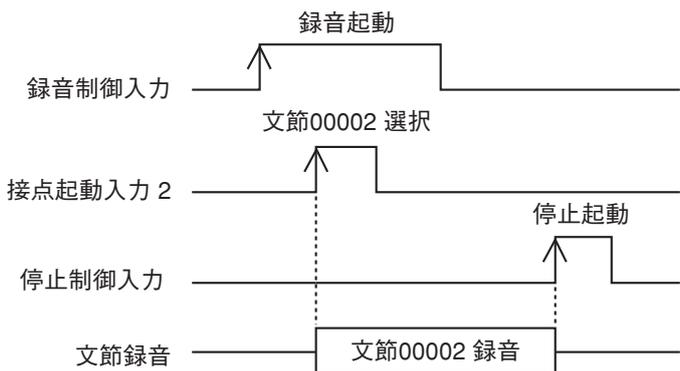
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に P001 の再生が起動されても、P002 の再生が継続する。

[⑥ ワンショット起動、録音]



(起動の方法)

録音制御入力端子をメイクした状態で、録音したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

(動作の説明)

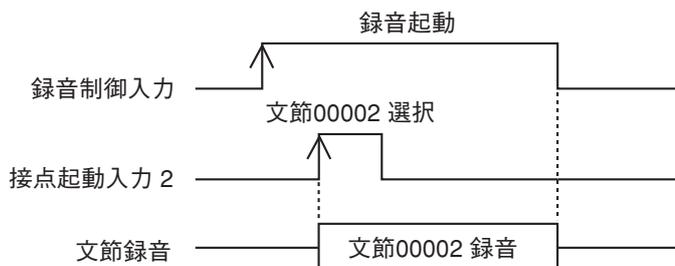
録音が起動すると、文節番号 00002 に音源が録音される。

停止制御入力端子をメイクする、あるいは開始/停止キーを押すと停止する。また、録音残時間が 0 になると録音を停止する。

ご注意

録音開始後は、録音を停止するまで他の動作には移れません。

[⑦ レベル起動、録音]



(起動の方法)

録音制御入力端子をメイクした状態で、録音したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

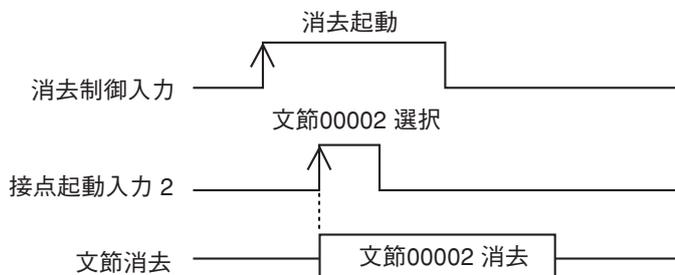
(動作の説明)

録音が起動すると、録音制御入力端子がメイクされている間、文節番号 00002 に音源が録音される。録音制御入力端子がブレイクになると停止する。また、録音残時間が 0 になると録音を停止する。

ご注意

録音開始後は、録音が停止するまで他の動作には移れません。

[⑧ ワンショット起動、消去/クリア]



(起動の方法)

消去制御入力端子をメイクした状態で、消去したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクする。

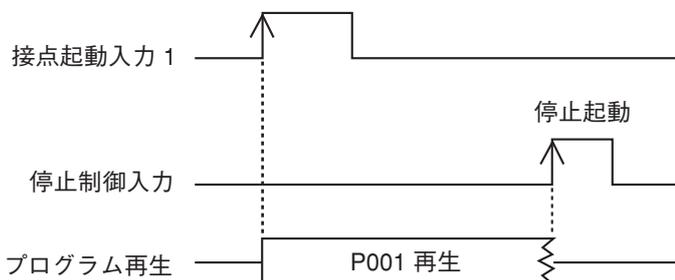
(動作の説明)

消去を起動すると、文節番号 00002 の消去が開始し、消去が終わると動作が自動停止する。

ご注意

消去中の制御入力およびキー操作は受け付けません。

[⑨ ワンショット起動、強制停止]



(起動の方法)

停止制御入力端子をメイクすると、すぐに動作中のプログラム再生を停止する。

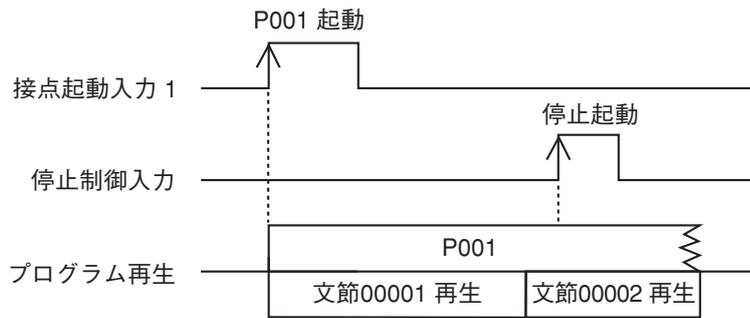
(動作の説明)

接点起動入力信号により P001 の再生が始まり、再生中に停止制御入力端子をメイクすると、すぐにプログラム再生が停止する。

ご注意

停止制御入力端子がメイクされているときは、プログラム再生は起動できません。

[⑩ ワンショット起動、文節自然停止]



(起動の方法)

停止制御入力端子をメイクすると、再生中プログラム内の文節が終了した後にプログラム再生が停止する。

(動作の説明)

接点起動入力信号により P001 の再生が始まり、文節 00002 再生中に停止制御入力端子をメイクすると、その文節の再生が終了した後にプログラム再生が停止する。

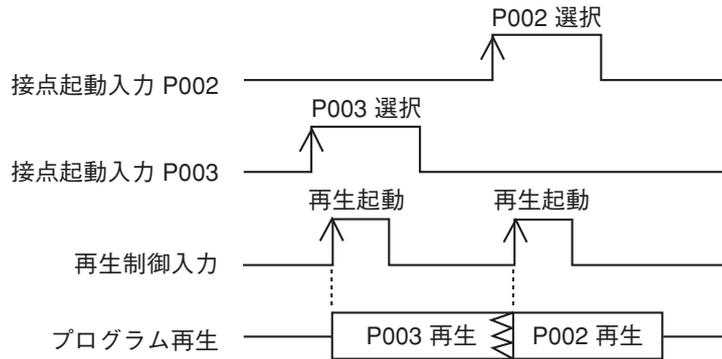
ご注意

停止制御入力端子がメイクされているときは、プログラム再生は起動できません。

● バイナリー制御機能

[⑪ ワンショット起動、優先度設定（先入力優先）再生]

- 優先度の設定：P002 > P003 のとき



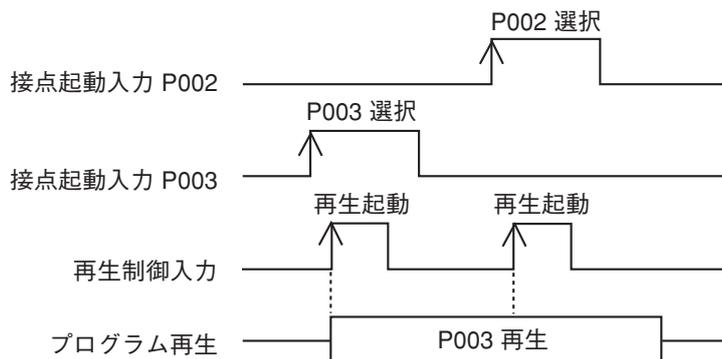
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P003 再生中に P002 の再生が起動されたときは、P002 が優先して再生される。

- 優先度の設定：P002 = P003 または P002 < P003 のとき



(起動の方法)

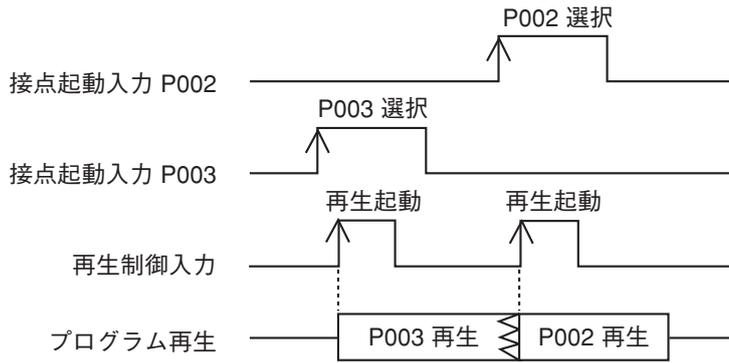
再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P003 再生中に P002 の再生が起動されても、後からの起動は無視され、先に起動した P003 の再生が継続する。

[⑫ ワンショット起動、優先度設定（後入力優先）再生]

- 優先度の設定：P002 = P003 または P002 > P003 のとき



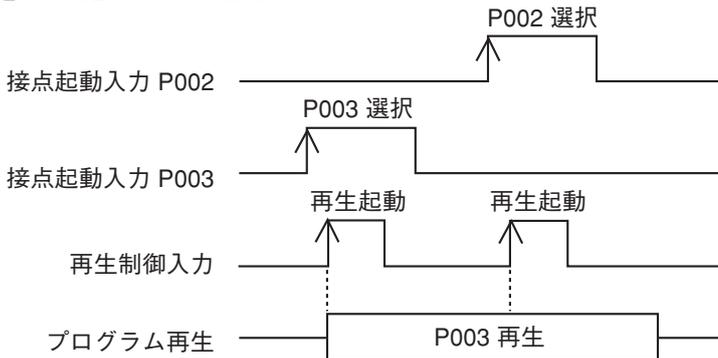
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P003 再生中に P002 の再生が起動されたときは、P002 が優先して再生される。

- 優先度の設定：P002 < P003 のとき



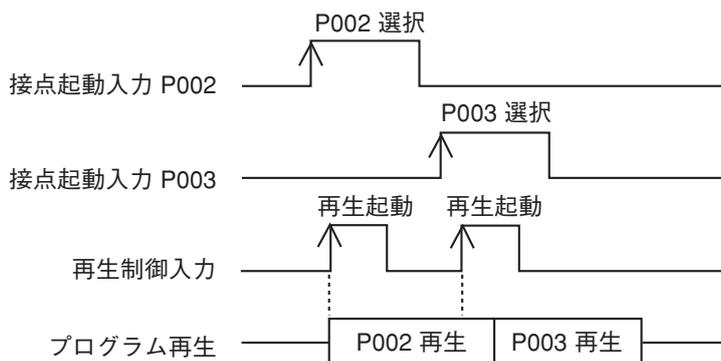
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P003 再生中に P002 の再生が起動されても、P003 の再生が継続する。

[⑬ ワンショット起動、順次記憶再生]



(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。同様に、接点起動入力端子と再生制御入力端子をセットで順次メイクする。

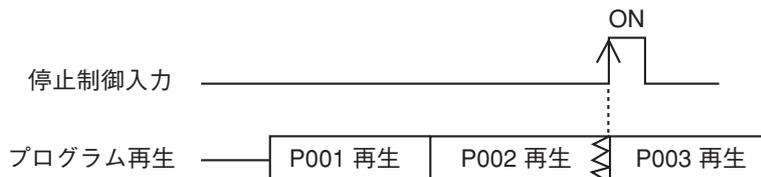
(動作の説明)

これら制御入力最大 16 入力まで記憶され、それぞれに対応したプログラムが入力順に再生される。上記の例では、P002 再生、P003 再生が順に起動する。

同じプログラムの接点起動入力端子を複数回メイクすると、その回数だけ記憶される。

この順次記憶再生では、プログラムの優先度に関係なく順次再生が行われます。

- 再生中のプログラムを停止し、自動的に次のプログラムを再生するには停止制御入力端子をメイクする。

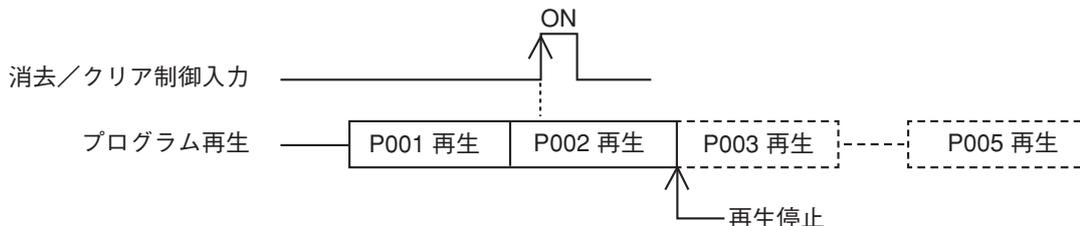


P002 の再生が中断し、次のプログラム P003 の再生が開始します。

ご注意

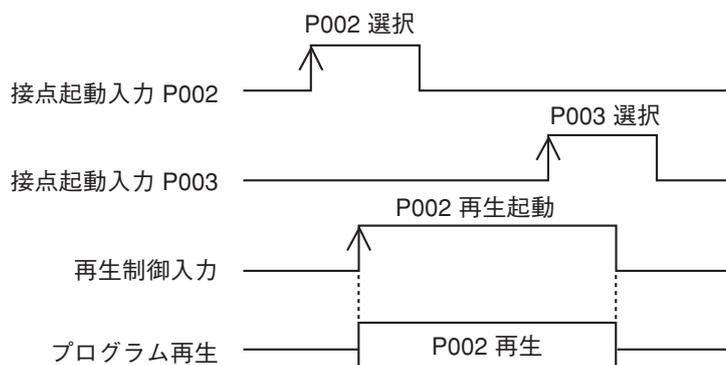
文節自然停止に設定している場合は、再生中の文節が最後まで再生された後に次のプログラムが再生されます。

- 記憶した入力をすべてクリアするには消去／クリア制御入力端子をメイクする。



P002 の再生が終了すると再生停止となり、以降のプログラムは再生されません。

[14] レベル起動、再生



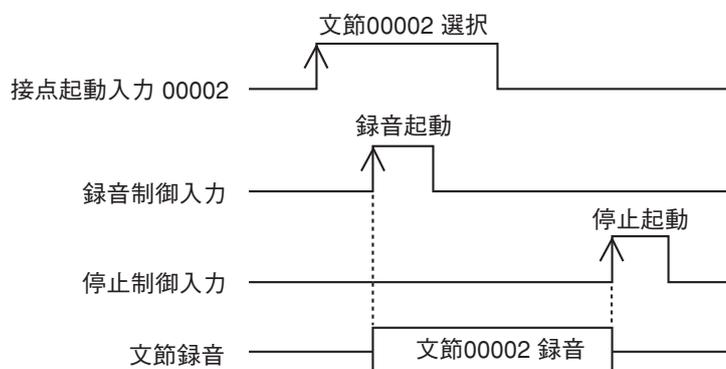
(起動の方法)

再生起動させたいプログラム番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、再生制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

プログラム P002 再生中に、接点起動入力端子により P003 が選択されても、P003 を再生起動するための再生制御入力がないため、優先度に関係なく P003 は再生されずに P002 の再生が継続される。

[15] ワンショット起動、録音



(起動の方法)

録音したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、録音制御入力端子をメイクする。

(動作の説明)

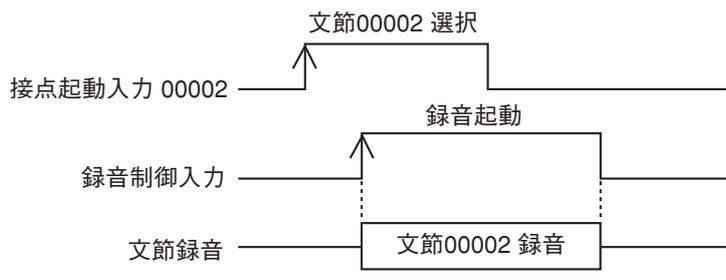
録音が起動すると、文節番号 00002 に音源が録音される。

停止制御入力端子をメイクする、あるいは開始/停止キーを押すと停止する。また、録音残時間が 0 になると録音を停止する。

ご注意

録音起動後は、録音を停止するまで他の動作には移れません。

[⑩ レベル起動、録音]



(起動の方法)

録音したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、録音制御入力端子をメイクする。

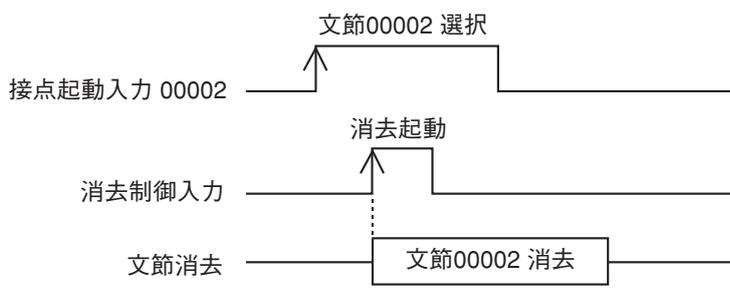
(動作の説明)

録音が起動すると、録音制御入力端子がメイクされている間、文節番号 00002 に音源が録音される。録音制御入力端子がブレイクになると停止する。また、録音残時間が 0 になると録音を停止する。

ご注意

録音起動後は、録音制御入力端子がブレイクになるまで他の動作には移れません。

[⑪ ワンショット起動、消去/クリア]



(起動の方法)

消去したい文節番号に該当する接点起動入力端子をメイクした状態で、消去制御入力端子をメイクする。

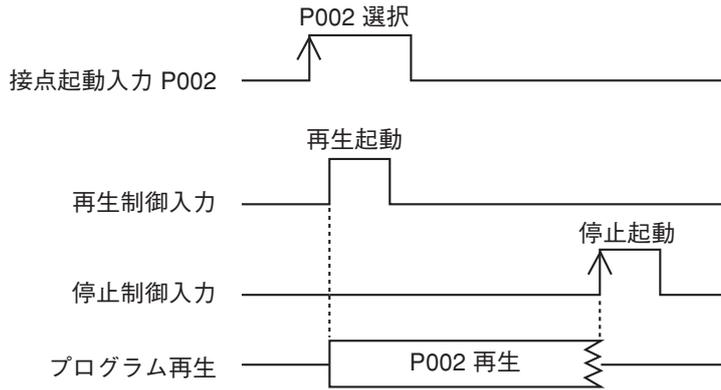
(動作の説明)

消去が起動すると、文節番号 00002 の消去を開始し、消去が終わると動作が自動停止する。

ご注意

- 消去中の制御入力およびキー操作は受け付けません。
- 接点起動入力端子をメイクしてない状態で消去制御入力端子をメイクするだけで文節 00001 が消去されます。

[18] ワンショット起動、強制停止]



(起動の方法)

停止制御入力端子をメイクすると、すぐに動作中のプログラム再生を停止する。

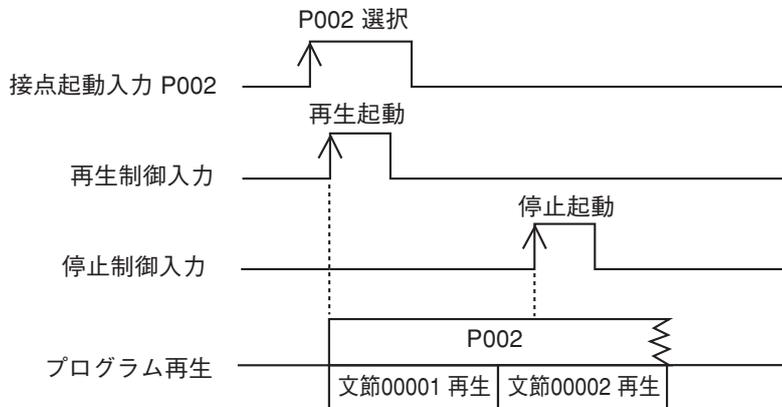
(動作の説明)

接点起動入力端子をメイクした後、再生制御入力端子のメイクにより P002 の再生が始まり、再生中に停止制御入力端子をメイクすると、すぐにプログラム再生が停止する。

ご注意

停止制御入力端子がメイクされているときは、プログラム再生は起動できません。

[19] ワンショット起動、文節自然停止]



(起動の方法)

停止制御入力端子をメイクすると、再生中プログラム内の文節が終了した後にプログラム再生が停止する。

(動作の説明)

接点起動入力端子をメイクした後、再生制御入力端子のメイクにより P002 の再生が始まり、文節 00002 再生中に停止制御入力端子をメイクすると、その文節の再生が終了した後にプログラム再生が停止する。

ご注意

停止制御入力端子がメイクされているときは、プログラム再生は起動できません。

緊急放送の種類

緊急放送には、「緊急再生」と「R.E.M. (Recording Endless Message) 再生」の2種類があります。

● 緊急再生 (事前録音再生)

事前に準備しておいた緊急再生用音源を、非常時に優先して放送できる機能です。プログラム再生中やマイク放送中でも、緊急再生を優先して放送することができます。

事前に EV-700 設定ソフトウェアで出力先やリピート回数・リピート時間を設定できます。

音源の準備および緊急再生・停止は、本機または EV-700 設定ソフトウェアで行うことができます。

本書では、本機で行う方法を記載しています。EV-700 設定ソフトウェアを使った方法については、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

● R.E.M. 再生 (即時録音再生)

緊急時にワンタッチ操作で録音し、録音後すぐに繰り返し放送できる機能です。

本機後面の緊急録音制御入力端子をメイクするとすぐに録音を開始し、メイクを解除すると録音した内容を繰り返し再生します。プログラム再生中やマイク放送中でも、R.E.M. 再生を優先して放送することができます。

事前に EV-700 設定ソフトウェアで出力先やリピート回数・リピート時間を設定できます。

R.E.M. 再生は、本機または EV-700 設定ソフトウェアで行うことができます。

本書では、本機で行う方法を記載しています。EV-700 設定ソフトウェアを使った方法については、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

ご注意

R.E.M. 再生の放送中に緊急再生はできません。また、緊急再生中に R.E.M. 再生はできません。

メモ

R.E.M. 再生の放送中に、再び R.E.M. 再生の録音を開始することは可能です。

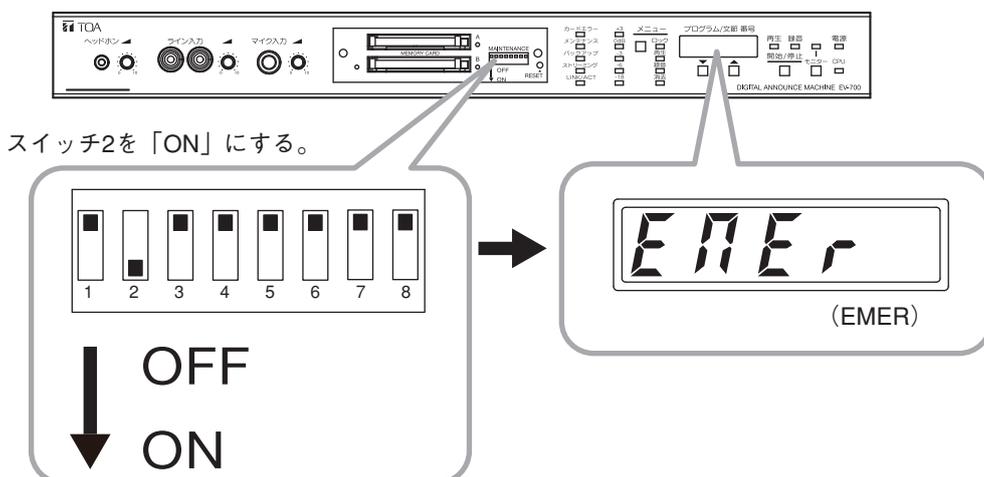
優先度については、P. 82 をお読みください。

緊急再生（前面パネルでの操作）

ここでは、緊急放送の事前準備を前面操作で行う方法を記載しています。（緊急再生用の音源の録音、音源の確認など）

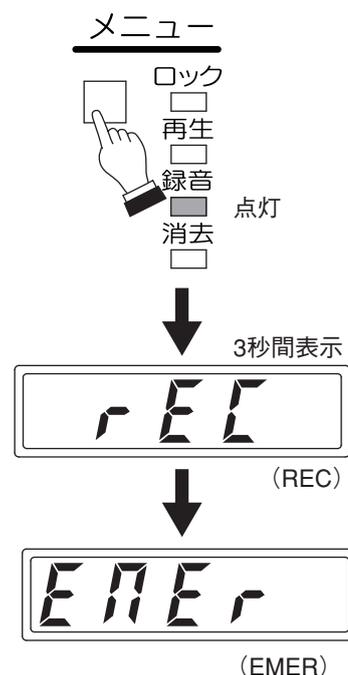
緊急時に緊急放送を行うには、制御入力端子または EV-700 設定ソフトウェアをご利用ください。
（☞ P. 61 「緊急再生（制御入力端子を使用）」、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書）

以下の前面パネルで行う各操作の初めには、必ず前面パネルの DIP スイッチのスイッチ 2 だけを ON に設定してください。このとき、状態表示器には「EMER」（EMER）が表示されます。（☞ 下図）
このスイッチ設定により、本機は「メンテナンス」モードになります。



■ 音源を録音する

- 1 マイク、演奏機器などの音源機器を EV-700 に接続する。
- 2 スイッチ 2 だけを ON にする。
状態表示器に「EMER」（EMER）が表示されていることを確認してください。
- 3 メニューキーを押して録音モードを選択する。
録音モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。
状態表示器に約 3 秒間「REC」（REC）と表示された後、
「EMER」が表示されます。



4 開始/停止キーを押す。

状態表示器に「rEAdY」(READY)と表示され、録音待機状態になります。
録音待機中は、録音表示灯と状態表示器右隅のドットが点滅します。



ご注意

このとき、すでに音源が登録されていると、状態表示器に約3秒間、以下の表示が現れ、その後「EMEr」の表示に戻ります。



この状態で音源を録音するには、すでに登録されている音源を消去してから行ってください。

(参照 P. 59 「録音音源を消去する」)

メモ

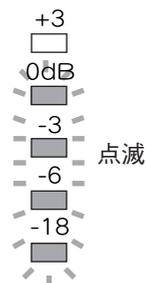
- 何も操作せずに5分が経過すると手順3の状態に戻ります。
- ヘッドホンだけで、登録されている録音内容を聞くことができます。
(参照 P. 58 「音源の内容を確認する」)

5 録音する音源の音量を調節する。

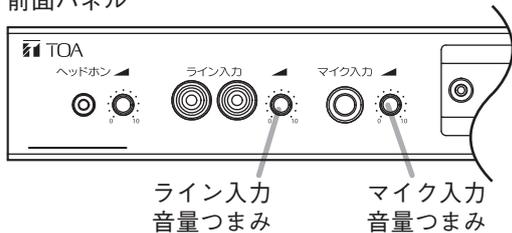
レベルメーターを見ながらマイク入力音量つまみまたはライン入力音量つまみで、録音する音源の音量を調節します。
レベルメーターの「+3」のLEDが常時点灯した状態にならないようにしてください。

メモ

- マイク入力とライン入力の両方から入力があった場合にどちらを優先するかは、EV-700 設定ソフトウェアで設定できます。放送の優先度 (参照 P. 82) が高い方が優先されます。
- 録音する音源の内容は、ヘッドホンを接続するとモニターできます。



前面パネル



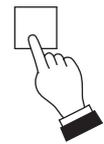
6 もう一度、開始/停止キーを押す。

3秒後に録音が始まります。

状態表示器には、「3」から「1」まで残り秒数がカウントダウンで表示されます。



再生 録音
□ ■ 点滅
開始/停止



録音が始まると、録音表示灯が点灯し、状態表示器に約3秒間「rEC」(REC)と表示された後、「EMEr」が表示されます。

再生 録音
□ ■ 点灯
開始/停止

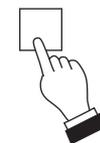


7 マイクに向かって話すか、演奏機器で音源を再生する。

8 開始/停止キーを押して録音を停止させる。

録音表示灯が消灯します。

再生 録音
□ □
開始/停止

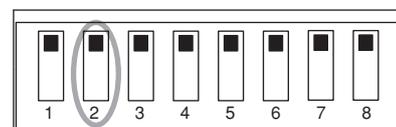


9 音源の録音が終わったら、スイッチ2をOFFに戻す。

メモ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。

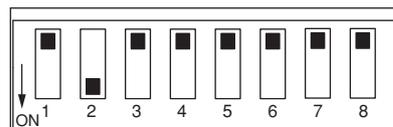
(P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする (ロックモード)」)



■ 緊急再生をする

1 スイッチ 2 だけを ON にする。

状態表示器に「EMEr」(EMER)が表示されていることを確認してください。



2 メニューキーを押して再生モードを選択する。

再生モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。状態表示器に約 3 秒間「PLAY」と表示された後、「EMEr」が表示されます。

メモ

再生前に、ヘッドホンだけで登録されている録音内容を聞くことができます。(P. 58 「音源の内容を確認する」)。

メニュー



3秒間表示



(PLAY)

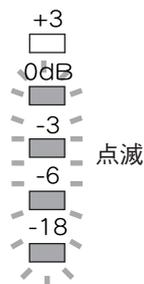


(EMER)

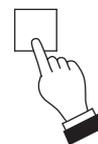
3 開始/停止キーを押す。

緊急再生が始まります。

再生中は、再生表示灯が点灯し、レベルメーターに信号のレベルが表示されます。



再生 録音
点灯 消去
開始/停止



メモ

再生を途中で停止させることもできます。(P. 57 「緊急再生を停止する」)。

メモ

- 再生時間が5分を超えると自動的にロックモードになります。
- ロックモードを解除するときは、メニューキーを押してください。

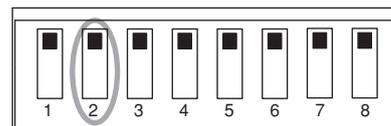
メニュー



4 緊急再生が終わったら、スイッチ2をOFFに戻す。

メモ

すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。
(P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする (ロックモード)」)



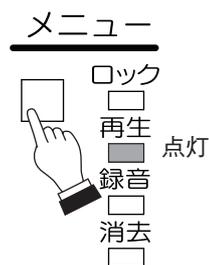
■ 緊急再生を停止する

EV-700 設定ソフトウェア、制御入力、前面操作のどの方法を使って緊急再生した場合でも、以下の方法で停止することができます。

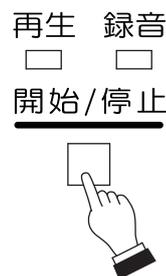
メモ

- EV-700 設定ソフトウェアまたは制御入力により緊急再生をしている場合、メンテナンス用 DIP スイッチの操作をしていなくても停止することができます。
- 緊急再生をレベル起動に設定している場合は、緊急再生制御入力端子のメイクを解除すると停止します。(参照 P. 62)
- クイックストップ機能を「有効」に設定している場合は、ロックモード中であっても、開始/停止キーを押すだけで再生を停止できます。(参照 P. 88 「クイックストップ機能」)

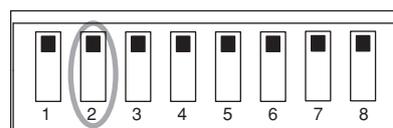
- 1** メニューキーを押して再生モードを選択する。
再生モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。



- 2** 開始/停止キーを押す。
緊急再生が停止し、再生表示灯が消灯します。



- 3** (スイッチ 2 が ON のときのみ)
緊急再生が停止したら、スイッチ 2 を OFF に戻す。



■ 音源の内容を確認する

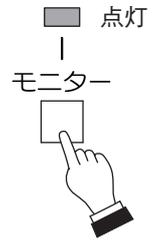
緊急再生の音源を録音（ P. 52）、再生（ P. 55）、消去（ P. 59）するとき、音源の内容を確認することができます。

- 1 緊急再生の再生モード、録音モード、消去モード選択中に、モニターキーを押す。

モニター表示灯が点灯し、ヘッドホン出力端子のみから、緊急再生用音源のモニター再生が開始されます。

メモ

ライン出力1端子、ライン出力2端子からは出力されません。

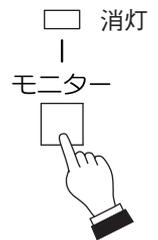


- 2 途中で確認を終了するとき、もう一度モニターキーを押す。

モニター表示灯が消灯し、モニター再生が停止します。

メモ

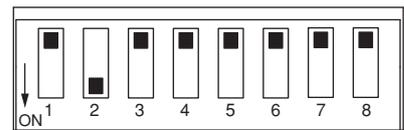
緊急再生用音源の再生が終了すると、自動的にモニター表示灯が消灯し、モニター再生が終了します。



■ 録音音源を消去する

1 スイッチ 2 だけを ON にする。

状態表示器に「EMER」(EMER) が表示されていることを確認してください。



2 メニューキーを押して消去モードを選択する。

録音モード表示灯が点灯するまでメニューキーを何回か押します。

状態表示器に約 3 秒間「dEL」(DEL) と表示された後、「EMER」が表示されます。

メ モ

消去前に、ヘッドホンだけで消去する録音内容を聞くことができます。(P. 58 「音源の内容を確認する」)

メニュー



3秒間表示



(EMER)

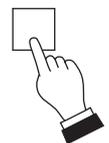
3 開始/停止キーを押す。

状態表示器に「rEAdY」(READY) と表示され、消去待機状態になります。

消去待機中は、状態表示器右隅のドットが点滅します。



再生 録音
□ □
開始/停止



4 もう一度、開始/停止キーを押す。

緊急再生用音源が消去されます。

状態表示器に「dEL」(DEL)と表示され、続けて「EMEr」が点滅表示されます。

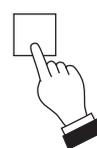


(DEL)

再生 録音



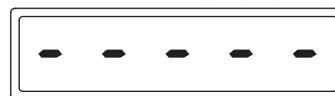
開始/停止



点滅

(EMER)

消去完了表示



(EMER)

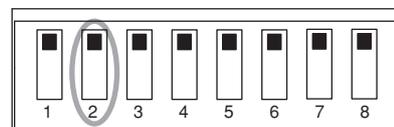
消去が完了すると、ハイフンが表示された後、「EMEr」の表示に変わります。

5 音源の確認が終わったら、スイッチ2をOFFに戻す。

メモ

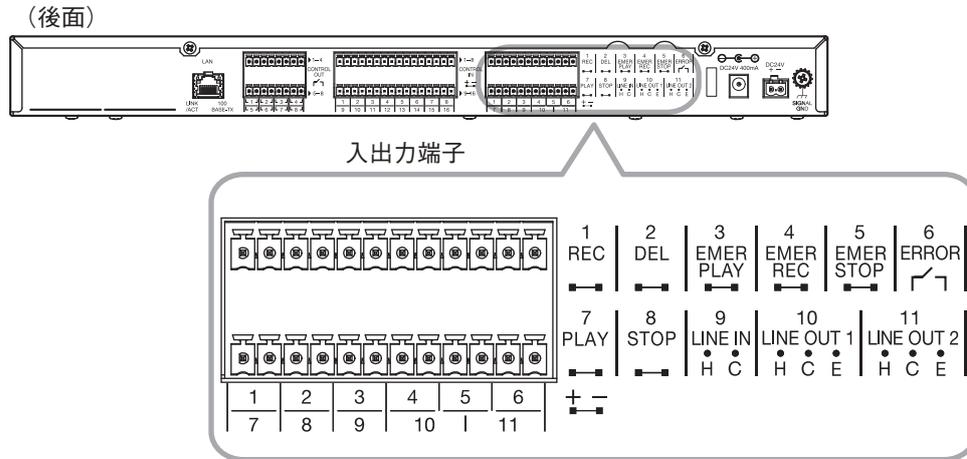
すべての操作が終了したら、誤操作防止のためロックモードにしておくことをお勧めします。

(P. 27 「前面パネルの各キーを操作無効にする(ロックモード)」)



緊急再生（制御入力端子を使用）

後面の入出力端子内の各制御入力端子を使って、緊急再生と緊急再生の停止を行うことができます。



■ 緊急再生をする

● 緊急再生起動設定がワンショット起動のとき

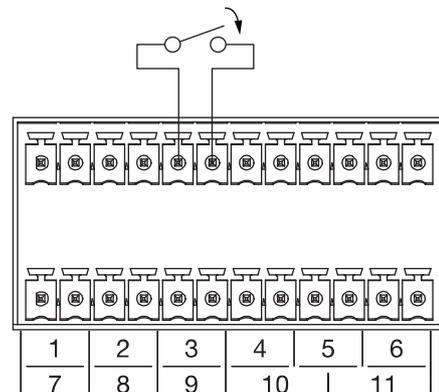
手順：緊急再生制御入力端子（3番端子）をメイクする。

緊急再生が開始します。

事前に EV-700 設定ソフトウェアで設定しておいた回数または時間の繰り返し放送をした後、自動的に停止します。

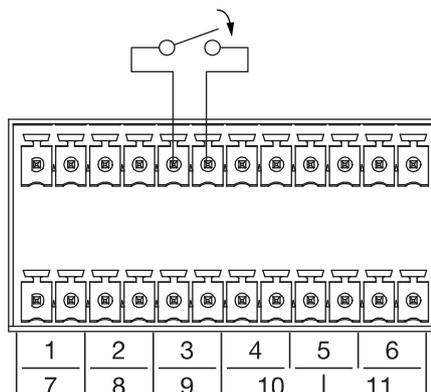
メモ

- 緊急再生が開始した後に緊急再生制御入力端子をメイクし続けても、設定しておいた回数を繰り返し放送すると停止します。（P. 33「ワンショット起動とレベル起動」）
- リピート回数が「∞」（連続）に設定してある場合など、再生中に停止したいときは、P. 57「緊急再生を停止する」をお読みください。



● 緊急再生起動設定がレベル起動のとき

手順：緊急再生制御入力端子（3番端子）をメイクする。
 緊急再生が開始します。
 緊急再生制御入力端子がメイクされている間、緊急再生が
 続きます。



■ 緊急再生を停止する

● 緊急再生起動設定がワンショット起動のとき

手順：緊急停止制御入力端子（5番端子）をメイクする。
 緊急再生が停止します。

メモ

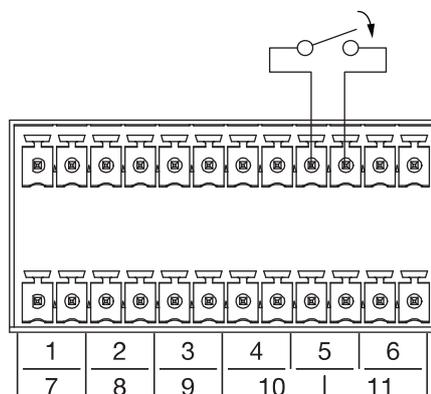
緊急停止起動の設定によって停止のしかたが次のとおり
 異なります。

[強制停止に設定されている場合]

すぐに緊急再生を停止します。

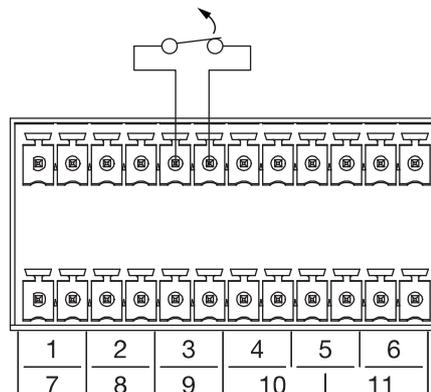
[文節自然停止に設定されている場合]

再生中の緊急再生音源を最後まで再生してから停止しま
 す。



● 緊急再生起動設定がレベル起動のとき

手順：緊急再生制御入力端子（3番端子）のメイクを解除する。



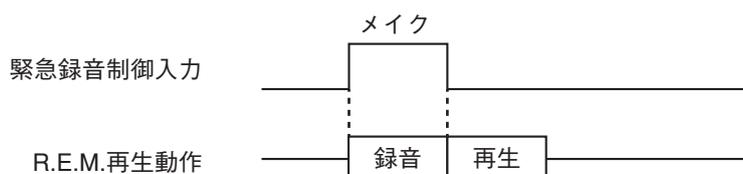
R.E.M. 再生

R.E.M. (Recording Endless Message) 再生機能は、緊急時にワンタッチ操作で録音し、録音後すぐに繰り返し放送できる機能です。緊急録音制御入力端子をメイクするとすぐに録音を開始し、メイクを解除すると録音した内容を繰り返し再生します。

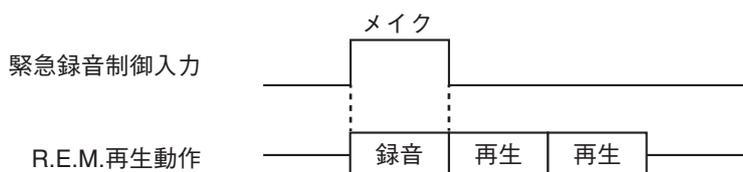
事前に EV-700 設定ソフトウェアで、出力先やリピート回数・リピート時間を設定できます。

■ R.E.M. 再生のリピート動作

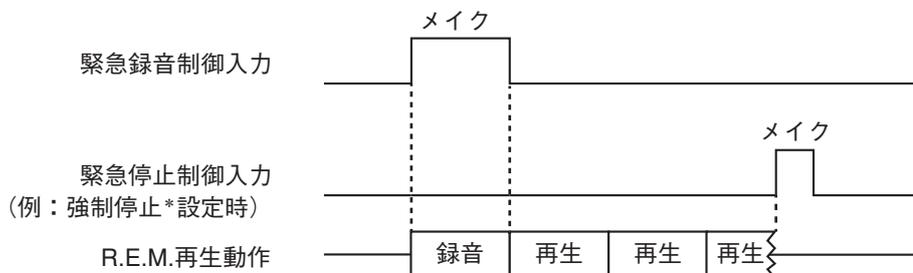
[リピート回数を 0 回に設定したときの動作]



[リピート回数を 1 回に設定したときの動作]

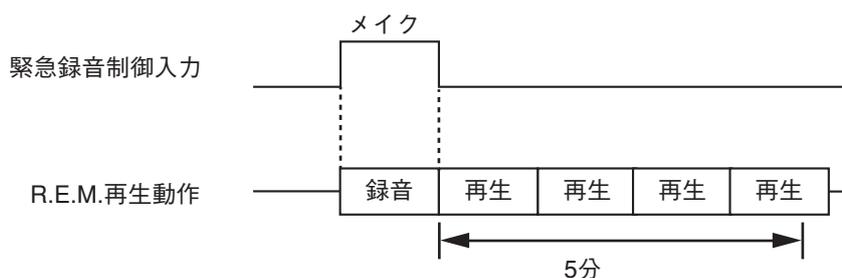


[リピート回数を ∞ (連続) に設定し、緊急停止制御入力で停止させるときの動作]



* 文節自然停止に設定したときは、再生中のR.E.M.再生音源を最後まで再生してから停止します。

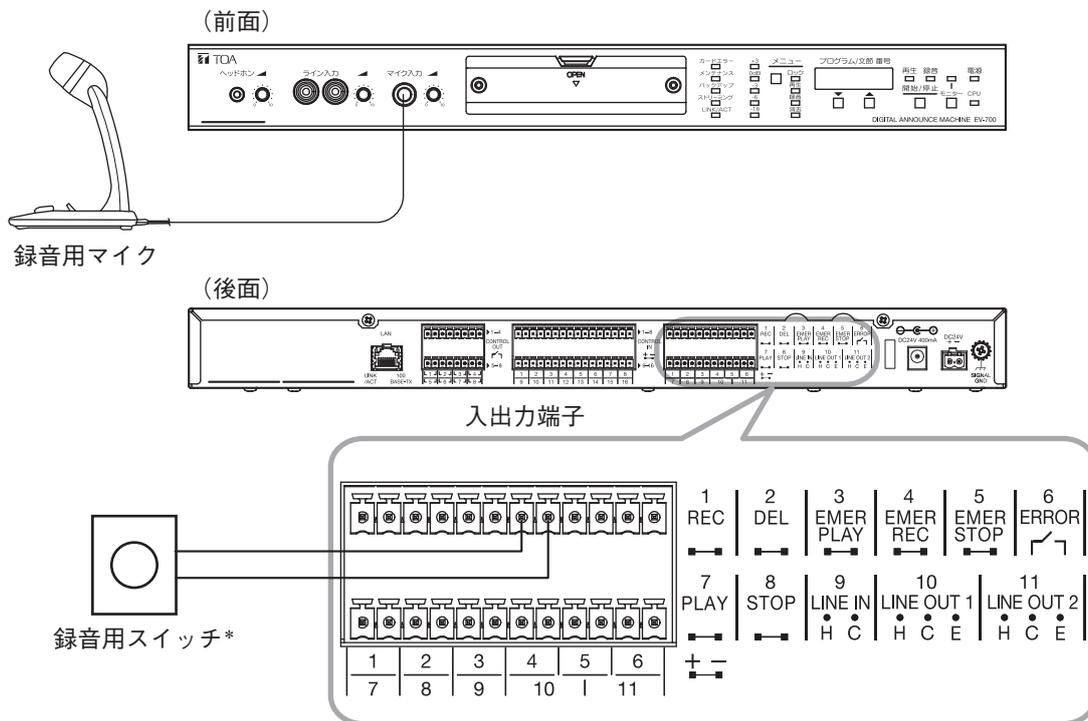
[リピート回数を ∞ (連続) に設定し、リピート時間を 5 分に設定したときの動作]



リピート時間を設定した場合は、文節自然停止・強制停止の設定にかかわらず、リピート時間経過後、再生中の R.E.M. 再生音源を最後まで再生してから停止します。

● R.E.M. 再生をする

あらかじめ前面のマイク入力端子に録音用マイク、後面の入出力端子内の緊急録音制御入力端子（4番端子）に録音用スイッチを接続しておきます。
マイク入力音量つまみは、適切な放送音量に調節してください。



* 録音用スイッチは、別途ご用意ください。

操作しやすいモーメンタリースイッチ（スイッチを押している間だけメイク信号を出力するスイッチ）が便利です。

1 録音用スイッチを押す。

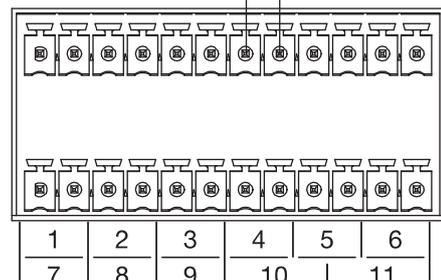
状態表示器に「EMER」（EMER）と表示されます。この表示は、R.E.M. 再生中は表示され続けます。

2 スイッチを押したままで、マイクに向かってアナウンス内容を話す。

3 スイッチから指を離す。

手順2で録音したアナウンスが再生されます。
事前に設定しておいた回数の繰り返し再生をした後、自動的に停止します。手動または緊急停止制御入力で停止するまで繰り返して再生する設定もできます。（別冊のEV-700 設定ソフトウェア取扱説明書）

1 ↓ ↑ 3



メモ

- R.E.M. 再生の放送中または停止後に、もう一度録音用スイッチを押すと、再び録音～再生ができます。その場合、最初に録音した内容は上書きされます。
- R.E.M. 再生の録音中の音は放送されません。録音後、再生を始めたときから放送されます。
- メンテナンス用 DIP スイッチを操作してメンテナンス表示灯が点灯している間、R.E.M. 再生はできません。
- R.E.M. 再生を手動で停止する方法は、P. 57「緊急再生を停止する」をお読みください。
緊急停止制御入力で停止する方法は、P. 62「緊急再生を停止する」をお読みください。
- マイク入力の音声の代わりにライン入力の音声を使って、R.E.M. 再生をすることもできます。マイク入力とライン入力が両方入力された場合は、放送の優先度が高い方が録音されます。

■ 緊急放送時の動作・設定

- 緊急放送を開始すると、そのとき動作中のプログラム再生などを中断し、緊急放送を優先して実行します。
- 緊急放送停止後は、ロックモードに戻ります。
- メンテナンス表示灯が点灯している間、緊急放送はできません。(前面パネルのキー操作で緊急再生する場合を除く。)

[緊急放送の設定内容一覧]

	緊急再生		R.E.M. 再生	
	設定範囲	工場出荷時の設定	設定範囲	工場出荷時の設定
リピート回数	0 ~ 127 回、∞	∞	0 ~ 127 回、∞	∞
リピート時間	5 ~ 120 分 (5 分単位)、∞	∞	5 ~ 120 分 (5 分単位)、∞	∞
リピート間隔	0 ~ 50 秒 (10 秒単位)、 1 ~ 99 分 (1 分単位)	0 秒	0 ~ 50 秒 (10 秒単位)、 1 ~ 99 分 (1 分単位)	0 秒
インターバル中ビジー	ON/OFF	ON	ON/OFF	ON
優先度	1	1	1	1
緊急再生ビジー出力先	接点制御出力端子 1 ~ 8	接点制御出力端子 1、2	接点制御出力端子 1 ~ 8	接点制御出力端子 1、2
R.E.M. ビジー出力先 ( P. 87)	—	—	接点制御出力端子 1 ~ 8	なし
出力先	ライン出力 1、2	ライン出力 1、2	ライン出力 1、2	ライン出力 1、2
プログラム音量	0 ~ 10	10	0 ~ 10	10
AGC	ON/OFF	ON	ON/OFF	ON

再生方式について

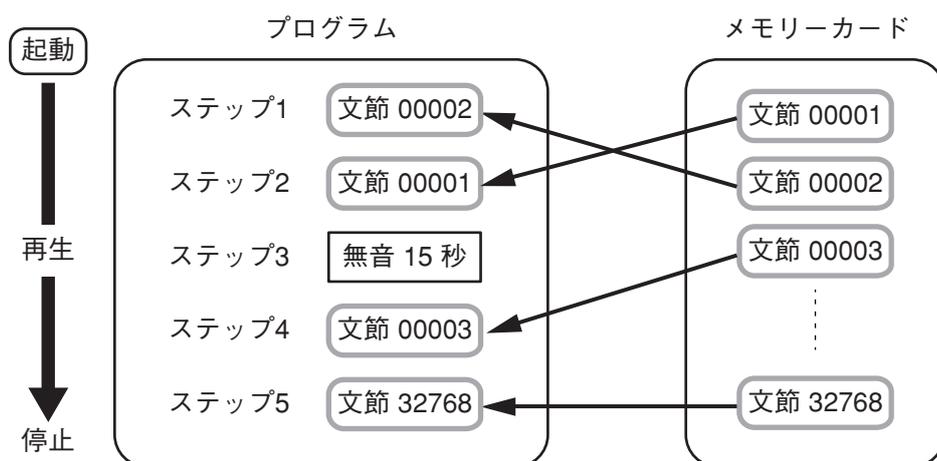
再生方式とは、文節・プログラムの放送のしかたです。

再生方式を選択することで、プログラムを繰り返し再生する、文節を一定間隔で再生する、などの設定ができます。

プログラムごとに、プログラム再生、ステップ再生、全文節再生、チャイム再生の4つの再生方式から選択できます。

● プログラム再生

プログラムに入力された文節をステップ番号順に再生した後、停止します。



また、次の項目を設定し、再生を繰り返す（リピートする）こともできます。

設定項目	設定内容
リピート回数*1	0*2～127回、∞
リピート間隔*3	0～99分*4

*1 設定されたリピート回数の再生が終了すると、停止します。

*2 リピート回数を0回に設定した場合は1回のみ再生して停止します（リピートしません）。

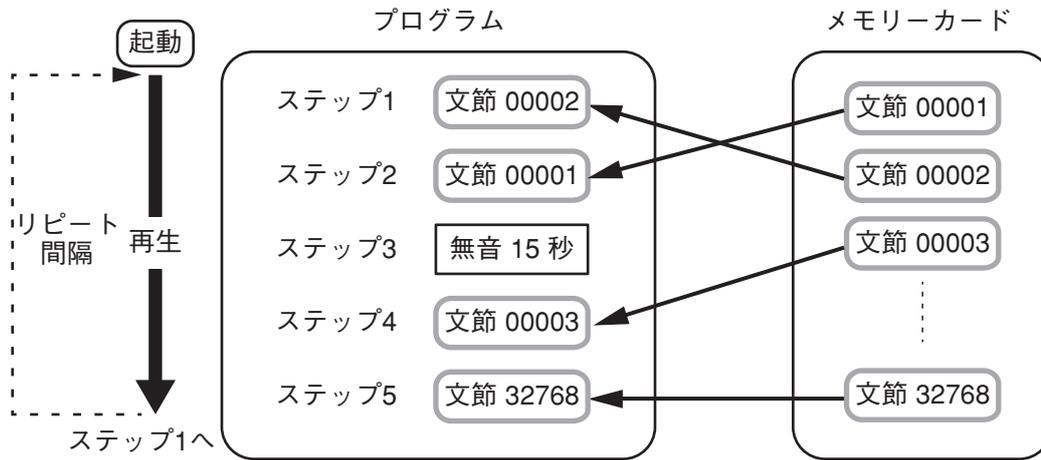
*3 プログラムの最後のステップの再生が終了してから、次に再生開始するまでの時間です。また、リピート間隔中のビジー出力のON/OFFも設定できます。

*4 設定間隔単位は次のとおりです。

1分未満の場合：10秒単位

1分以上の場合：1分単位

[繰り返して再生するとき (リピートするとき) の動作]



※ 設定されたリピート回数、リピート間隔に従って再生します。

メモ

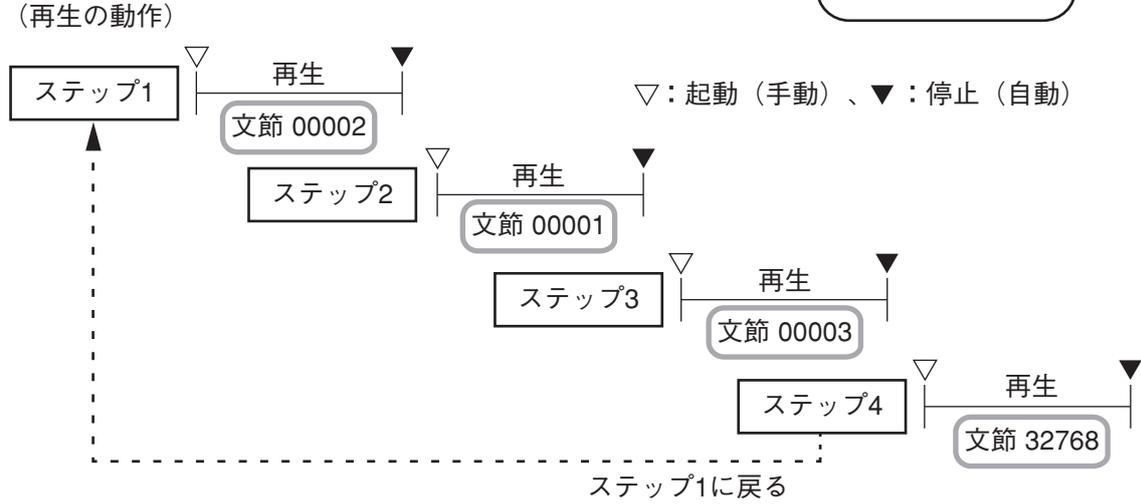
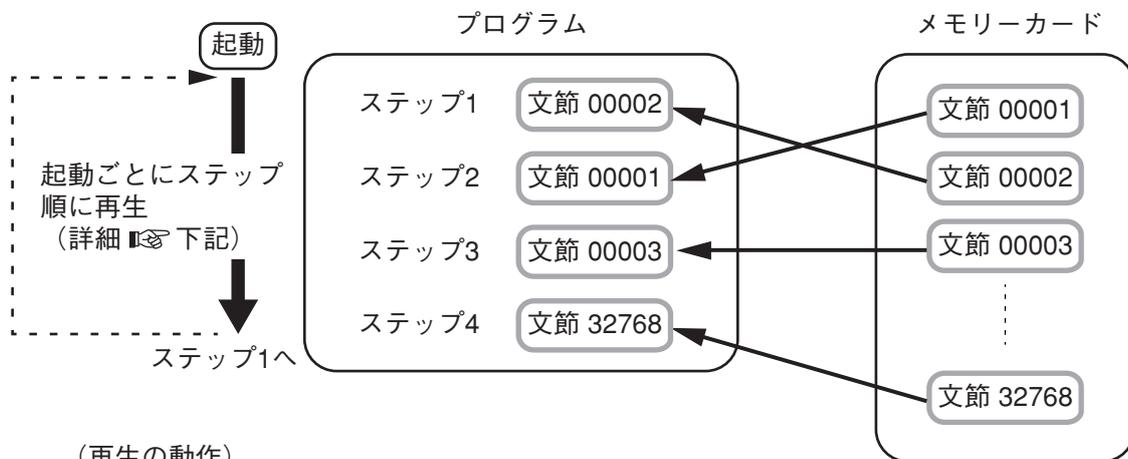
- プリセット音源の設定は、リピート回数「0」(リピートなし)、リピート間隔「0」になっています。
- 再生を途中で停止するときは、開始/停止キーを押す (P. 21)、停止制御入力端子をメイクする (P. 33)、EV-700 設定ソフトウェアから停止する (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)、のいずれかを行います。

● ステップ再生

プログラムに入力された文節を、起動ごとにステップ順に1文節ずつ再生します。
 また、インターバル（文節間隔）を設定すると、1回の起動で、文節を一定間隔で再生することができます。
 インターバルの設定がOFFの場合と、10秒～99分の場合で動作が異なります。

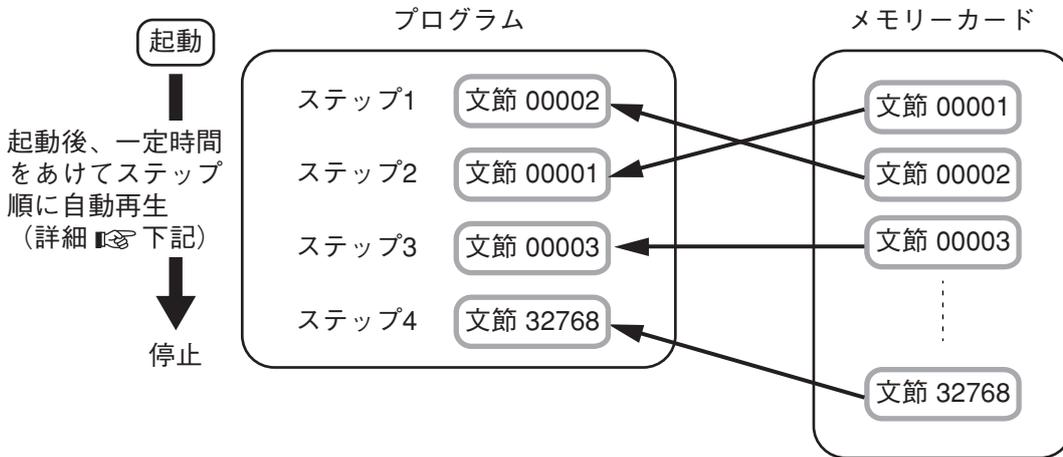
[インターバルの設定がOFFの場合]

- 1つの文節の再生が終わると停止し、もう一度起動がかかると次ステップの文節が再生されます。
- 最後の文節の再生が終わると、次の起動でプログラムの最初のステップから再生します。
- 再生中に開始/停止キーを押す（ P. 21）、停止制御入力端子をメイクする（ P. 33）、EV-700 設定ソフトウェアから停止する（ EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書）、のいずれかを行ったときは、次に起動をかけると次のステップから再生します。
- 途中までステップが再生されていても、以下の場合は最初のステップから再生します。
 - ・再生中に別のプログラムが起動され再生した後、もう一度元のプログラムが起動されたとき
 - ・再生中に電源をOFFにしてONにしたあと、もう一度元のプログラムを起動されたとき
- モニターキーを押すと、現在のステップのモニター再生を開始します。
 そのステップのモニター再生が終わると、ステップが1つ先に進みます。

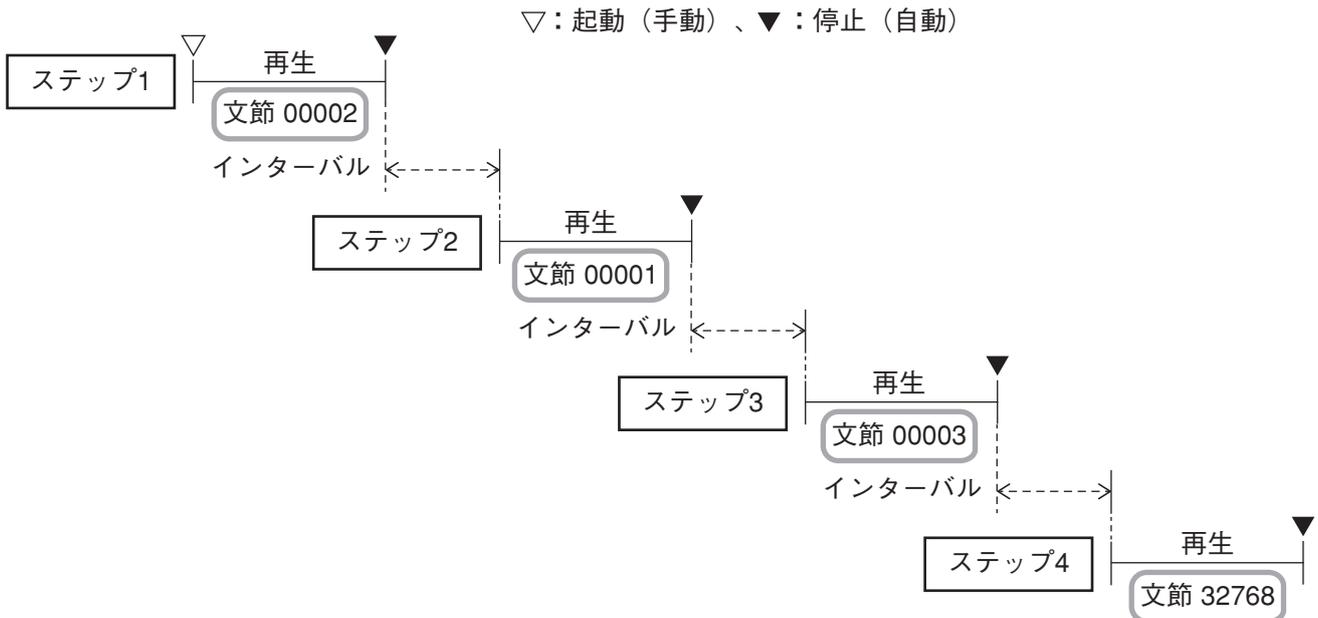


[インターバルの設定が 10 秒～ 99 分の場合]

- プログラムを起動すると、最初のステップの文節が再生し、再生が終わると、設定したインターバル後に、次のステップを再生します。これを繰り返して、すべてのステップを再生すると停止します。
- インターバルは、10～50 秒（10 秒単位）、1～99 分（1 分単位）で設定できます。初期値は OFF です。
- EV-700 設定ソフトウェアでインターバル中のビジー出力 ON/OFF を設定できます。
- モニターキーを押すと、すべてのステップのモニター再生を開始します。



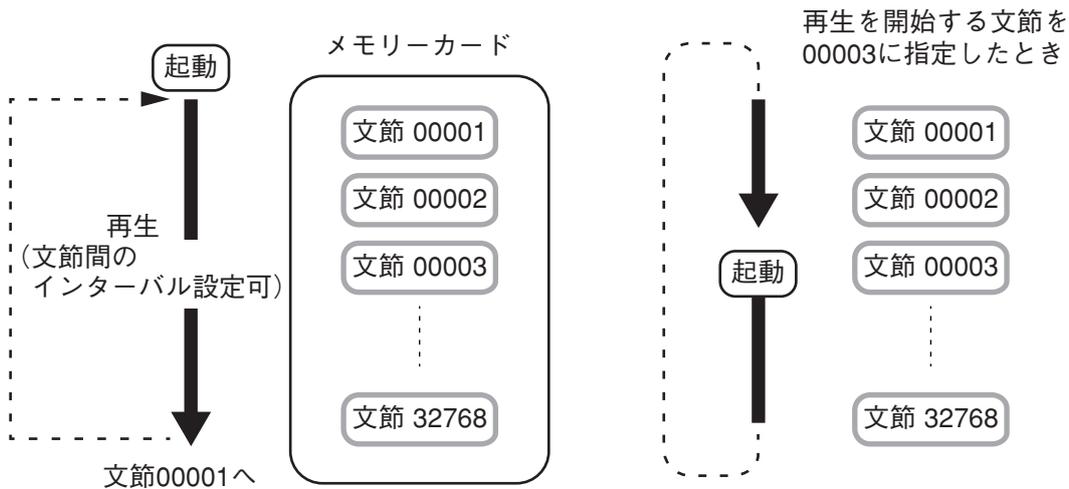
(再生の動作)



● 全文節再生

メモリーカード内のすべての文節を文節番号順に繰り返し再生します。
BGM や定型放送など終日繰り返す場合に適した再生方式です。

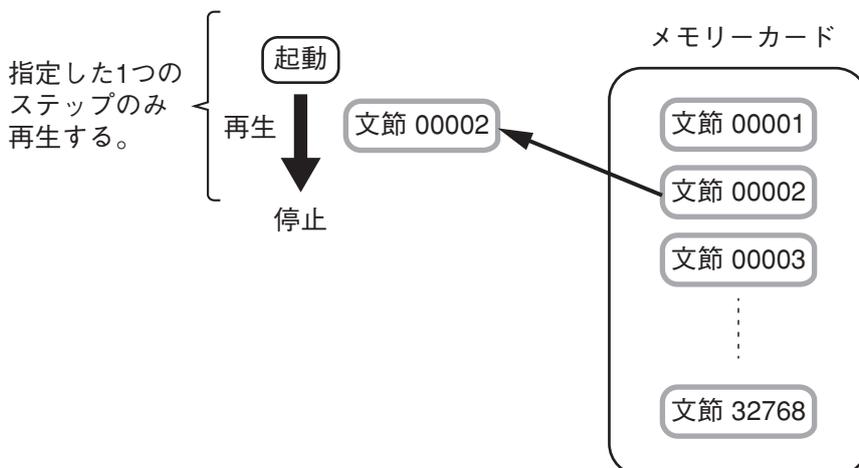
- 最後の文節を再生した後は最初の文節に戻り再生を続けます。
- 文節と文節の間に0～5秒（1秒単位）のインターバルを設定できます。
- インターバル中のビジー出力ON/OFFを設定できます。
- 再生を停止するときは、開始/停止キーを押す（ P. 21）、停止制御入力端子をメイクする（ P. 33）、EV-700 設定ソフトウェアから停止する（ EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書）、のいずれかを行います。
- 再生を開始する文節は指定できます。
- プログラムを起動すると、必ず最初の文節（指定した文節）から再生されます。



● チャイム再生

本機をリモートマイクのチャイム音源として使用する場合などに適した再生方式です。

- 遅延時間は、機器の設定に関わらず0秒です。
- ビジー信号は、機器の設定に関わらず出力しません。
- 1ステップのみ再生します。

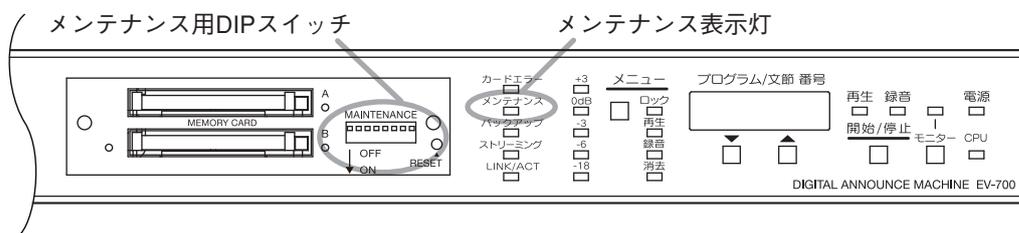


（再生動作の例）



メンテナンス機能

本機の前面フロントカバー内にあるメンテナンス用 DIP スイッチのいずれかのスイッチを ON にする*1 と、メンテナンスモードに入り、メモリーカードのコピーや機器設定の初期化などのメンテナンスを行うことができます。メンテナンスモードに入ると、メンテナンス表示灯が点滅します。



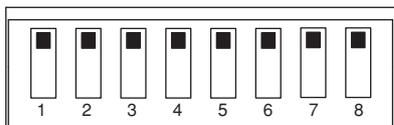
*1 スイッチ 7 と 8 をともに ON にしたときは、メンテナンスモードに入りません。

ご注意

- メンテナンスモードに入っているときは、接点起動や EV-700 設定ソフトウェアによる操作はできません。*2
メンテナンスが完了したら、必ずメンテナンス用 DIP スイッチをすべて OFF にしてください。
- *2 スイッチ 3 だけが ON のときは、EV-700 設定ソフトウェアによるネットワーク設定が可能です。
- EV-700 設定ソフトウェアからも本機をメンテナンスモードにし、メンテナンスを行うことができます。この場合も、本機のメンテナンス表示灯が点灯します。この表示灯が点灯している間は、本機での操作はできません。

【メンテナンス用 DIP スイッチの機能】

メンテナンス用 DIP スイッチの各スイッチの機能は次のとおりです。いずれかのスイッチが ON になっていると、接点制御や EV-700 設定ソフトウェアによる放送ができない場合がありますので、作業が終了したら、スイッチを OFF に戻してください。

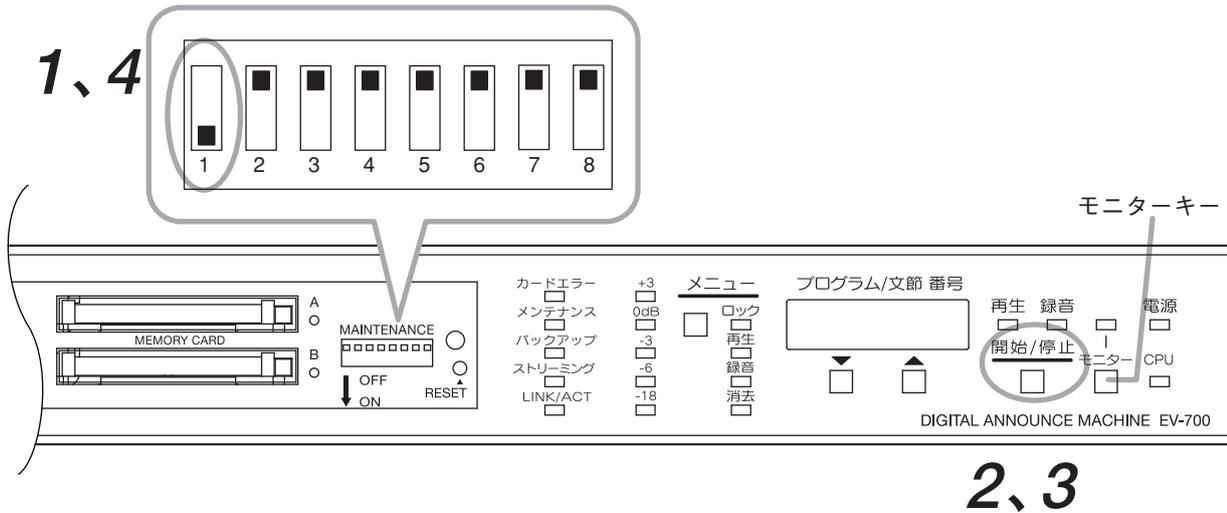


スイッチ	機能	状態表示器の表示	参照ページ
1	全プログラムを再生します。また、全体の音量を調節します。	PG.VoL	P. 72
2	緊急再生用音源を再生・録音・消去します。	EMEr	P. 52
3	機器とメモリーカード間で、設定ファイルをアップロード・ダウンロードします。 また、ネットワーク設定を一時的に初期値*3に戻します。	ダウンロード時：SEtDL アップロード時：SEtUL	P. 74
4	メモリーカード A のファイルをメモリーカード B にコピーします。	CFCPy	P. 75
5	スイッチ 8 とともに ON にすると、メモリーカードに記録されたファームウェアを更新します。	現在のファームウェアのバージョン番号が表示されます。	P. 76
6	スイッチ 8 とともに ON にすると、機器設定を初期化します。	初期化対象が表示されます。 ネットワーク設定以外：unit ネットワーク設定のみ：nEt 全設定：ALL	P. 77
7	スイッチ 8 とともに ON にすると、セルフチェックを行います。	セルフチェック中：tESt. 履歴保存用メモリー異常時：Err51	P. 78
8	スイッチ 5、6、7 と組み合わせて使用します。	—	P. 76、77

* 3

設定項目	初期値	設定項目	初期値	
IP アドレス	192.168.14.1	ユーザー名	EV700	
サブネットマスク	255.255.255.0	パスワード	guest	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	機器名称	EV-700	
ポート番号	HTTP	8080	システム名称	EV-700
	FTP 制御ポート	21		
	FTP データポート	60020		
	機器制御	60007		

■ 全プログラム再生をする（スイッチ1を使用）



1 スイッチ1をONにする。

状態表示器に「PG.VoL」と表示されます。

× モ

このときにモニターキーを押すと、ヘッドホンにのみ全プログラムのモニター再生が開始されます。全プログラム再生中にもう一度モニターキーを押すと、モニター再生を停止します。

2 開始/停止キーを押す。

全プログラム再生が始まります。

全プログラムの再生が終了すると、また最初のプログラムから全プログラム再生を繰り返します。

3 再生を停止したいときは、開始/停止キーを押す。

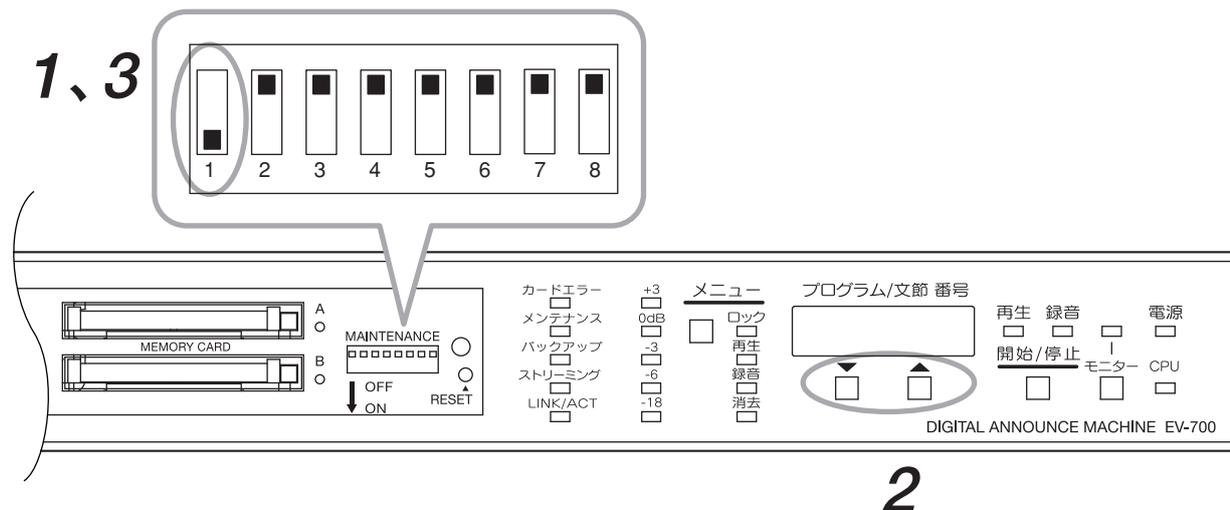
再生が停止します。

4 再生停止後、スイッチ1をOFFにする。

× モ

- 全プログラム再生中、インターバル、ビジーはプログラムの設定どおりに動作します。
- プログラム再生方式がプログラム再生の場合は、リピートは行わず、1度だけ再生します。
- 全文節再生のプログラムは再生されません。

■ 全体の音量の調節をする（スイッチ1を使用）



1 スイッチ1をONにする。
状態表示器に「PG.VoL」と表示されます。

2 上下キーを押して、プログラム全体の音量を調節する。
上キーを一度押すと、全体音量が1 dB 上がります。
下キーを一度押すと、全体音量が1 dB 下がります。

× モ

上キーまたは下キーを長押しすると、全体音量を素早く変更できます。

3 作業が終了したら、スイッチ1をOFFにする。

× モ

この作業で設定した全体音量は、マイク入力とライン入力の音量には影響しません。

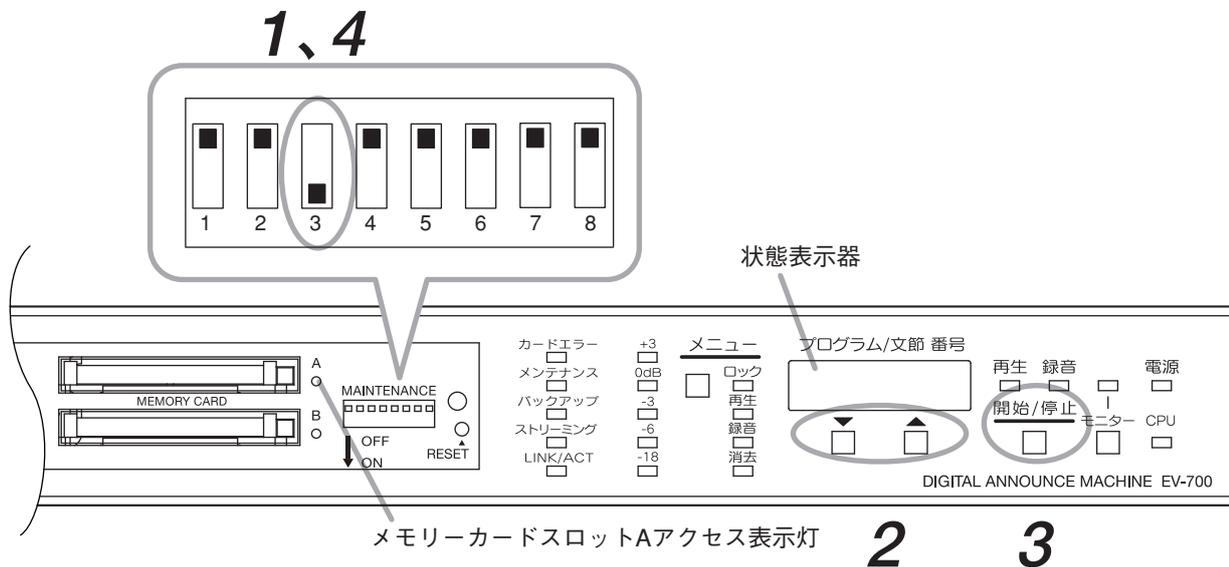
■ 緊急再生用音源を再生・録音・消去する（スイッチ2を使用）

操作の詳細は、(P.52 「緊急再生（前面パネルでの操作）」) をお読みください。

■ 機器設定ファイルをダウンロード／アップロードする (スイッチ 3 を使用)

機器設定ファイルを EV-700 からメモリーカードへダウンロードして、そのメモリーカードをパソコンに挿入することで、EV-700 設定ソフトウェアで機器設定ファイルを確認できます。

また、EV-700 設定ソフトウェアによりメモリーカードに機器設定ファイルを書き込んでおいて、そのメモリーカードを EV-700 へ挿入し機器設定ファイルをアップロードすることで、EV-700 の設定を変更できます。



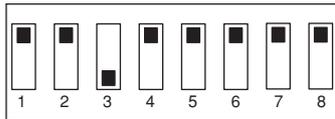
[機器設定ファイルをメモリーカードへダウンロードする]

- 1 スイッチ 3 を ON にする。
- 2 上下キーのどちらかを押して、状態表示器の表示を「SEtdL」にする。
- 3 開始/停止キーを押す。
機器設定ファイルがメモリーカード A にダウンロードされます。
ダウンロード中はメモリーカードスロット A アクセス表示灯が点滅します。
- 4 メモリーカードスロット A アクセス表示灯が点滅しなくなったら、スイッチ 3 を OFF にする。

[機器設定ファイルをメモリーカードからアップロードする]

- 1 スイッチ 3 を ON にする。
- 2 上下キーのどちらかを押して、状態表示器の表示を「SEtuL」にする。
- 3 開始/停止キーを押す。
機器設定ファイルがメモリーカード A から本体にアップロードされます。
アップロード中はメモリーカードスロット A アクセス表示灯が点滅します。
- 4 メモリーカードスロット A アクセス表示灯が点滅しなくなったら、スイッチ 3 を OFF にする。

■ ネットワーク設定を一時的に初期値に戻す (スイッチ 3 を使用)



スイッチ 3 を ON にしている間のみ、ネットワーク設定を初期値に戻すことができます。
ネットワーク設定がわからない場合でも、この機能により一時的に初期値にすれば、パソコンからネットワーク経由で EV-700 に接続して、EV-700 設定ソフトウェアで設定を確認・編集できます。
初期値の詳細は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

■ メモリーカードをコピーする (スイッチ 4 を使用)

メモリーカード A のデータをメモリーカード B にコピーできます。

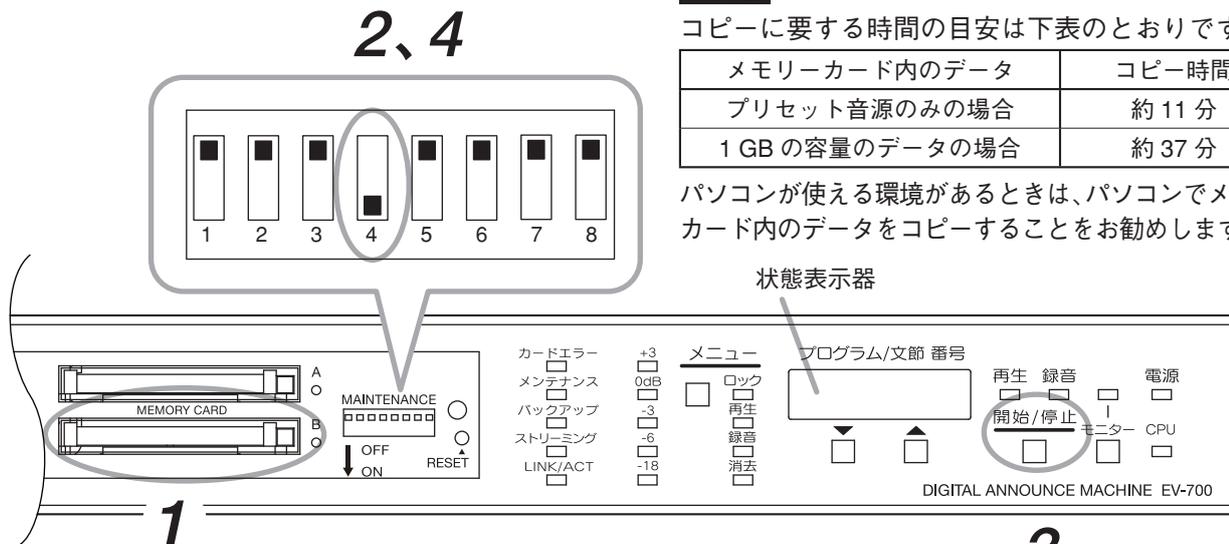
- カード A にあるファイルがすべてカード B にコピーされます。
- カード B にありカード A にはないファイルは、カード B に残ります。
- カード A・B に、同じファイル名で、同じ保存場所のファイルがある場合は、カード A のファイルがカード B にあるファイルに上書きされます。

ご注意

コピーに要する時間の目安は下表のとおりです。

メモリーカード内のデータ	コピー時間
プリセット音源のみの場合	約 11 分
1 GB の容量のデータの場合	約 37 分

パソコンが使える環境があるときは、パソコンでメモリーカード内のデータをコピーすることをお勧めします。



1 コピー用のメモリーカードをメモリーカードスロット B に挿入する。

2 スイッチ 4 を ON にする。
状態表示器に「CFCPy」と表示されます。

3 開始/停止キーを押す。
メモリーカード A のファイルがメモリーカード B にコピーされます。
コピー中は、状態表示器にコピーの進捗がパーセント表示されます。(['**Pct'])
コピーが完了すると、状態表示器に「CFCPy」と表示されます。

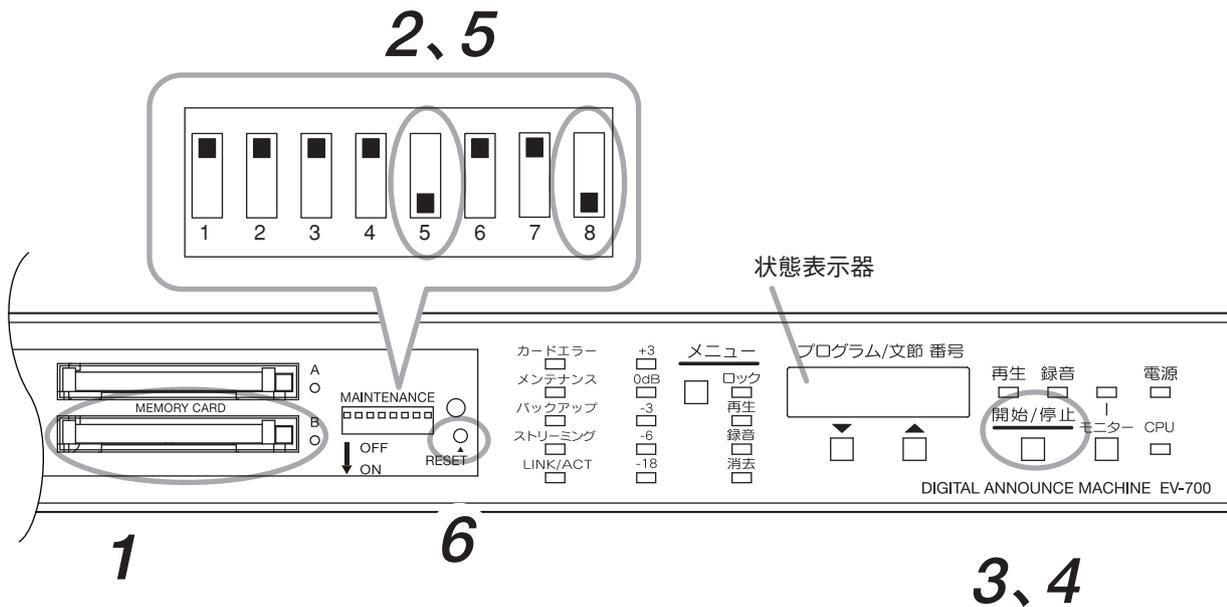
メモ

コピー中にスイッチ 4 を OFF にすると、コピーを中止します。

4 スイッチ 4 を OFF にする。

■ ファームウェアを更新する（スイッチ 5、8 を使用）

最新のファームウェアを記録したメモリーカードを使用して、ファームウェアの更新ができます。



1 最新のファームウェアを記録したメモリーカードをメモリーカードスロット B に挿入する。

2 スイッチ 5 と 8 を ON にする。
状態表示器に現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

3 開始/停止キーを押す。
状態表示器に「rEAdy.」と表示されます。

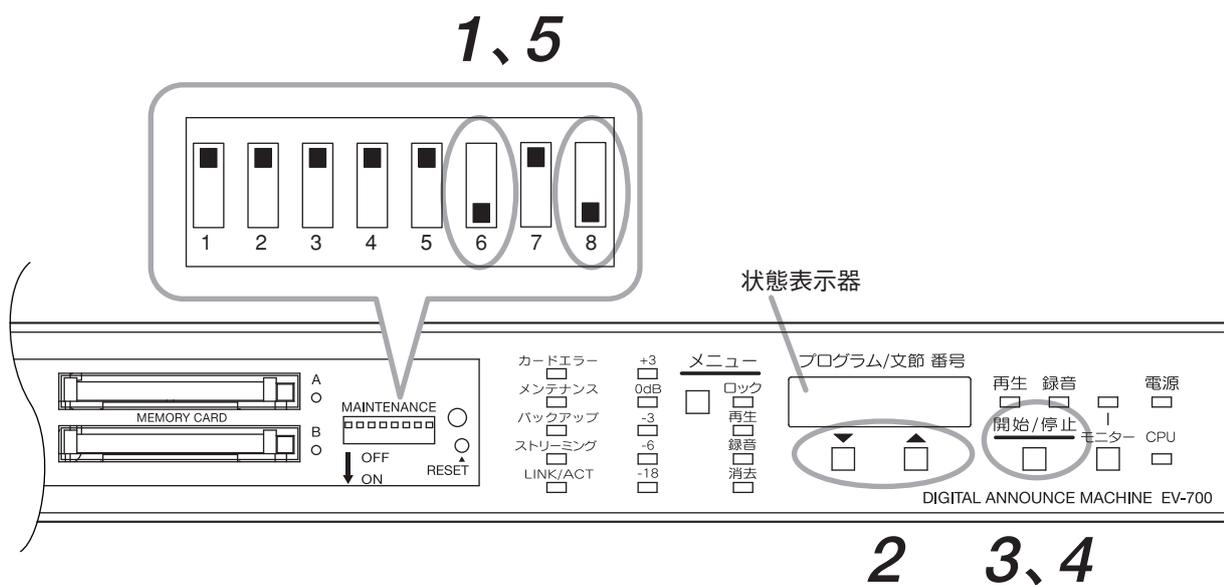
4 開始/停止キーを押す。
ファームウェアの更新が始まります。更新中は、状態表示器にコピーの進捗がパーセント表示されます。（「**Pct」）
ファームウェアの更新が完了すると、状態表示器に「uP.End」と表示されます。

5 スイッチ 5 と 8 を OFF にする。

6 リセットスイッチを 2 秒以上押す、または、後面の電源コードを抜き、もう一度接続する。
本機が再起動し、更新したファームウェアが機器に反映されます。

■ 機器設定を初期化する (スイッチ 6、8 を使用)

本機の設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。



- 1 スイッチ 6 と 8 を ON にする。
状態表示器に初期化する対象が表示されます。
表示が示す内容は次のとおりです。
「unit」：ネットワーク設定以外の機器設定
「nEt」：ネットワーク設定のみ
「ALL」：ネットワーク設定を含む、機器に記録した設定すべて

- 2 上下キーのどちらかを押して、初期化したい対象を選択する。

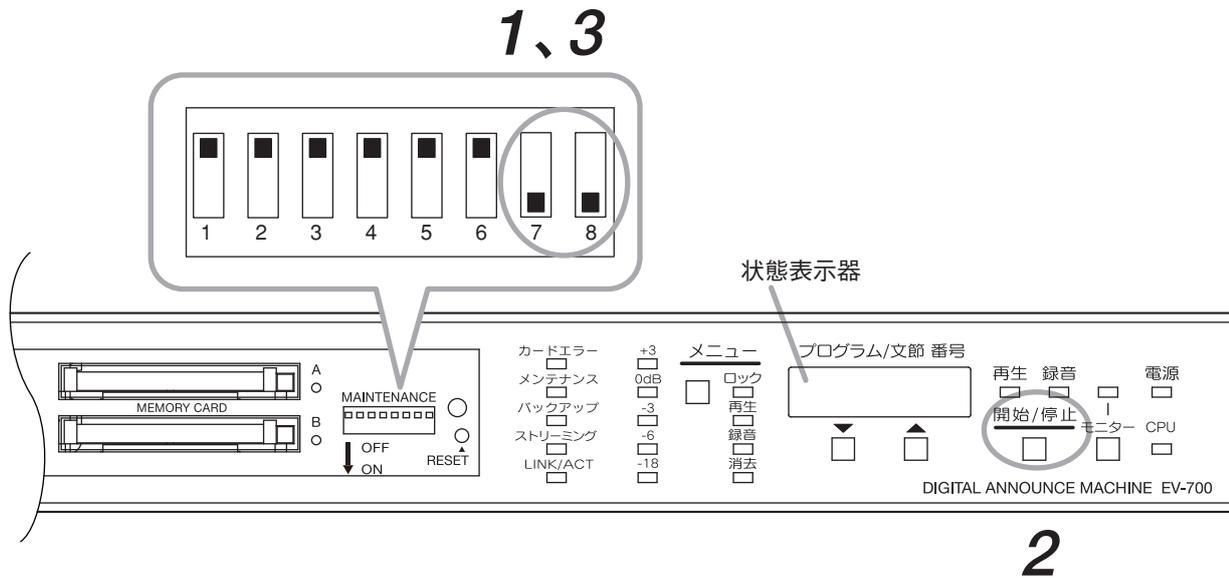
- 3 開始/停止キーを押す。
状態表示器に「rEAdy.」と表示されます。

- 4 開始/停止キーを押す。
初期化が開始されます。
初期化が完了すると、状態表示器に約 3 秒間「done」と表示された後、手順 1 の表示に戻ります。

- 5 スイッチ 6 と 8 を OFF にする。

■ セルフチェックを行う（スイッチ7、8を使用）

本機のセルフチェックを行い、履歴保存用メモリーの故障を確認できます。



1 スイッチ7と8をONにする。

2 開始/停止キーを押す。

状態表示器に「tEst.」(TEST)と表示され、セルフチェックを開始します。
セルフチェックが完了すると、「tEst.」の表示は消えます。

メモ

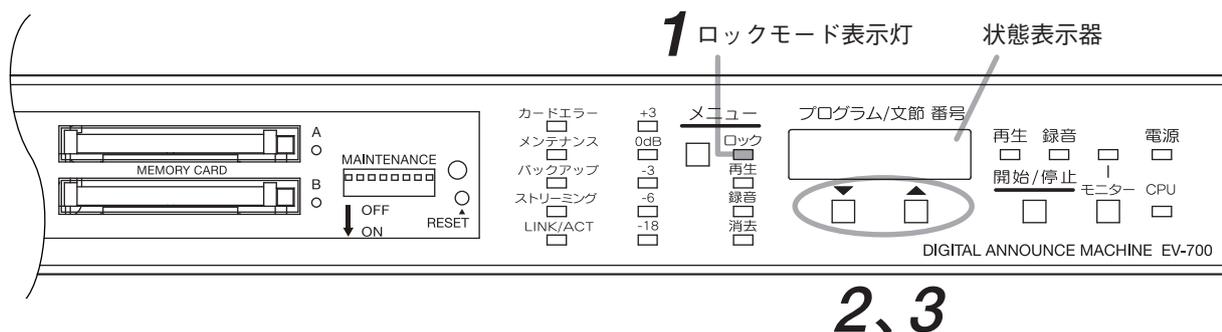
履歴保存用メモリーに異常がある場合、状態表示器に「Err51」が表示されます。

3 スイッチ7と8をOFFにする。

メモ

前面パネルの操作でのセルフチェックは、ロックモードで待機中のときに実施できます。
再生・録音・消去を実施したとき、またはメンテナンスモードになったときには、セルフチェックは停止します。

ファームウェアバージョンを確認する



1 ロックモード表示灯が点灯していることを確認する。

2 上キーと下キーを同時に押す。
押している間、状態表示器にファームウェアバージョンが表示されます。

3 指を離す。
表示を終了します。

メモ

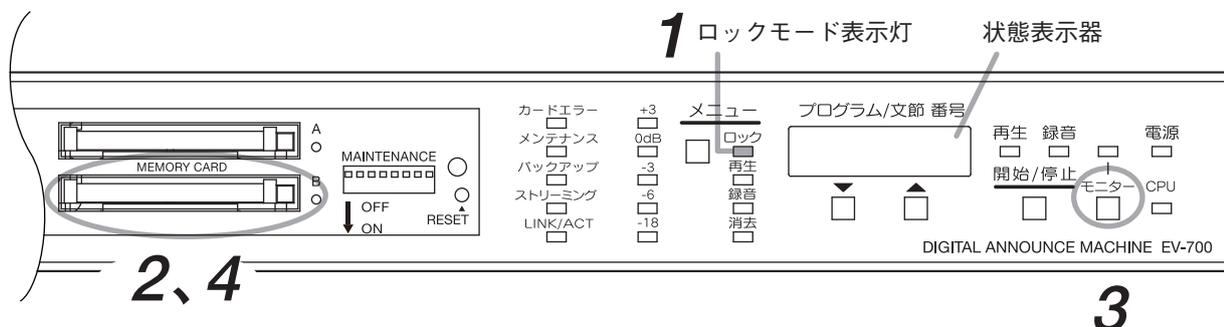
本機が動作中でもロックモード表示灯が点灯していれば、ファームウェアバージョンの確認ができます。

動作履歴を取得する

本機に記録されている動作履歴をメモリーカード B へダウンロードすることができます。

ご注意

バックアップ機能が ON のときは、履歴ファイルをメモリーカード B にダウンロードすることはできません。



1 本機が動作していない状態で、ロックモード表示灯が点灯していることを確認する。

2 メモリーカード EV-CF1G (別売) をメモリーカードスロット B に挿入する。

3 モニターキーを 3 秒以上押し続ける。

状態表示器に「Log」と点滅表示され、動作履歴がメモリーカード B にダウンロードされます。ダウンロードが完了すると、状態表示器に約 3 秒間「done」と表示されます。

4 メモリーカード B を EV-700 から取り出す。

5 メモリーカード B をパソコンに挿入して EV-700 設定ソフトウェアで履歴を確認する。

メモ

動作履歴は XML 形式、CSV 形式で、同じ内容の 2 つのファイルがダウンロードされます。どちらの形式の履歴ファイルも、EV-700 設定ソフトウェアを使用して内容を確認できます。CSV 形式のファイルは、EV-700 設定ソフトウェアを使用しなくても内容を確認できます。

[CSV 形式の履歴ファイルの見かた]

0001265817	2016/10/07	15:57:10	A25	"Line input broadcast started."
0001265818	2016/10/07	15:57:17	V02	"Memory card removed from Slot A."
0001265819	2016/10/07	15:57:17	A26	"Line input broadcast ended."
0001265820	2016/10/07	15:58:02	V01	"Memory card inserted into Slot A."

①

②

③

④

⑤

番号	項目	説明
1	履歴番号	履歴の管理番号です。数値が大きい方が時間的に後の履歴です。上限(999999999)に達した場合は、「0000000000」に戻ります。
2	履歴の年月日	履歴を記録したタイミングの EV-700 に設定された日付情報です。
3	履歴の時分秒	履歴を記録したタイミングの EV-700 に設定されている時刻情報です。
4	履歴コード	履歴の種類を表します。最初のアルファベットによって 3 種類に分類できます。 A：動作、V：イベント、E：エラー
5	履歴内容	履歴の説明です。

優先度の設定

重要な内容を優先的に再生・放送できるように、優先度を設定することができます。
優先度には、放送の優先度と、プログラムの優先度があります。

放送の優先度は、通常放送（メモリーカード音源の放送）、マイク放送、ライン入力放送の中でどれを優先して放送するかを設定します。（P. 82「放送の優先度」）

プログラムの優先度は、プログラムごとに決めることができ、2（優先度高）～8（優先度低）のいずれかに設定できます。

緊急再生と R.E.M. 再生は、優先度 1（最優先）に設定されています。緊急再生と R.E.M. 再生の優先度設定は変更できません。

※ 詳しくは、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

メモ

プログラムの優先度よりも放送の優先度が優先されますが、プログラム優先度 1 の緊急再生と R.E.M. 再生は最優先で再生されます。

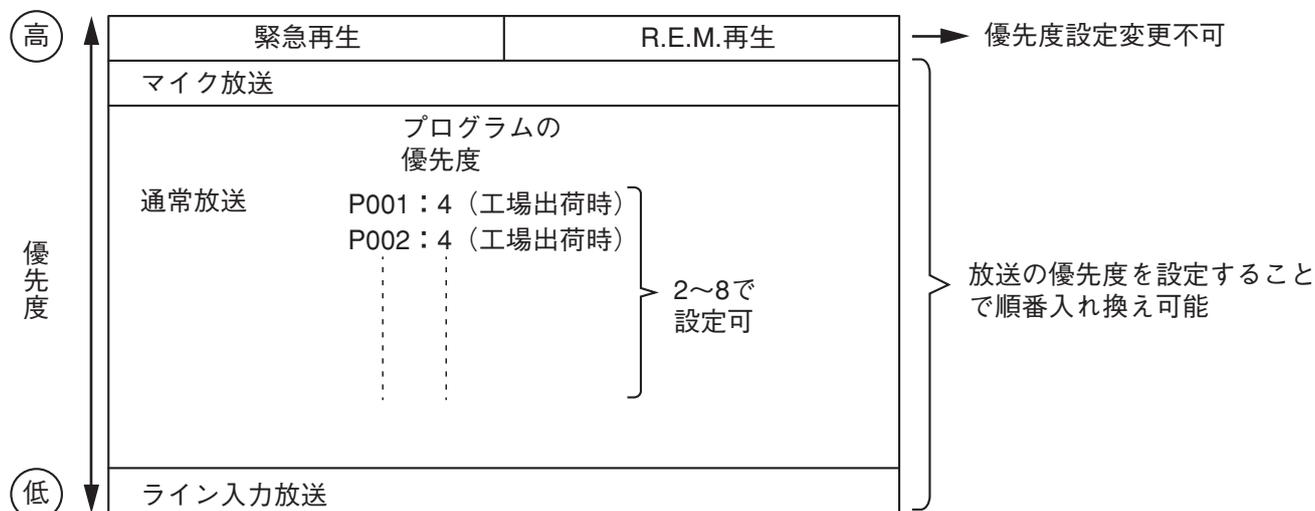
下表のように設定されている場合、動作は次のようになります。

[設定例]

放送の優先度	プログラムの優先度
マイク放送：放送優先度 1	P001：プログラム優先度 2
通常放送：放送優先度 2	緊急再生：プログラム優先度 1（固定）

[動作]

- プログラム P001 を再生中にマイク入力があると、マイク放送を行う。
- 緊急再生を放送中にマイク入力があっても、緊急再生を続ける。



外部入力 of 放送

概要

本機では、メモリーカードに記録した音源以外にも、前面のマイク入力や前面と後面のライン入力に入力した音声を、ライン出力 1、2 から放送することができます。

事前に設定した放送の優先度に応じて、メモリーカード音源、マイク入力、ライン入力のうち1つだけが放送されます。

放送の優先度

ご注意

- 放送の優先度は、プログラムごとに設定できる優先度（P. 81「優先度の設定」）とは異なります。
- マイク放送、ライン入力放送をするときは、メニューモードをロックモードにしてください。ロックモード以外になっていると、設定内容にかかわらず通常放送が優先されます。

通常放送、マイク放送、ライン入力放送に対して、放送の優先度を設定することができます。

（設定方法は EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。）

優先度は 1、2、3、OFF から選択でき、1 が優先度最高、3 が優先度最低です。OFF に設定した場合、その音声は全く放送されません。

また、同じ優先度を選択することはできません。

工場出荷時は次のとおりに設定されています。

放送の種類	放送の優先度
マイク放送	1
通常放送	2
ライン入力放送	3

ご注意

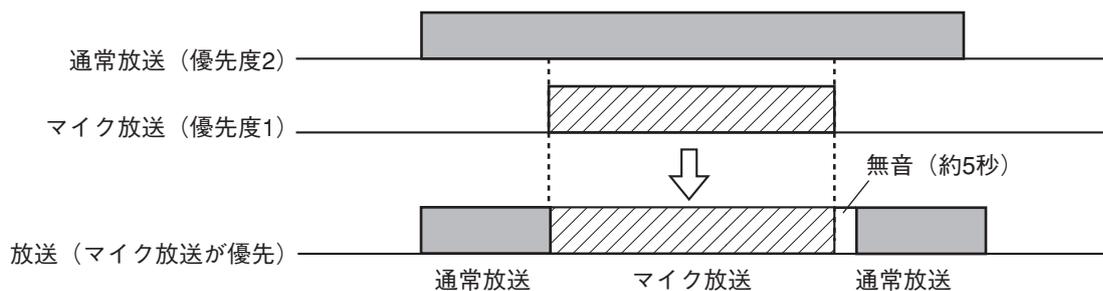
通常放送の優先度を OFF に設定して、プログラム再生を実施すると、エラー（Err04）となります。

[工場出荷時の設定での動作]

- 通常放送中にマイク入力があった場合

通常放送が中断され、マイク放送をします。

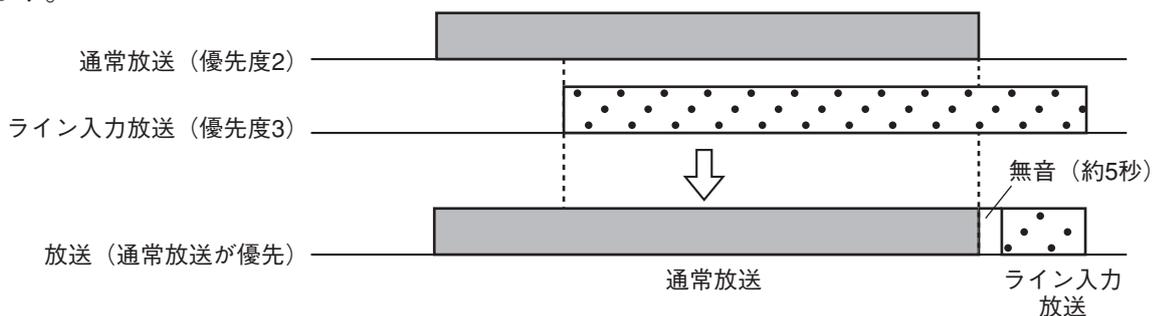
マイク放送をしている間も、メモリーカード音源の再生は続いています。マイク放送が終了したときにまだメモリーカード音源が再生を続けていたら、約 5 秒の無音時間の後、通常放送をします。



- 通常放送中にライン入力があった場合

ライン入力の音声は放送されず、通常放送を続けます。

通常放送が終了したときにまだライン入力が続いていたら、約 5 秒の無音時間の後、ライン入力放送をします。



■ 外部入力 of 放送のしかた

■ ご注意

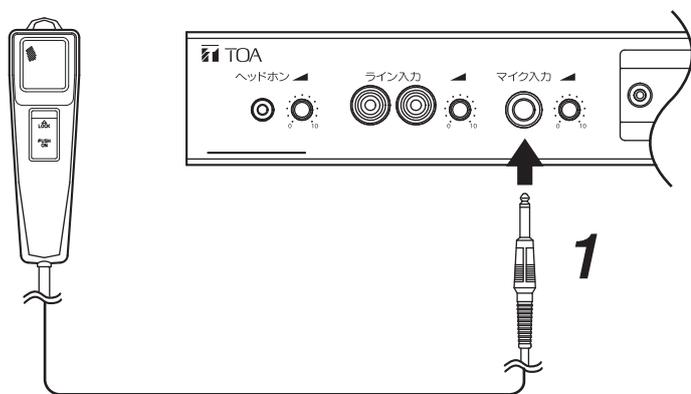
- 事前にマイク入力またはライン入力の音量を調節してから放送を行ってください。マイク入力とライン入力は、レベルメーターが点滅する程度の信号入力が入ったときに入力があったと判断されます。
- 録音中はヘッドホン出力端子からの出力のみで、ライン出力 1、2 からは放送されません。

■ メモ

- マイク入力とライン入力の音量調節は、それぞれマイク入力音量つまみとライン入力音量つまみのみで行います。
- 前面と後面のライン入力は、内部でミキシングされて出力されます。

● マイク放送のしかた

マイクは、ON/OFF スイッチ付きで次の本機入力仕様に適合するダイナミック型のものを別途ご用意ください。
マイク入力の仕様：-55 dB (0 dB = 1 V)、600 Ω、不平衡、ホーンジャック



1 マイクを前面のマイク入力端子に接続する。

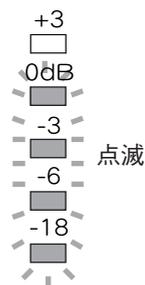
接続するときはマイクのスイッチを切にして、マイク入力音量つまみを反時計方向に絞り切っておきます。

マイクの入切のしかたはマイクに付属の取扱説明書をお読みください。

2 マイクを入にし、マイクに向かって話しながらマイク入力音量を調節する。

レベルメーターを見ながらマイク入力音量つまみでマイク音量を調節します。

レベルメーターの「+3」のLEDが常時点灯した状態にならないようにしてください。



3 調節できたら、マイクのスイッチを切にする。

ここまでの手順で、マイク放送の準備が完了となります。

4 必要なときに、マイクを入にして、マイクに向かってアナウンスする。

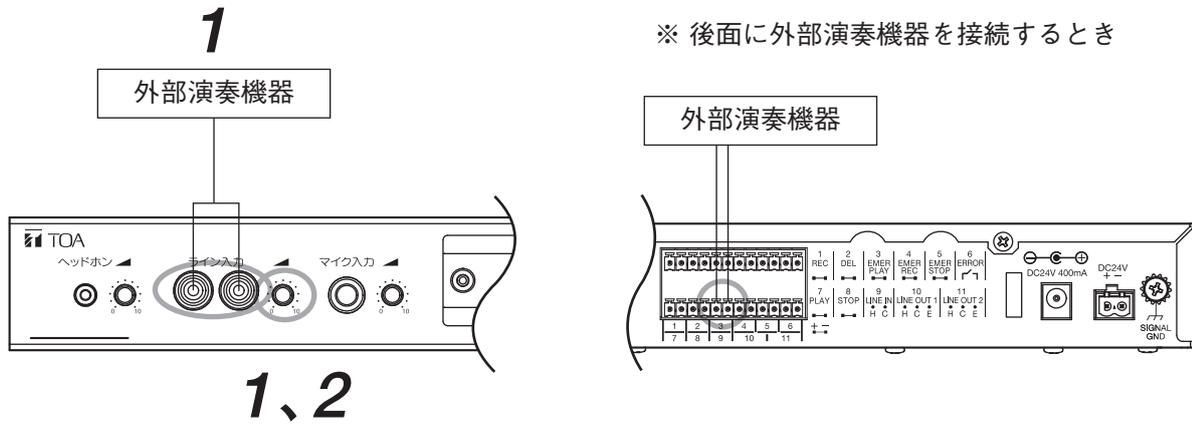
マイク放送中の表示



(MIC)

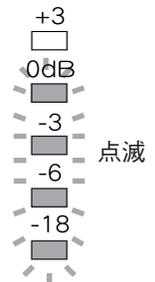
● ライン入力放送のしかた

ライン入力に接続する外部演奏機器は、次の本機入力仕様に適合するものを別途ご用意ください。
 ライン入力の仕様：-29 dB(0 dB = 1 V)、10 kΩ、RCA ピンジャック (前面) / -20 dB(0 dB = 1 V)、10 kΩ、
 着脱式ターミナルブロック (後面)



1 外部演奏機器をライン入力端子に接続する。
 接続するときはライン入力音量つまみを反時計方向に絞り切っておきます。

2 外部演奏機器を演奏状態にし、ライン入力音量を調節する。
 レベルメーターを見ながらライン入力音量つまみでライン入力音量を調節します。
 レベルメーターの「+3」のLEDが常時点灯した状態にならないようにしてください。



3 外部演奏機器を停止する。
 ここまでの手順で、ライン入力放送の準備が完了となります。

4 必要ときに、外部演奏機器で音源を再生する。



ご注意

放送の優先度の設定によって、ライン入力放送中に優先度の高い放送が優先され、放送が中断する場合があります。

その場合は、放送の優先度の設定を確認してください。(EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)

メモ

- ステレオで入力すると、機器内部でLchとRchがミキシングされてモノラルに変換されます。
- ライン入力端子と後面ブロック端子のライン入力は、機器内部でミキシングされます。

放送の音量

■ 通常放送・緊急放送の音量

通常放送・緊急放送の音量は、プログラム音量、全体の音量、自動音量調整（AGC）で決定されます。プログラム音量、全体の音量、自動音量調整（AGC）の ON/OFF は、EV-700 設定ソフトウェアで設定します。各設定方法は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

● プログラム音量

プログラム音量は、各プログラム、緊急再生、R.E.M. 再生に設定できる音量で、11 段階で設定できます。初期値は「8」です。

設定値	0	1	2	3	4	5	6	7	8 (初期値)	9	10
プログラム音量	-60 dB	-30 dB	-24 dB	-18 dB	-12 dB	-9 dB	-6 dB	-3 dB	0 dB	+3 dB	+6 dB

※ 各 dB 値は、音源データの音量に対する比率を表しています。

● 全体の音量

全体の音量は各プログラム、緊急再生、R.E.M. 再生の全体の音量で、-60 ～ 0 dB の範囲を 1 dB 単位で設定できます。初期値は「-6 dB」です。

メ モ

全体の音量は、本体操作でも設定できます。（ P. 73 「全体の音量の調節をする（スイッチ 1 を使用）」）

● 合計音量（プログラム音量と全体の音量を合計したもの）

プログラム音量と全体の音量を設定すると、それを基に合計音量が -60 ～ 0 dB の範囲で決まり、その音量で放送されます。

- ・プログラム音量と全体の音量を足した値が -60 ～ 0 dB のときは、その値が合計音量になります。
- ・プログラム音量と全体の音量を足した値が -60 dB 未満のときは、-60 dB が合計音量になります。
- ・プログラム音量と全体の音量を足した値が 0 dB を超えるときは、0 dB が合計音量になります。

メ モ

合計音量が -6 dB のとき、ライン出力から 0 dB * が出力されます。

* 0 dB = 1 V

● 自動音量調整（AGC）

自動音量調整（AGC）は、再生時の音量をあらかじめ決められた音量（基準レベル）に近づけるような働きをします。小音量から大音量までの再生音のばらつきを抑えて放送することができます。緊急再生、R.E.M. 再生を含む全プログラムに個別に ON/OFF を設定できます。

メ モ

- 自動音量調整（AGC）では、プログラム音量と全体の音量の合計音量から基準レベルを決定しています。基準レベルより小さい音声は大きく、基準レベルより大きい音声は小さくして再生します。
- プログラム音量または全体の音量を変更すると、自動音量調整（AGC）の基準レベルが変わり、放送される音量が変わります。
- 自動音量調整（AGC）を使用する場合は、合計音量が -30 ～ 0 dB の間になるように設定することを推奨します。

■ マイク放送、ライン入力放送の音量

マイク放送とライン入力放送の録音音量および放送音量は、それぞれマイク入力音量つまみとライン入力音量つまみのみで調節します。(P. 22 「文節に録音する」、P. 83 「外部入力の放送のしかた」)

メ モ

マイク放送とライン入力放送の音量は、プログラム音量、全体音量、AGC には影響されません。

遅延時間

アンプなどの外部機器の起動に時間がかかり、再生内容の頭切れが起こる場合は、遅延時間を設定してください。

プログラム再生が起動されてから、音声の再生を開始するまでの遅延時間を 0 ～ 99 秒の範囲で 1 秒間単位で設定することができます。

設定方法は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

メ モ

- 遅延時間中もプログラム再生ビジーは出力されます。
- 遅延時間の設定は、再生方式がチャイム再生の場合を除き、緊急再生と R.E.M. 再生を含むすべてのプログラムに適用されます。
- 工場出荷時には、遅延時間は 2 秒に設定されています。

制御出力 (ビジー信号)

■ ビジー信号とは

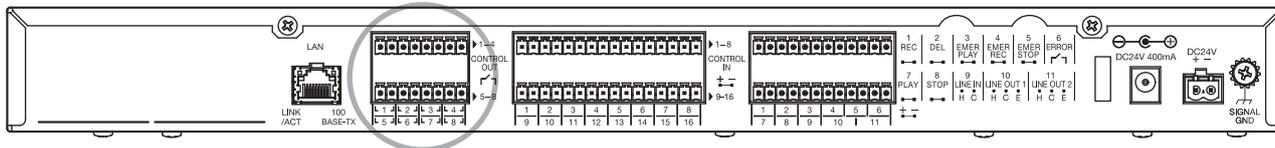
プログラム再生中などの機器動作中に、接点制御出力端子からメイク接点の制御出力 (ビジー信号) を出力することができます。

EV-700 設定ソフトウェアにより、機器が次の動作をしたときに接点制御出力端子 1 ～ 8 のどのチャンネルからどのビジー信号を出力するか設定することができます。

詳しくは EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

EV-700

接点制御出力端子



■ ビジー信号を設定する

● 設定のしかた

ビジー信号の設定は、EV-700 設定ソフトウェアで行います。

ビジー信号名称	内容	初期設定
プログラム再生ビジー	プログラム再生中にビジー信号を出力します。プログラムごとにビジー信号を出力する接点制御出力端子のチャンネルを設定できます。	1、2：ON、3－8：OFF
ライン出力ビジー	ライン出力 1、2 から音声を出力しているときにビジー信号を出力します。	1－8：OFF
マイク放送ビジー	マイク放送中にビジー信号を出力します。	1、2：ON、3－8：OFF
ライン入力放送ビジー	ライン入力放送中にビジー信号を出力します。	1－8：OFF
録音ビジー	録音中または緊急音源録音中にビジー信号を出力します。	1－8：OFF
消去ビジー	消去中または緊急音源消去中にビジー信号を出力します。	1－8：OFF
緊急再生ビジー	緊急再生中、R.E.M. 再生の放送中にビジー信号を出力します。	1、2：ON、3－8：OFF
R.E.M. ビジー	R.E.M. 再生の録音中にビジー信号を出力します。	1－8：OFF
メンテナンスビジー	機器がメンテナンスモードのときにビジー信号を出力します。	1－8：OFF

※ 詳しくは、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

● ビジー信号の動作

動作の種類に対して設定された接点制御出力端子 1～8 から、動作中のビジー信号としてメイク信号が出力されます。

以下のビジー信号の出力動作は、「プログラム再生ビジー」に対して設定された、ビジー信号出力の例です。

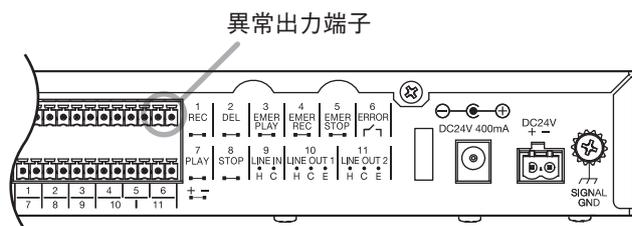


※ リピート間隔中のビジー入力など、プログラムごとに設定可能なビジー設定は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

ライン出力ビジー、マイク放送ビジー、ライン入力放送ビジー、録音ビジー、消去ビジー、メンテナンスビジーは、設定した遅延時間とは無関係に、各動作の開始と同時にビジー出力されます。

異常出力

機器が以下の状態のときには、異常出力端子からメイク接点が出力されます。



- 使用できないメモリーカードが挿入されたとき
- カードエラーが発生したとき
- 本機が異常動作したとき
(この場合、エラーコードが状態表示器に表示されます。▶▶ P. 103 「エラー表示一覧」)
- 本機の電源が切れているとき

クイックストップ機能

クイックストップ機能とは、プログラム再生中に、ロックモードであっても開始/停止キーを押すとすぐに再生を停止できる機能です。

クイックストップ機能の設定は、EV-700 設定ソフトウェアで行います。

開始/停止キーですぐに再生を停止したい場合は、クイックストップ機能を有効にしてください。

設定方法は EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

メモ

- 工場出荷時は、無効に設定されています。
- クイックストップ機能を有効にすると、緊急再生中または R.E.M. 再生中に、ロックモードであっても、開始/停止キーを押すことで再生を停止できます。
- レベル起動により再生している場合は、停止できません。
- ロックモードのときに前面パネルのキー操作で録音を停止させるには、クイックストップ機能の設定に関わらず、メニューキーを押してロックモードを解除した後、開始/停止キーを押してください。

バックアップ機能

バックアップ機能とは、メモリーカード A でデータが読めないなどのエラーがあったときに、自動的にメモリーカード B に切り換わり本機の動作を支障なく継続することができる機能です。
EV-700 設定ソフトウェアでバックアップ機能の ON/OFF を設定することができます。

本機では、バックアップ機能が OFF のときはメモリーカード A のみを利用して動作しますが、バックアップ機能が ON のときは、メモリーカードスロット B に、メモリーカード A のデータがすべて記録されたメモリーカードが挿入されている必要があります。
そのため、本機能を使うときは、事前に必ずカードコピーを行ってメモリーカード A の内容をメモリーカード B にコピーしておいてください。(P. 75)

EV-700 設定ソフトウェアでメモリーカード A とメモリーカード B の両方のデータを比較すると、データが一致しているかどうかを確認できます。
詳しくは EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

ご注意

メモリーカード B での運用中にメモリーカード B にエラーが発生しても、メモリーカード A には自動で切り換わりません。メモリーカード A のエラーを取り除いた後、必ず手動で切り換えてください。

バックアップ機能を ON にする

1 メモリーカードスロット A に音源データの入ったメモリーカード（付属）を挿入する。

2 メモリーカードスロット B に別のメモリーカード（別売）を挿入する。

3 メモリーカード A からメモリーカード B にカードコピーを行う。

メンテナンス用 DIP スイッチのスイッチ 4 の操作でカードコピーを行います。(P. 75 「メモリーカードをコピーする (スイッチ 4 を使用)」)

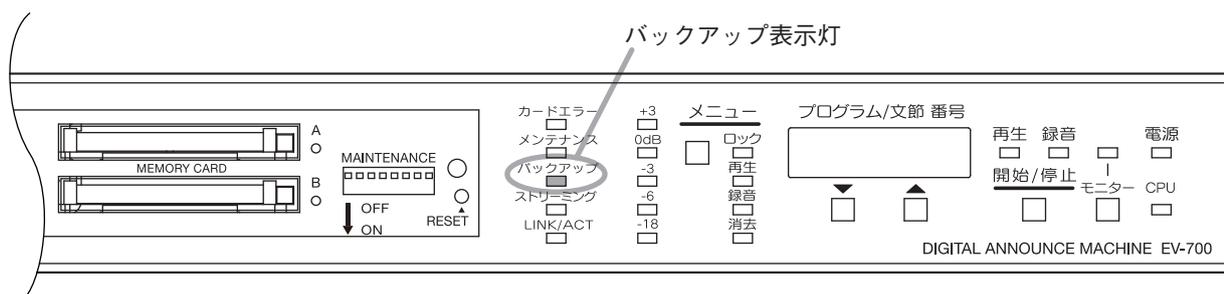
メモ

EV-700 設定ソフトウェアを使用してカードコピーを行うこともできます。(EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)

4 EV-700 設定ソフトウェアでバックアップ機能を ON にし、設定ファイルを EV-700 本体に転送する。

(EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)

5 バックアップ表示灯が点灯していることを確認する。



■ バックアップ機能が ON のときの機器動作

[バックアップ機能が ON になったとき]

- バックアップ表示灯が点灯します。
- バックアップ機能が ON の状態で録音・消去などのデータ書き換えを行うと、メモリーカード A と B の両方のデータが同時に書き換えられます。

ご注意

バックアップ機能が ON でも、以下の状態のときには、バックアップ機能は働きません。そのときは、バックアップ表示灯が点滅します。バックアップ表示灯が点灯した状態で運用してください。

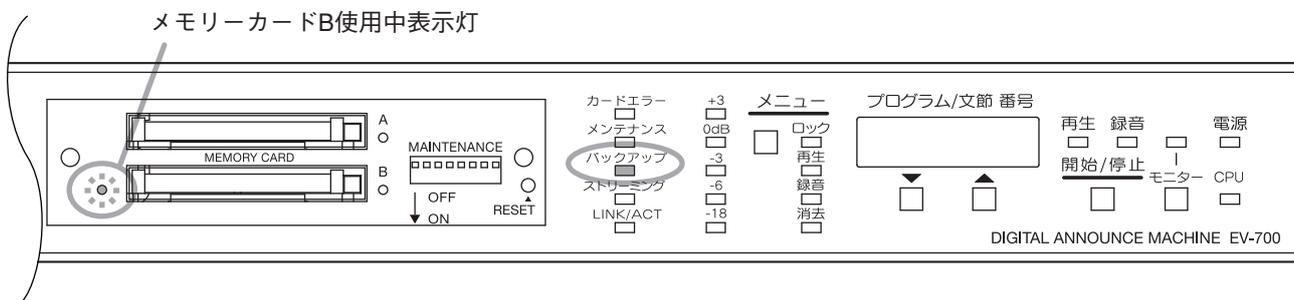
バックアップ機能が働かないとき	対処のしかた
メモリーカード A とメモリーカード B のデータが一致していないとき	メモリーカード A とメモリーカード B のデータを一致させてください。
バックアップ機能が働いてメモリーカード B で運用しているとき	P. 91 を参照してください。
メモリーカード B で運用中に EV-700 設定ソフトウェアでメモリーカード A 運用に移行したとき	本機を再起動してください。

[メモリーカード A にエラーが発生し、バックアップ機能が働いたとき]

- 再生起動がかかったときにメモリーカード A のデータが読めなかった場合、すぐにメモリーカード B のデータを読んで再生を行います。これ以降はメモリーカード B 運用に切り換わります。
- 再生中にメモリーカード A のデータが読めなかった場合、すぐにメモリーカード B のデータを読んで、再生途中の文節の最初から再生を行います。これ以降はメモリーカード B 運用に切り換わります。
- バックアップ機能によりメモリーカード B 運用に移行すると、メモリーカード B 使用中表示灯およびバックアップ表示灯が点滅します。

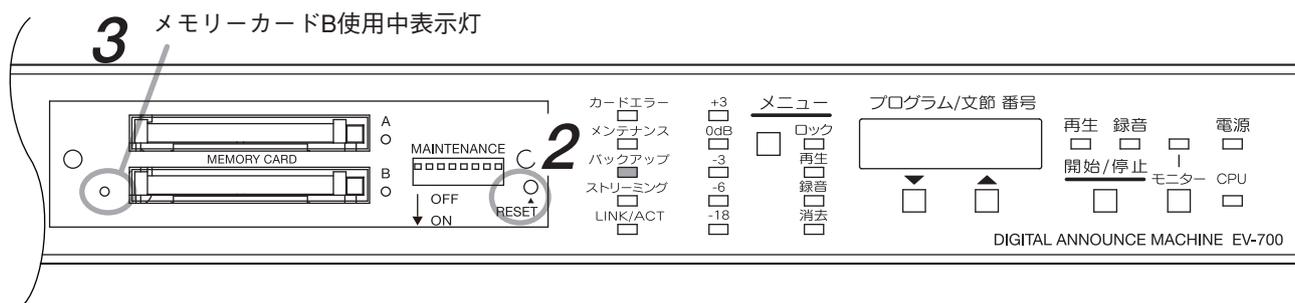
ご注意

メモリーカード B に切り換わる際、ノイズが発生することがあります。



- メモリーカード B 運用時でも、メモリーカード A 運用時と同じように動作します。
- メモリーカード B 運用中に再生起動がかかり、そのときにメモリーカード B のデータが読めなかった場合は、再生しません。

■ メモリーカード B での運用からメモリーカード A での運用へ戻す



1 メモリーカード A をエラーが出ないように修正する。

2 リセットスイッチを 2 秒以上押す、または後面の電源コードを抜き、もう 1 度接続する。

メモ

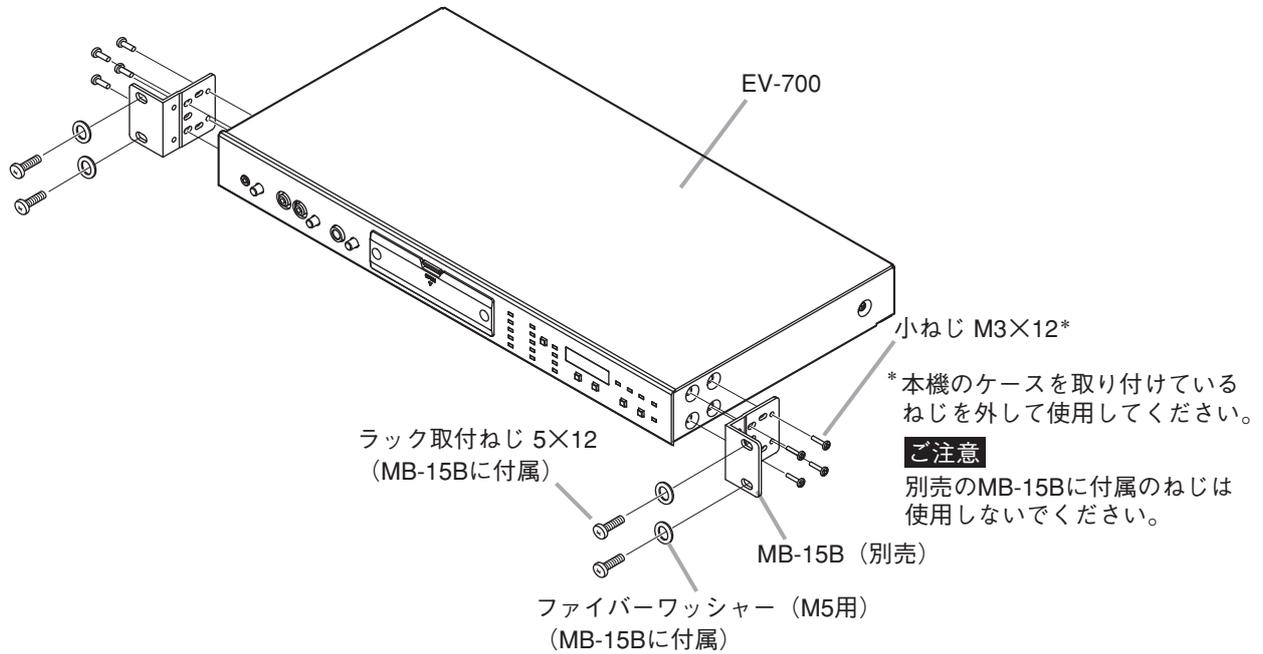
EV-700 設定ソフトウェアを使用してメモリーカード A での運用に切り換えることもできます。
(EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)

3 メモリーカード B 使用中表示灯が消灯し、バックアップ表示灯が点灯していることを確認する。

設置のしかた

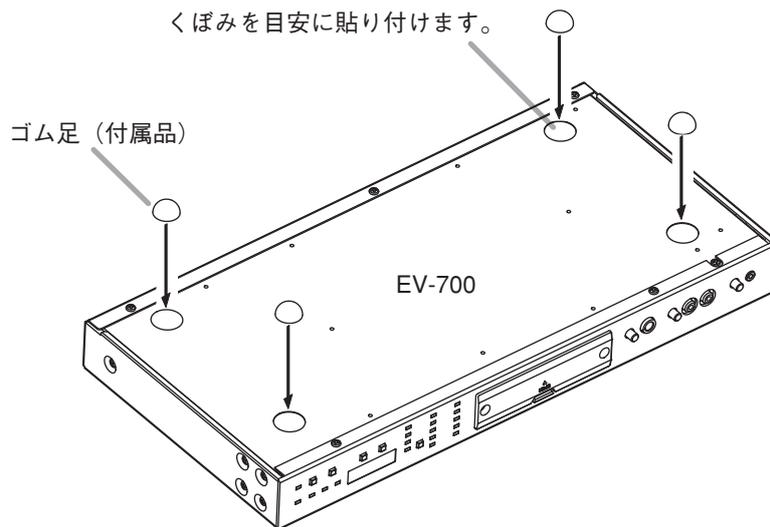
■ ラックマウントのしかた

ラックに取り付けるときは、ラックマウント金具 MB-15B（別売品）を使用します。



■ 卓上設置のしかた

卓上に置いて使用するときには、付属のゴム足を本機の底面に貼り付けてください。



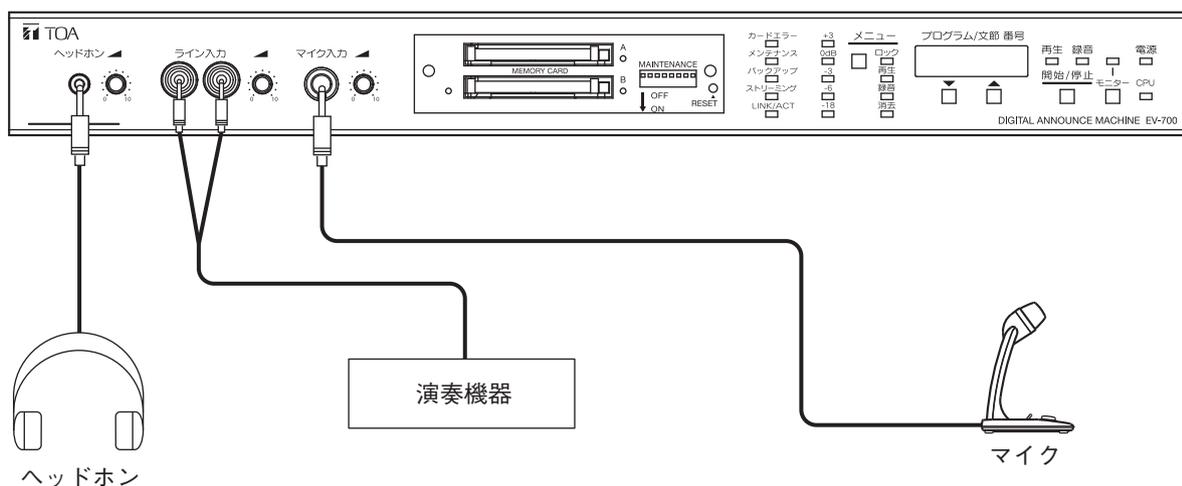
接続のしかた

ご注意

本機の電源を接続するとき、また本機を外部演奏機器やアンプなどと接続するときは、各機器の電源を必ず切ってください。

■ 前面パネルの接続

[接続例]

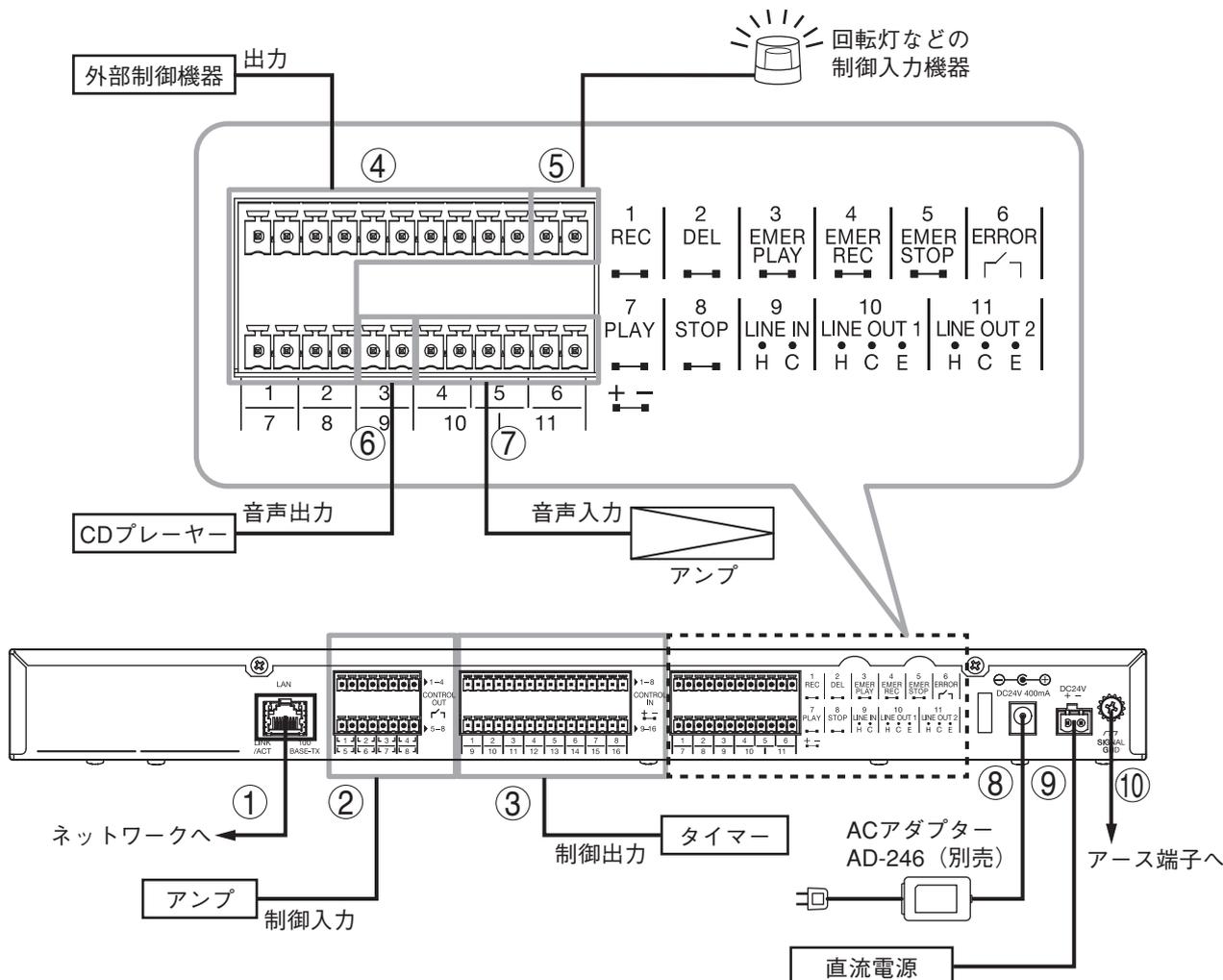


- 前面のライン入力端子と後面のライン入力端子に接続された音源は、内部でミキシングされます。
- 前面のライン入力端子に音源を接続したときは、後面だけに接続したときと比べてライン入力の音源の音量レベルが大きくなります。
- ライン入力端子の L ch と R ch は内部でミキシングされていますので、ステレオで入力してもモノラルに変換されます。
- 録音中、マイク入力信号およびライン入力信号はライン出力 1 端子、ライン出力 2 端子からは出力されません。録音内容を確認する（モニターする）には、ヘッドホン出力を使用します。（ P. 27 「メモリーカードの録音内容を確認したいとき」）
- 再生中にヘッドホンをヘッドホン端子に接続してもライン出力 1 端子、ライン出力 2 端子からの音は止まりません。

■ 後面パネルの接続

各端子の動作・機能については「各部の名称とはたらき」の「後面」(P. 12) をお読みください。

[接続例]



※ ②～⑦、⑨の接続には、付属の着脱式ターミナルプラグを使用してください。(P. 96 「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」)

各プラグの局数は以下のとおりです。

② 8P、③ 16P、④～⑦ 12P、⑨ 2P

① LAN 端子

100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。
接続にはイーサネット RJ-45 コネクタを使用してください。

② 接点制御出力端子

無電圧メイク、DC30 V、500 mA
アンプの電源制御入力端子などメイク接点により動作する制御入力端子に接続します。

ご注意

アンプの電源を直接制御するときは、十分な接点容量を持ったリレー接点を介してください。

③ 接点起動入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC 30 V、短絡電流 10 mA、短絡時間 50 ms 以上
タイマーなどメイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

④ 各種制御入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC 30 V、短絡電流 10 mA、短絡時間 50 ms 以上

録音、再生などの動作をリモート起動するスイッチやメイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

(参照 P. 28 「外部制御による各動作の起動」)

⑤ 異常出力端子

無電圧メイク、DC30 V、500 mA

通常はブレイクで、機器またはメモリーカードに異常が発生するとメイクします。

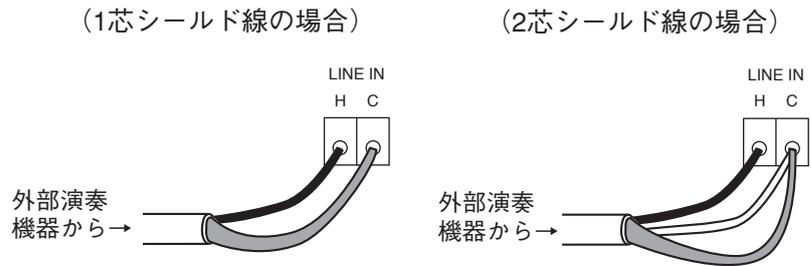
(参照 P. 88 「異常出力」)

⑥ ライン入力端子

-20 dB *、10 k Ω 、不平衡

録音用や放送用の外部演奏機器を接続します。

接続のしかたは右図のとおりです。

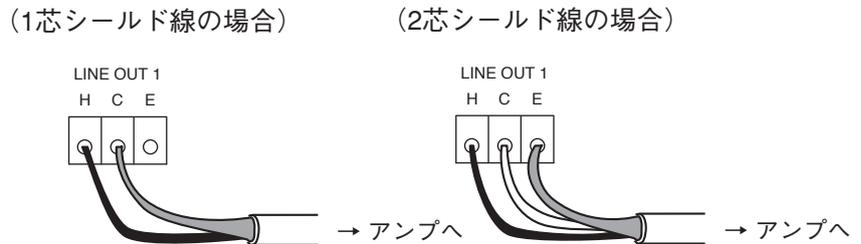


⑦ ライン出力1、2端子

0 dB *、600 Ω 、不平衡

アンプなどの音声入力端子に接続します。

接続のしかたは右図のとおりです。



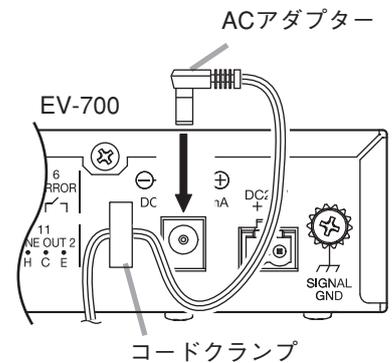
⑧ AC アダプター入力端子

別売の AC アダプター AD-246 を接続してください。

接続した後は、AC アダプターのプラグが抜けないように、コードを右図のようにコードクランプに固定してください。

メモ

本端子と DC 電源入力端子⑨とを同時に接続しているときは、電圧の高い方が優先されます。



⑨ DC 電源入力端子

DC 24 V 電源を接続します。

⑩ 機能アース端子

アース端子や筐体アースに接続してください。

ご注意

この端子は安全アース用ではありません。

* 0 dB = 1 V

■ 着脱式ターミナルプラグの接続のしかた

● ご注意

- 着脱式ターミナルプラグに結線するときは、マイナスドライバーを使用してください。
- より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。
線材を締め付けたときに、はんだスズが破碎し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。
- 接続電線サイズ

	DC 電源入力端子	それ以外
導体断面積	0.2~2.5 mm ²	0.14~1.5 mm ²
AWG	AWG24~12 相当	AWG28~16 相当

- 1つの端子に2本の線材を接続する場合や信号線を接続する場合などに、芯線がばらけるのを防ぐためには、絶縁スリーブ付き棒端子で圧着してください。

推奨棒端子：信号線用（フェニックス・コンタクト製）

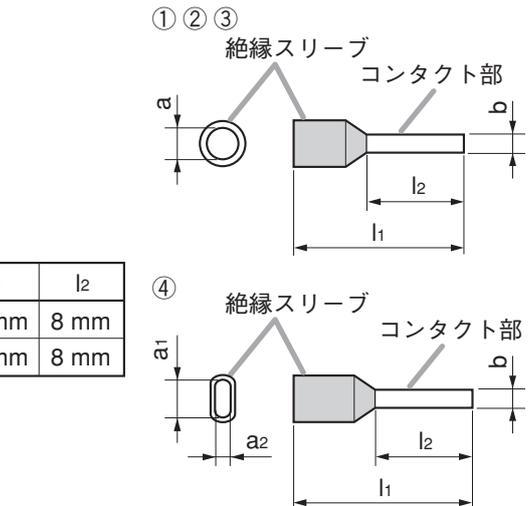
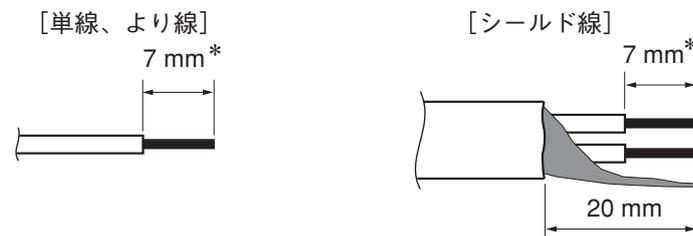
	品番	a	b	l ₁	l ₂
①	AI 0,34-8 TQ	2 mm	0.8 mm	12.5 mm	8 mm
②	AI 0,5-8 WH	2.5 mm	1.1 mm	14 mm	8 mm

推奨棒端子：DC 電源線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	a ₁	a ₂	b	l ₁	l ₂
③	AI 1,5-8 BK	3.4 mm	—	—	1.8 mm	14 mm	8 mm
④	AI-TWIN 2x1,5-8 BK	—	6.6 mm	3.6 mm	2.3 mm	16 mm	8 mm

かしめ工具：CRIMPFOX 10S（フェニックス・コンタクト製）

- 線材のむきしろ



* 絶縁スリーブ付き棒端子を使用する場合は8 mm以上とし、はみ出た分はカットしてください。

● 配線手順

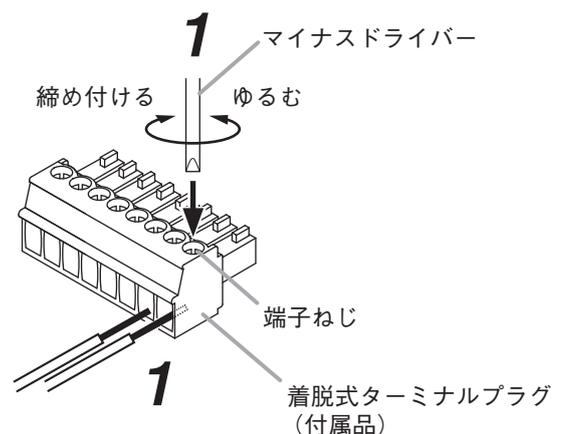
1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。

1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。

線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。

2 ターミナルプラグを機器側のターミナルブロックに差し込む。



● ご注意

- 手順の1と2を逆にしないでください。端子ねじを締め付けるときに、内部基板のコネクターピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。
- ターミナルプラグを抜くときは、まっすぐ引き抜いてください。斜め方向に無理に引き抜くと、ターミナルプラグまたはターミナルブロックの破損の原因となります。

【推奨マイナスドライバー】

ブレード幅

DC電源入力端子の場合：ブレード幅が3.5 mm程度のもの
それ以外の場合：ブレード幅が2.5 mm程度のもの

当社の放送設備との接続例

各種放送設備との接続のしかたは次のとおりです。

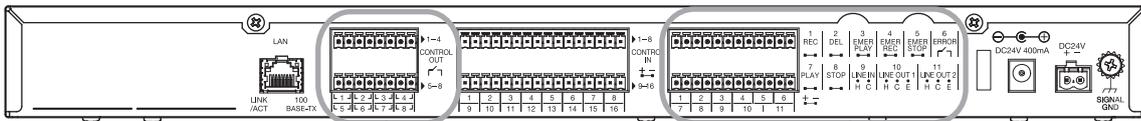
※ 以下の接続のしかたは、EV-700 が工場出荷時の状態で、プログラムの設定が初期設定の場合の例です。

■ ラック型非常業務兼用放送設備 FS-2000 との接続

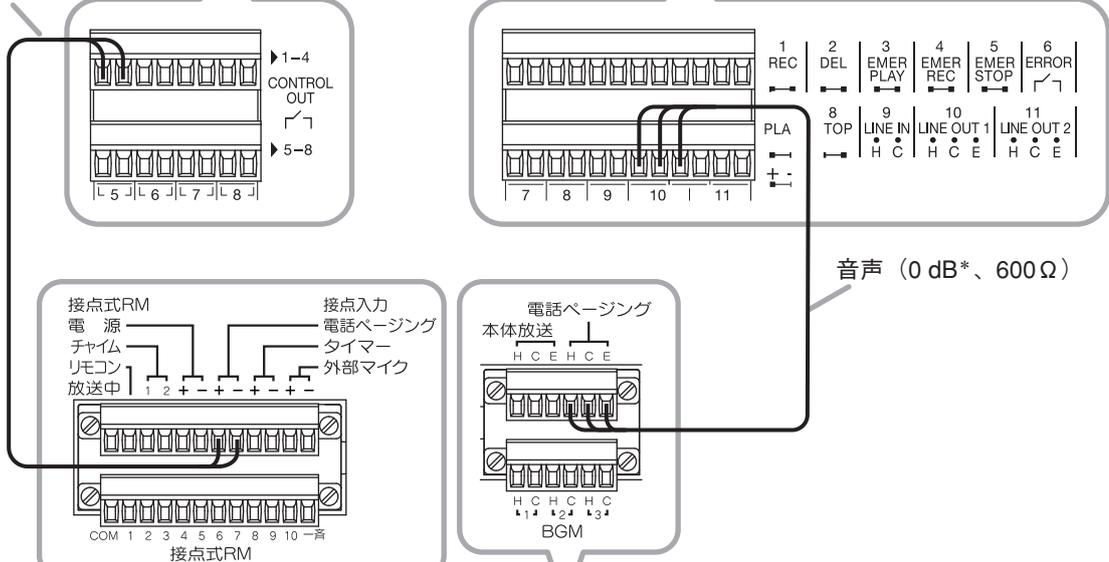
本機の音声出力とプログラム再生ビジー出力が設定されている接点制御出力を下記のとおり接続します。FS-2000 側の音量は、FS-2000 の電話ページング音量調節器で調節してください。

本機と FS-2000 の配線には、各機能に付属の着脱式ターミナルプラグを使用してください。(P. 96「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」)

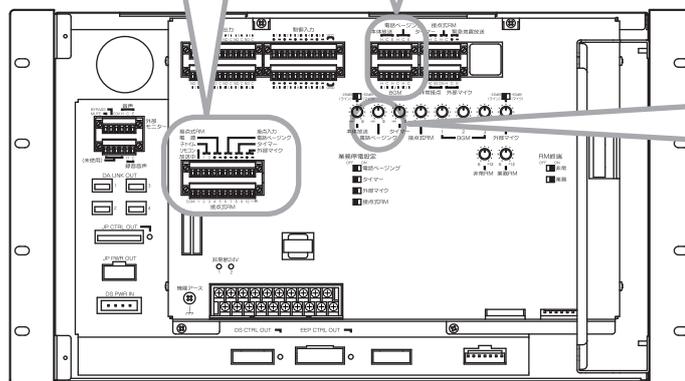
EV-700



制御 (マイク接点)



FS-2000EP端子部



電話ページング
音量調節器



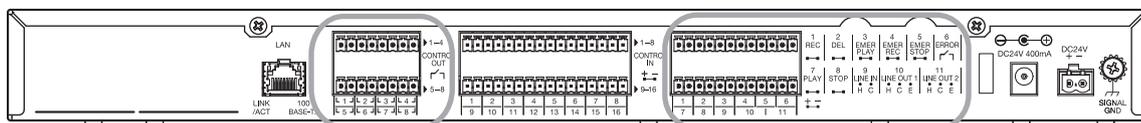
電話ページング

* 0 dB = 1 V

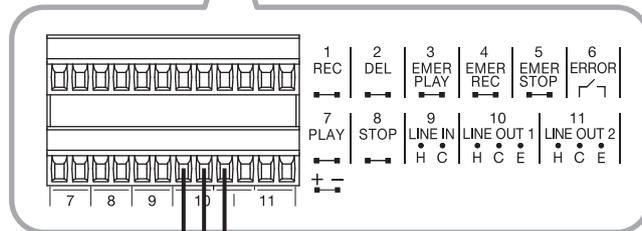
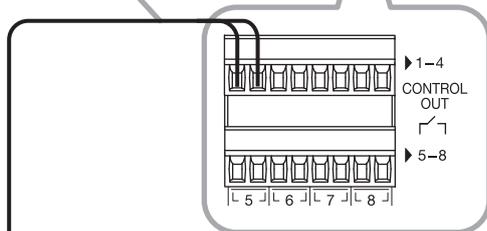
■ ラック型業務用放送設備（ジャンクションパネル JP-034）との接続

本機の音声出力とプログラム再生ビジー出力が設定されている接点制御出力を下記のとおり接続します。
 ラック型業務用放送設備側の音量は、プリアンプで調節してください。
 本機の配線には、付属の着脱式ターミナルプラグを使用してください。（参照 P. 96 「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」）

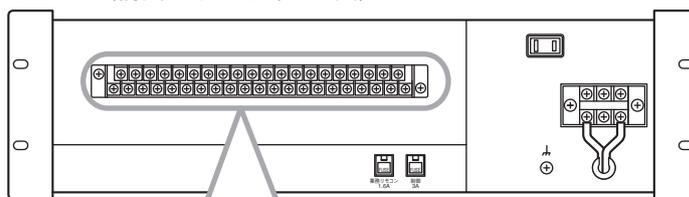
EV-700



プログラム再生
 ビジー出力（メイク接点）



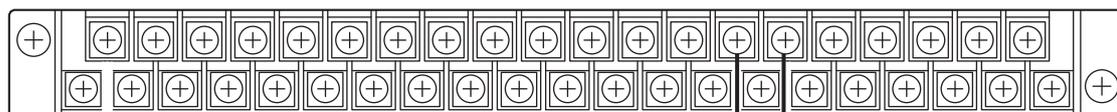
JP-034（前面パネルを外した図）



プリアンプへ
 音声（0 dB*、600 Ω）

JP-034 前面端子台

1~5	1~5	1~5	1~5	6~10	6~10	6~10	6~10	GND/COM	RM電源 24V	リモコン	放送中	チャイム	GND	一斉	GND	IN	DC24V			
スピーカーR	スピーカーC	スピーカーR	スピーカーC										タイマー	非常断 24V	リモート					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	一斉	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スピーカー-N										リモートマイク (RM) / 予備制御 (JP-034)										



* 0 dB = 1 V

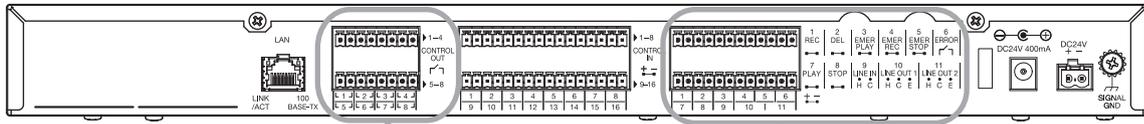
■ 卓上型アンプ（TA-2000 シリーズ）との接続

本機の音声出力とプログラム再生ビジー出力が設定されている接点制御出力を下記のとおりに接続します。
TA-2000の入力切換スイッチを「優先1」にしてください。

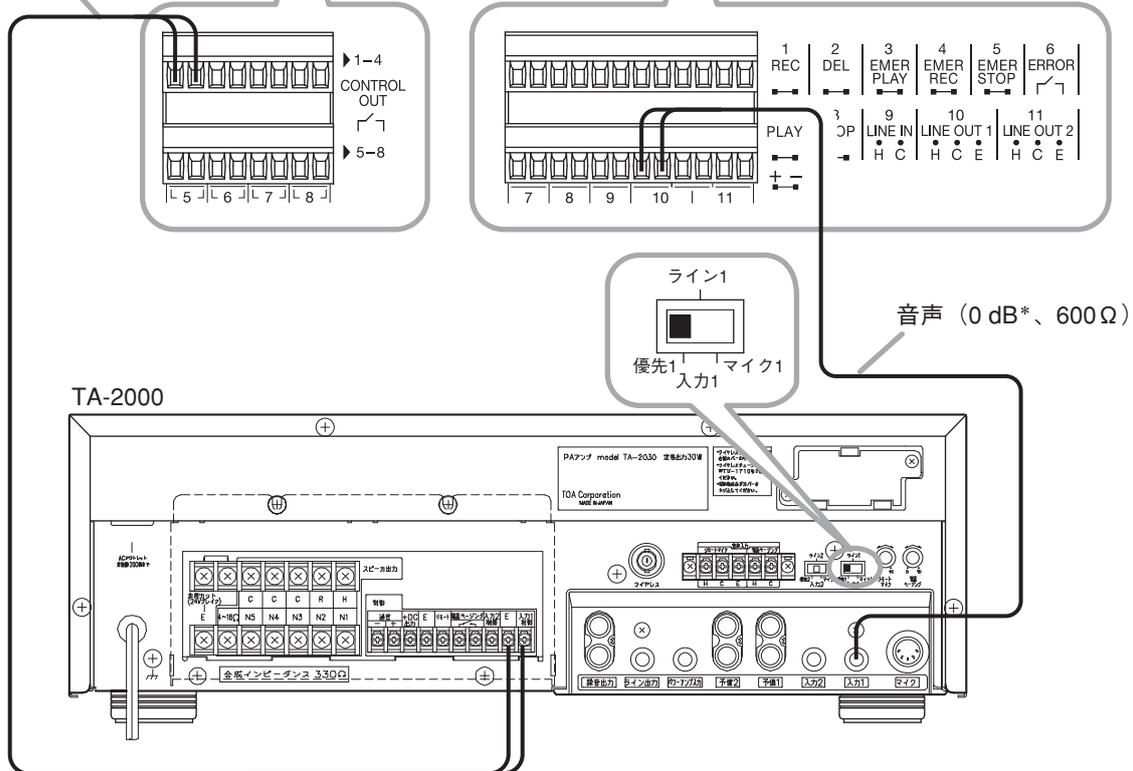
TA-2000シリーズ側の音量は、TA-2000シリーズの音量つまみで調節してください。

本機の配線には、付属の着脱式ターミナルプラグを使用してください。（P. 96「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」）

EV-700



プログラム再生
ビジー出力（マイク接点）



* 0 dB = 1 V

故障かな？と思ったら

■ トラブルシューティング

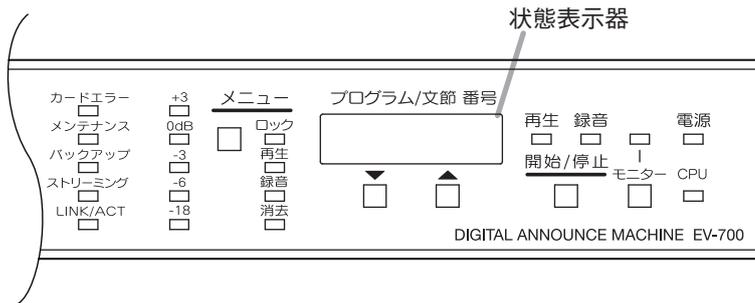
症状	考えられる原因	対処のしかた
電源表示灯が点灯せず、電源が入らない。	電源が供給されていない。	AC アダプター入力端子または DC 電源入力端子を接続し、電源を供給してください。 ※ 本機には電源スイッチはありません。
再生ができない。	メモリーカードスロット A にメモリーカードが挿入されていない。 (カードエラー表示灯が点灯)	メモリーカードスロット A にメモリーカードを確実に挿入してください。
	メンテナンスモードになっている。 (メンテナンス表示灯が点灯)	EV-700 設定ソフトウェアでの設定作業を終了するか、メンテナンス用 DIP スイッチをすべて OFF にしてください。
	本機でエラーが発生している。 (状態表示灯に Errxx というエラーコードが表示)	エラー表示一覧 (P. 103) を参照し、記載に従って対処してください。
	付属のメモリーカード、別売の EV-CF1G 以外のメモリーカードを使用している。	付属のメモリーカードまたは別売の EV-CF1G を使用してください。
	ライン出力端子が正しく接続されていない。	ライン出力端子を正しく接続してください。
再生しても、音が出ない。	全体音量またはプログラム音量が小さく設定されている。	全体音量とプログラム音量を調節してください。
	ライン出力端子が正しく接続されていない。	ライン出力端子を正しく接続してください。
	全体音量またはプログラム音量が小さく設定されている。	全体音量とプログラム音量を調節してください。
	出力先が正しく設定されていない。	プログラム設定の出力先を確認してください。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
接点起動入力端子をメイクしても再生しない。	放送優先度の設定で、通常放送が OFF になっている。	放送優先度の設定を確認してください。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
	接点起動入力端子が正しく接続されていない。	接点起動入力端子の接続を確認してください。 (P. 28 「外部制御による各動作の起動」)
	メイクした接点起動入力端子番号のプログラムに、文節が登録されていない。	プログラムに登録された文節に録音するか、EV-700 設定ソフトウェアで文節を登録してください。
録音が始まらない。	ダイレクト制御機能・バイナリー制御機能が意図どおりに設定されていない。	設定ソフトウェアでどちらの設定になっているか確認してください。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
	録音したい文節にすでに音源が登録されている。	録音したい文節に登録されている音源を消去してから録音してください。 (P. 25)
	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	不要な音源を消去してから録音してください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
録音した音を再生しても音量が小さい、または音が聞こえない。	録音時に、マイク入力端子またはライン入力端子にマイクまたは外部演奏機器が正しく接続されていない。	マイク入力端子またはライン入力端子に、マイクまたは外部音声機器を正しく接続して録音してください。
	録音時に、外部演奏機器から本機への入力レベルが小さくなっている。	外部演奏機器の音量を調節してください。 (P. 22 「文節に録音する」)
	録音したい入力とは違う入力から音声が入力されている。	録音したい入力とは違う入力の音声入力を止めてください。 また、録音したい入力とは違う入力の音量調整つまみを最少にしてください。
	プログラムの音量が小さくなっている。	EV-700 設定ソフトウェアでプログラムの音量をお確かめください。 または、EV-700 設定ソフトウェアで AGC を ON にすると、音量が自動的に調整されます。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
EV-700 設定ソフトウェアで転送した音を再生すると音量が小さい。	wav ファイルの音量が小さくなっている。	wav ファイルの音量を調節してから本機に転送してください。 または、EV-700 設定ソフトウェアで AGC を ON にすると、再生音量が自動的に調整されます。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
	プログラムの音量が小さくなっている。	EV-700 設定ソフトウェアでプログラムの音量を確認してください。 または、EV-700 設定ソフトウェアで AGC を ON にすると、再生音量が自動的に調整されます。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
外部入力の放送ができない。	放送の優先度が高いものを放送している。	放送の優先度を確認してください。 (EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書) マイク放送、ライン入力放送、通常放送のうち、放送の優先度の高いものを優先して放送します。放送の優先度の低いものは、放送の優先度が高いものが放送している間は放送されません。
	マイク入力端子またはライン入力端子に、マイクまたは外部演奏機器が正しく接続されていない。	マイク入力端子またはライン入力端子に、マイクまたは外部音声機器を正しく接続してください。
	外部演奏機器から本機への入力レベルが小さくなっている。	外部演奏機器の音量を調節してください。 (P. 84 「ライン入力放送のしかた」) レベルメーターを確認しながら入力音量調整つまみを調整してください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
ビジーが出力されない。	接点制御出力端子が正しく接続されていない。	接点制御出力端子を正しく接続してください。
	制御出力とプログラム再生ビジー出力が正しく設定されていない。	EV-700 設定ソフトウェアで制御出力、プログラム再生ビジー出力を設定してください。 ( EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書)
「サー」というノイズが放送される。	マイク入力音量つまみ、ライン入力音量つまみが時計方向に回しきられている。	これらの端子を使用しないときは、音量つまみを反時計方向に回しきっておいてください。
「ブーン」というノイズが放送される。	機能アース端子が接続されていない。	機能アース端子を接続してください。
EV-700 と PC を接続して EV-700 設定ソフトウェアを起動しても、「オンライン」にならない。	LAN ケーブルが正しく接続されていない。	LAN ケーブルが正しく接続されているか確かめください。正しく接続されると、LINK/ACT 表示灯が点灯または点滅します。 ネットワーク経由の場合は、スイッチングハブなどとの接続が正しい種類のケーブル、適切なポートに接続されているか確認してください。 ( P. 94)
	FTP 通信が遮断されている。	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイヤーウォールの設定を確認してください。 ●EV-700 をオンラインにするには FTP 通信を実行する必要があります。EV-700 本体を設置している施設のネットワーク管理者に問い合わせてください。
	ネットワーク設定が正しく行われていない。	EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書を参照してください。 または、EV-700 本体を設置している施設のネットワーク管理者に問い合わせてください。
状態表示器に「P.WAIT」と表示される。 	機器内部での処理中で、他の処理ができない。 (例) <ul style="list-style-type: none"> ●CF カード読み込み中に他の操作をした。 ●録音中に他の操作をした。 	機器内部で処理中の動作が終わるまで待ってから、もう一度操作をしておいてください。
状態表示器に「Errxx」と表示される。	エラーが発生している。	エラー表示一覧 ( P. 103) で対処のしかたを確認してください。

■ エラー表示一覧

本機でエラーが発生すると、以下のようなエラーコードが状態表示器に表示されます。



エラーコード	エラー説明	対処のしかた
P.WAIT	EV-700 本体で、コマンドを処理中に別のコマンドを受信した。または、録音中の再生起動など、他の機能動作中のために実行できない状態で、コマンドによる指示や接点起動が実行された。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機が実行できない状態で、EV-700 設定ソフトウェアから機器操作を実行したなど、操作に誤りなかったか、確認してください。本機の状態を確認して、再度実行してください。 ● 外部制御機器からの接点起動が正しい状態で行われたか確認してください。
Err02	メンテナンスモード中の再生起動など、実行できないモードで、コマンドによる指示や接点起動が実行された。	
Err03	緊急放送モードでしか実行できないコマンドや接点起動を実行した。または、緊急放送モードでは実行できないコマンドや接点起動を実行した。	
Err04	その他、実行できない状態で、コマンドによる指示や接点起動が実行された。 例) 接点のレベル起動によるプログラム再生中の、再生停止コマンドによる停止指示実行	
Err10	メモリーカードが挿入されていない。	メモリーカードを挿入してください。
Err11	メモリーカード B が挿入されていない。	スロット B にメモリーカードを挿入してください。
Err12	メモリーカードの空き容量がない。	メモリーカードを確認し、不要なファイルを消去してください。
Err13	メモリーカードが規定のフォーマット (FAT16) でフォーマット (初期化) されていない。	メモリーカードを再フォーマットしてください。フォーマット形式は FAT16 です。
Err14	メモリーカード A に機器設定ファイルがない、または、機器設定ファイルを開くことができなかった。	スロット A に挿入したメモリーカードに、機器設定ファイルが格納されているか確認してください。
Err15	メモリーカード B にファームウェアファイルがない、または、ファームウェアファイルを開くことができなかった。	スロット B に挿入したメモリーカードに、アップデート用のファームウェアファイルが格納されているか確認してください。
Err17	機器設定ファイルの書き込みに失敗した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err18	メモリーカードコピー中にエラーが発生した。	
Err19	メモリーカード内のプロジェクトファイルが不足している、または、メモリーカード内にプロジェクトが存在しない。	EV-700 設定ソフトウェアでプロジェクト*をメモリーカードに書き込んでください。

* EV-700 で放送に必要なファイルの集まり。詳細は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

エラーコード	エラー説明	対処のしかた
Err20	テーブルファイルを開くときにエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト*の構成に異常がある可能性があります。EV-700 設定ソフトウェアで内容を確認してください。 ●メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err21	テーブルファイルの読み込み時にエラーが発生した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err22	テーブルに使用している番号が範囲外だった。(プログラムの設定値は除く。)	プロジェクト*の設定に異常がある可能性があります。EV-700 設定ソフトウェアで内容を確認してください。
Err23	プログラムテーブルの設定値が範囲外だった。	
Err24	本機で使用できない形式のテーブルファイルがあった。	
Err25	音源ファイルを開くときにエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト*の構成に異常がある可能性があります。EV-700 設定ソフトウェアで内容を確認してください。 ●メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err26	音源ファイルを読み込むときにエラーが発生した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err27	本機で使用できない形式の音源ファイルがあった。プロジェクト*のサンプリング周波数と異なるサンプリング周波数の音源ファイルがあった。	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト*の構成に異常がある可能性があります。EV-700 設定ソフトウェアで内容を確認してください。 ●メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。

* EV-700 で放送に必要なファイルの集まり。詳細は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

エラーコード	エラー説明	対処のしかた
Err28	消去処理でエラーが発生した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err29	録音処理でエラーが発生した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err30	メモリーカード A とメモリーカード B の内容が一致しなかった。	メモリーカード A とメモリーカード B の内容を確認してください。
Err32	カード比較中にタイムアウトした。	
Err33	メモリーカード内ファイルの全削除に失敗した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err34	ファームウェアファイルの読み込みに失敗した。	
Err35	ファームウェアファイルのアップデートに失敗した。	このエラーが発生した場合は、当社営業所までご連絡ください。
Err36	ファームウェアファイルが不正だった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用しているファームウェアファイルに異常がある可能性があります。当社営業所までご相談ください。 ● メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err37	履歴ファイルのオープンに失敗した。	メモリーカードに異常が発生している可能性があります。パソコンなどで、メモリーカードのチェックを行ってください。メモリーカードのチェックを行っても異常が解消されない場合は、メモリーカードを再フォーマットすることで、異常が解消されることがあります。ただし、フォーマットを行うと、保存しているデータはすべて消去されます。
Err38	履歴ファイルへの履歴書き込みに失敗した。	
Err39	再生しようとした音源ファイルが存在しない。	EV-700 設定ソフトウェアでプロジェクト*をメモリーカードに書き込んでください。
Err40	受信したコマンドが、不正だった。	EV-700 設定ソフトウェアから不正な制御用データが、本機に送信された可能性があります。頻繁に発生する場合は、当社営業所までご相談ください。
Err41	指定番号のプログラムが存在しない。	
Err42	範囲外の値を指定した。	
Err43	17 個目の順次記憶をさせようとした。	
Err44	優先度の指定で異常を検出した。	
Err45	異常な設定値が設定されようとした。異常な設定値を設定保存用メモリーや設定ファイル、設定値から確認した。	

* EV-700 で放送に必要なファイルの集まり。詳細は、EV-700 設定ソフトウェア取扱説明書をお読みください。

エラーコード	エラー説明	対処のしかた
Err46	コマンド受信の途中でタイムアウトが発生した。	EV-700 設定ソフトウェアから、意図しないタイミングで、本機に制御用データが送信された可能性があります。頻繁に発生する場合は、当社営業所までご相談ください。
Err47	コマンド受信後、応答をする前に別のコマンドを受信した。コマンド制御開始コマンドを受信する前に別のコマンド（コマンド制御開始コマンド・コマンド制御終了コマンドを除く）を受信した。	
Err51	履歴保存用メモリーの異常を検出した。	本機に異常が発生している可能性があります。当社営業所までご相談ください。
Err53	RTC がリセットされた。	本機の時刻がリセットされました。EV-700 設定ソフトウェアで再設定してください。頻繁に発生する場合は、当社営業所までご相談ください。
Err60	文節が登録される文節番号に対して、録音しようとした。 通し番号 99999 のファイルがある状態で録音しようとした。	登録されていない文節番号を選んで、録音を実施してください。または、消去を行ってから、録音を実施してください。 録音音源ファイルの通し番号が 99999 に達した場合は、次の録音を行うことができません。 (通し番号は 1 日単位で録音時に自動的に割り振られるので、このエラーは 1 日の録音回数が 100000 回以上になったときのみ発生します。)
Err61	文節が登録されていない文節番号に対して、消去しようとした。	登録されている文節番号を選んで消去を実施してください。
Err70	本機のファームウェア内部で使用しているインストラクションの値が異常。	本機のファームウェアが正常に動作していない可能性があります。当社営業所までご相談ください。

本機の状態と入出力について

本機は、本機の状態（モードと動作種類）によって、次の3点が下表のとおり設定されています。

- ① 出力できる音源
- ② 出力先
- ③ レベルメーターの表示内容

本機の状態		出力できる音源*1			出力先端子		レベルメーターの表示内容
モード	動作種類	メモリーカード音源	マイク入力	ライン入力(前面/後面)	ライン出力1/2	ヘッドホン	
ロック	待機	—	○	○	○	○	マイク入力またはライン入力の入力レベル*2
	再生*3	○	○	○	○	○	メモリーカード音源の出力レベル マイク入力またはライン入力の入力レベル*2、4
	録音	—	○	○	—	○	マイク入力またはライン入力の入力レベル
	消去	—	—	—	—	—	表示なし
再生	待機	—	—	—	—	—	表示なし
	再生	○	—	—	○	○	メモリーカード音源の出力レベル マイク入力またはライン入力の入力レベル*2、4
	モニター再生	○	—	—	—	○	メモリーカード音源の出力レベル
録音	待機	—	○	○	—	○	マイク入力またはライン入力の入力レベル
	録音確認 カウントダウン 録音中	—	○*5	○*5	—	○	マイク入力またはライン入力の入力レベル
	モニター再生	○	—	—	—	○	メモリーカード音源の出力レベル
消去	待機	—	—	—	—	—	表示なし
	消去確認 消去中	—	—	—	—	—	表示なし
	モニター再生	○	—	—	—	○	メモリーカード音源の出力レベル
緊急	緊急再生	○	—	—	○	○	メモリーカード音源の出力レベル
	R.E.M. 再生 (録音中)	—	○*5	○*5	—	○	マイク入力またはライン入力の入力レベル
	R.E.M. 再生 (再生中)	○	—	—	○	○	メモリーカード音源の出力レベル

*1 放送の優先度を設定することで、メモリーカード音源、マイク入力、ライン入力のどれか1つを優先して放送できます。複数の音源をミキシングしての放送はできません。

*2 出力レベルは入力レベルと同じです。

*3 ロックモードで接点やコマンドにより再生起動をかけると、「ロックモードで再生」になります。

*4 放送されている方の音源のレベルを表示します。

*5 マイク入力またはライン入力録音されます。

マイク入力とライン入力が入力された場合は、放送の優先度が高い方が録音されます。
放送の優先度が高い方の入力がなくなっても、優先度の低い方の録音には切り換わりません。

プリセット音源一覧表

プリセット音源は、付属のメモリーカード直下のフォルダー「WORDSAMPLE」内にあります。使用目的によって、下記の各保存フォルダーに分類されていますので、目的に合わせてお使いください。

ご注意

- プリセット音源を EV-700 以外の製品で使用しないでください。EV-700 でのみ使用できます。
- プリセット音源を権利者に無断で複製または転用しないでください。ただしバックアップするためにコピーする場合を除きます。

保存フォルダー名	説明	ファイル名	内容	再生時間(秒)	初期登録プログラム番号
melody	時報に使用するメロディーです。	M01_original.wav	オリジナル環境音	57	P003
		M02_ieji.wav	家路	172	P004
		M03_nobara.wav	野ばら	51	P005
		M04_yuyakekoyake.wav	夕焼け小焼け	58	P006
		M05_hotarunohikari.wav	蛍の光	194	P007
		M06_gohannouta.wav	ごはんの唄 (線路は続くよどこまでも)	61	—
		M07_schubert_lullaby.wav	シューベルトの子守唄	70	—
		M08_nanatsunoko.wav	七つの子	169	—
		M09_furusato.wav	ふるさと	59	—
		M10_omoide.wav	思い出	28	—
		M11_radio.wav	ラジオ体操第一 (声掛け入り) ※男声	199	P002
chime	時報や、アナウンス前後に使用するチャイム音です。	C01_westminster_normal.wav	ウェストミンスターの鐘 (通常)	35	P001
		C02_westminster_fast.wav	ウェストミンスターの鐘 (速い)	27	—
		C03_westminster_slow.wav	ウェストミンスターの鐘 (遅い)	43	—
		C04_4note_up.wav	上り4音チャイム	5	P008
		C05_4note_down.wav	下り4音チャイム	5	—
		C06_first_bell.wav	予鈴	15	—
		C07_2note.wav	2音チャイム	4	—
		C08_gong.wav	GONG	4	—
		C09_4note_up_nx.wav	上り4音チャイム (通常)	4	—
		C10_4note_up_slow_nx.wav	上り4音チャイム (ゆっくり)	7	—
		C11_4note_down_nx.wav	下り4音チャイム (通常)	4	—
		C12_4note_down_slow_nx.wav	下り4音チャイム (ゆっくり)	7	—
		C13_buzzer.wav	開演ブザー	21	—
emergency	警報を知らせる時に使用する警報音です。	E01_keihou1.wav	警報音 1	31	—
		E02_keihou2.wav	警報音 2	31	—
		E03_bohankeiho.wav	防犯警報音*1 (日本防犯設備協会)	6	—
		E04_motor_siren.wav	モーターサイレン	21	—
		E05_REIC.wav	REIC サイン音*2	2	—
		E06_yelp.wav	Yelp	31	—
test	機器設置時の試験用音源です。	T01_1khz_0dB.wav	テスト音源 1 (1 kHz、0 dB)	60	—
		T02_1khz_-20dB.wav	テスト音源 2 (1 kHz、-20 dB)	60	—
		T03_2khz_0dB.wav	テスト音源 3 (2 kHz、0 dB)	60	—
		T04_pinknoise.wav	テスト音源 4 (ピンクノイズ)	60	—
		T05_silent.wav	テスト音源 5 (無音)	60	—

*1 防犯センサー等の起動による報知や、威嚇等にご使用ください。公益社団法人 日本防犯設備協会 技術標準 SES E 0005「防犯警報音規格」に準拠しています。詳細は同協会の web サイトをご覧ください。

*2 気象庁が発表する一般向け緊急地震速報または許可事業者が提供する緊急の地震速報の報知音として使用してください。緊急地震速報の訓練に使用することもできます。「REIC サイン音」の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会に属します。詳細は同協議会の web サイトをご覧ください。

保存 フォルダー名	説明	ファイル名	内容	再生 時間 (秒)	初期登録 プログラム 番号
announce (drill)	訓練用のアナ ウンスです。	A_drill01.wav	ただ今から、訓練放送を行います。	5	—
		A_drill02.wav	訓練放送です。	3	—
		A_drill03.wav	以上で、訓練放送を終了します。	5	—
		A_drill04.wav	ただ今より緊急地震速報対応行動訓 練を開始します。	8	—
		A_drill05.wav	訓練、訓練。緊急地震速報です。強 い揺れに警戒してください。	9	—
		A_drill06.wav	揺れが収まりました。周囲の安全を確 認し、落ち着いて避難してください。	9	—
		A_drill07.wav	以上で、緊急地震速報対応行動訓練 を終了します。	8	—
announce (test)	試験放送用の アナウンスで す。	A_test01.wav	ただ今から、テスト放送を行います。	5	—
		A_test02.wav	テスト放送です。	3	—
		A_test03.wav	以上で、テスト放送を終了します。	5	—
		A_test04.wav	(チャイム) ただ今、屋外スピー カーのテスト放送中です。ただ今、 屋外スピーカーのテスト放送中で す。(チャイム)	25	—
announce (wind)	強風時のアナ ウンスです。	A_wind01.wav	強風が発生しています。先生の指示に 従って、落ち着いて行動しましょう。	10	—
		A_wind02.wav	強風が発生しています。建物の中に入 って、先生の指示に従いましょう。	10	—
		A_wind03.wav	強風が発生しています。安全を確保 し、落ち着いて行動しましょう。	10	—
announce (tornado)	竜巻発生時の アナウンスで す。	A_tornado01.wav	竜巻が発生しています。先生の指示に 従って、落ち着いて行動しましょう。	10	—
		A_tornado02.wav	竜巻が発生しています。建物の中に入 って、先生の指示に従いましょう。	10	—
		A_tornado03.wav	竜巻が発生しています。安全を確保 し、落ち着いて行動しましょう。	9	—
announce (typhoon)	台風接近時の アナウンスで す。	A_typhoon01.wav	台風が近づいています。先生の指示に 従って、落ち着いて行動しましょう。	10	—
		A_typhoon02.wav	台風が近づいています。一人で帰宅 せず、集団で下校しましょう。	9	—
		A_typhoon03.wav	台風が近づいています。川や水路に は近寄らないようにしましょう。	9	—
		A_typhoon04.wav	台風が近づいています。安全を確保 し、落ち着いて行動しましょう。	9	—
announce (tsunami)	津波発生時の アナウンスで す。	A_tsunami01.wav	津波が予想されます。今後の情報に 注意してください。	8	—
		A_tsunami02.wav	津波が来ます。高台に避難してくだ さい。	6	—
announce (other_ disaster)	その他災害発 生時のアナウ ンスです。	A_other_disaster01.wav	川が増水しています。川や水路には 近寄らないようにしましょう。	9	—
		A_other_disaster02.wav	土砂くずれが発生しやすくなってい ます。山や崖には近寄らないよう にしましょう。	10	—
		A_other_disaster03.wav	高潮が予想されます。今後の情報に 注意してください。	8	—
		A_other_disaster04.wav	豪雪が予想されます。今後の情報に 注意してください。	8	—
		A_other_disaster05.wav	火山噴火が予想されます。 今後の情報に注意してください。	8	—
		A_other_disaster06.wav	ゲリラ豪雨が予想されます。今後の 情報に注意してください。	8	—
		A_other_disaster07.wav	緊急事態が発生しました。 先生の指示に従ってください。	8	—
		A_other_disaster08.wav	緊急事態が発生しました。 スタッフの指示に従ってください。	7	—

保存 フォルダー名	説明	ファイル名	内容	再生 時間 (秒)	初期登録 プログラム 番号
announce (earthquake)	地震発生時の アナウンスで す。	A_earthquake01.wav	緊急地震速報です。強い揺れに警戒 してください。	6	—
		A_earthquake02.wav	地震です。落ち着いて身を守って ください。	5	—
		A_earthquake03.wav	先ほどの地震情報は誤報でした。 繰り返します。先ほどの地震情報は誤 報でした。	12	—
		A_earthquake04.wav	先ほどの緊急地震速報は誤報でし た。ご安心ください。	7	—
		A_earthquake05.wav	ただ今、地震が発生しました。身を 守り、揺れが収まってから避難して ください。	10	—
		A_earthquake06.wav	地震は収まりました。今後の余震に 注意してください。	7	—
announce (refuge_ student)	学校で生徒に 避難を呼びか けるアナウ ンスです。	A_refuge_student01.wav	「おさない・かけない・しゃべらない・ もどらない」を思い出して、先生の 指示に従って行動しましょう。	12	—
		A_refuge_student02.wav	「おさない・はしらない・しゃべら ない・もどらない」を思い出して、 先生の指示に従って行動しましよ う。	11	—
announce (refuge_ children)	保育園・幼稚 園で児童に避 難を呼びかけ るアナウンス です。	A_refuge_children01.wav	「おかしも」のお約束を思い出して、 先生のお話をよく聞いて、危なくな いところに逃げましょう。	13	—
		A_refuge_children02.wav	「おはしも」のお約束を思い出して、 先生のお話をよく聞いて、危なくな いところに逃げましょう。	14	—
announce (store)	店舗で使用す るアナウンス です。	A_store01.wav	本日は、ご来店くださりまして誠に ありがとうございます。 どうぞごゆっくりお買い物をお楽し みくださいませ。	13	—
		A_store02.wav	本日はご来店いただき、誠にありが とうございました。 またのお越しを従業員一同、ここ よりお待ち申し上げております。	15	—
announce (school)	学校で使用す るアナウンス です。	A_school01.wav	職員室までマスターキーを持ってき てください。	5	—
		A_school02.wav	まもなく下校時間になります。 校庭や教室に残っている人は、後片 づけをして、早く帰りましょう。	13	—
		A_school03.wav	本日は、一人で帰宅せず、集団で下 校しましょう。	7	—
announce (office)	オフィスや工 場で使用する アナウンスで す。	A_office01.wav	リフレッシュタイムの時間です。胸 を大きく張って疲れをほぐしましよ う。また不要な電気は切って、職場 の省エネにご協力ください。	16	—
		A_office02.wav	本日は、ノー残業デーです。計画的 に仕事を進め、定時に仕事を終えて、 速やかに帰りましょう。	12	—
		A_office03.wav	間もなく定時になります。身の回り を片付けて、帰る準備をしましょう。	9	—

保存 フォルダー名	説明	ファイル名	内容	再生 時間 (秒)	初期登録 プログラム 番号
hornarray	ホーンアレイ スピーカーで の放送用に音 質を最適化し たアナウンス とチャイムで す。	A_horn01_test.wav	ただ今から、訓練放送を行います。	10	—
		A_horn02_test.wav	訓練放送です。	4	—
		A_horn03_test.wav	以上で、訓練放送を終了します。	10	—
		A_horn04_test.wav	ただ今から、テスト放送を行います。	10	—
		A_horn05_test.wav	テスト放送です。	4	—
		A_horn06_test.wav	以上で、テスト放送を終了します。	10	—
		A_horn07_wind.wav	強風が発生しています。安全を確保し、落ち着いて行動しましょう。	16	—
		A_horn08_tornado.wav	竜巻が発生しています。安全を確保し、落ち着いて行動しましょう。	16	—
		A_horn09_typhoon.wav	台風が近づいています。安全を確保し、落ち着いて行動しましょう。	16	—
		A_horn10_flood.wav	川が増水しています。川や水路には近寄らないようにしましょう。	14	—
		A_horn11_landslide.wav	土砂くずれが発生しやすくなっています。山や崖には近寄らないようにしましょう。	17	—
		A_horn12_tsunami.wav	津波が予想されます。今後の情報に注意してください。	13	—
		A_horn13_tsunami.wav	津波が来ます。高台に避難してください。	11	—
		A_horn14_highwave.wav	高潮が予想されます。今後の情報に注意してください。	14	—
		A_horn15_heavysnow.wav	豪雪が予想されます。今後の情報に注意してください。	14	—
		A_horn16_eruption.wav	火山噴火が予想されます。今後の情報に注意してください。	14	—
		A_horn17_heavyrain.wav	ゲリラ豪雨が予想されます。今後の情報に注意してください。	14	—
		A_horn18_earthquake.wav	地震は収まりました。今後の余震に注意してください。	13	—
		A_horn19_test.wav	(チャイム) ただ今、屋外スピーカーのテスト放送中です。 ただ今、屋外スピーカーのテスト放送中です。(チャイム)	37	—
C_horn01_4note_up.wav	上り4音チャイム (ホーンアレイ用)	7	—		
C_horn02_4note_down.wav	下り4音チャイム (ホーンアレイ用)	7	—		

仕 様

電 源	外部電源 DC24 V、400 mA、着脱式ターミナルブロック (2P) または AC アダプター AD-246 (別売) から供給	
消 費 電 力	10 W	
音 源 方 式	44.1 kHz/32 kHz サンプリング、16 bit PCM 方式、WAV ファイル (モノラル)	
音 源 書 換 方 式	LAN データ転送、アナログ録音、EV-700 設定ソフトウェアによるメモリーカード直接書き込み	
音 声 入 力	マイク : -55 dB* ¹ (マイク入力音量つまみ最大時)、600 Ω、不平衡、φ 6.3 ホーンジャック (2P) ライン (後面) : -20 dB* ¹ (ライン入力音量つまみ最大時)、10 k Ω、不平衡、着脱式ターミナルブロック (12P) ライン (前面) : -29 dB* ¹ (ライン入力音量つまみ最大時)、10 k Ω、不平衡、RCA ピンジャック	
音 声 出 力	ライン 1・2 : 0 dB* ¹ 、600 Ω、不平衡、着脱式ターミナルブロック (12P) ヘッドホン : 0 dB* ¹ 、100 Ω、モノラル、φ 3.5 ミニジャック (3P)	
周 波 数 特 性	20 Hz ~ 20 kHz ± 3 dB (1 kHz 基準) 50 Hz ~ 14 kHz ± 3 dB (IT-450 実装時、1 kHz 基準)	
歪 率	0.3% 以下 (1 kHz 定格出力時)	
記 憶 メ デ ィ ア	CompactFlash™ 仕様準拠メモリーカード (付属のメモリーカードまたは EV-CF1G のみ使用可)	
メ モ リ ー カ ー ド 実 装 可 能 枚 数	2 枚 (1 枚付属、プリセット音源収録) 2 枚実装時はバックアップ動作可能	
録 音 文 節 数	32768	
最 大 録 音 時 間	44.1 kHz サンプリング : 約 3 時間、32 kHz サンプリング : 約 4 時間	
音 声 出 力 方 式	1 元モノラル	
再 生 プ ロ グ ラ ム 数	ダイレクトモード : 16 プログラム、バイナリーモード : 256 プログラム 上記に優先して緊急文節を 1 文節再生可能 R.E.M. (Recording Endless Message) 再生* ² 可能	
制 御 入 力	起動 1 ~ 16、再生、停止、録音、消去/クリアー、緊急再生、緊急録音、緊急停止 無電圧メイク接点、50 ms 以上パルスメイク方式 開放電圧 : DC30 V、短絡電流 : 10 mA 着脱式ターミナルブロック (12P、16P)	
制 御 出 力	制御出力 1 ~ 8 (ビジー)、異常出力、接点容量 : DC30 V/0.5 A、着脱式ターミナルブロック (8P)	
ネ ッ ト ワ ー ク	ネットワーク I/F	100BASE-TX
	ネットワーク プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、FTP
	接続コネクタ	RJ45 コネクタ
操 作 表 示	7 セグメント LED、5 桁	
使 用 温 度 範 囲	0 ~ 40°C	
使 用 湿 度 範 囲	90%RH 以下 (ただし結露のないこと)	
仕 上 げ	パネル : アルミ、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶、塗装 ケース : プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶	
寸 法	420 (幅) × 44 (高さ) × 222 (奥行) mm	
質 量	2.4 kg (本体のみ)	

*¹ 0 dB = 1 V

*² 緊急時にその場で録音した音源をすぐに最優先で繰り返し再生する緊急放送機能

※ 平衡型トランス IT-450 (別売) を用いて、ライン出力平衡型に変更することができます。変更については当社営業所にお問い合わせください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ コンパクトフラッシュはサンディスク社の商標です。

● 付属品

メモリーカード（1 GB）（プリセット音源収録）	1
着脱式ターミナルプラグ（2P）	1
着脱式ターミナルプラグ（8P）	2
着脱式ターミナルプラグ（16P）	2
着脱式ターミナルプラグ（12P）	2
ゴム足	4
小ねじ M3 × 12（フロントカバー固定用）	2

● 別売品

メモリーカード（1 GB）	：EV-CF1G
AC アダプター	：AD-246
ラックマウント金具	：MB-15B

アフターサービスについて

● 保証書について

保証書は販売店からお渡しします。必ず「販売店・購入日」など記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

無償修理の保証期間は、お求めの日から1年間です。(一部消耗品を除く)

● 修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。
※ 保証期間中の修理は保証書の規定に従って、お求めの販売店で無償にて修理をお受けいたします。

ご連絡していただきたいことは、お客様のご住所・お名前・電話番号、製品名・品番・購入日、故障または異常の状況(症状)

※ 保証期間が過ぎている場合は、お求めの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理します。アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル **0120-108-117**
ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
FAX 0570-017-108 (有料)
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00221-02